



0041330-000

14-782

教育学概論

春山作樹・述

文信社

昭和2

AHB

教育學概論

春山 著

完

14  
782

春 山 教 授 述

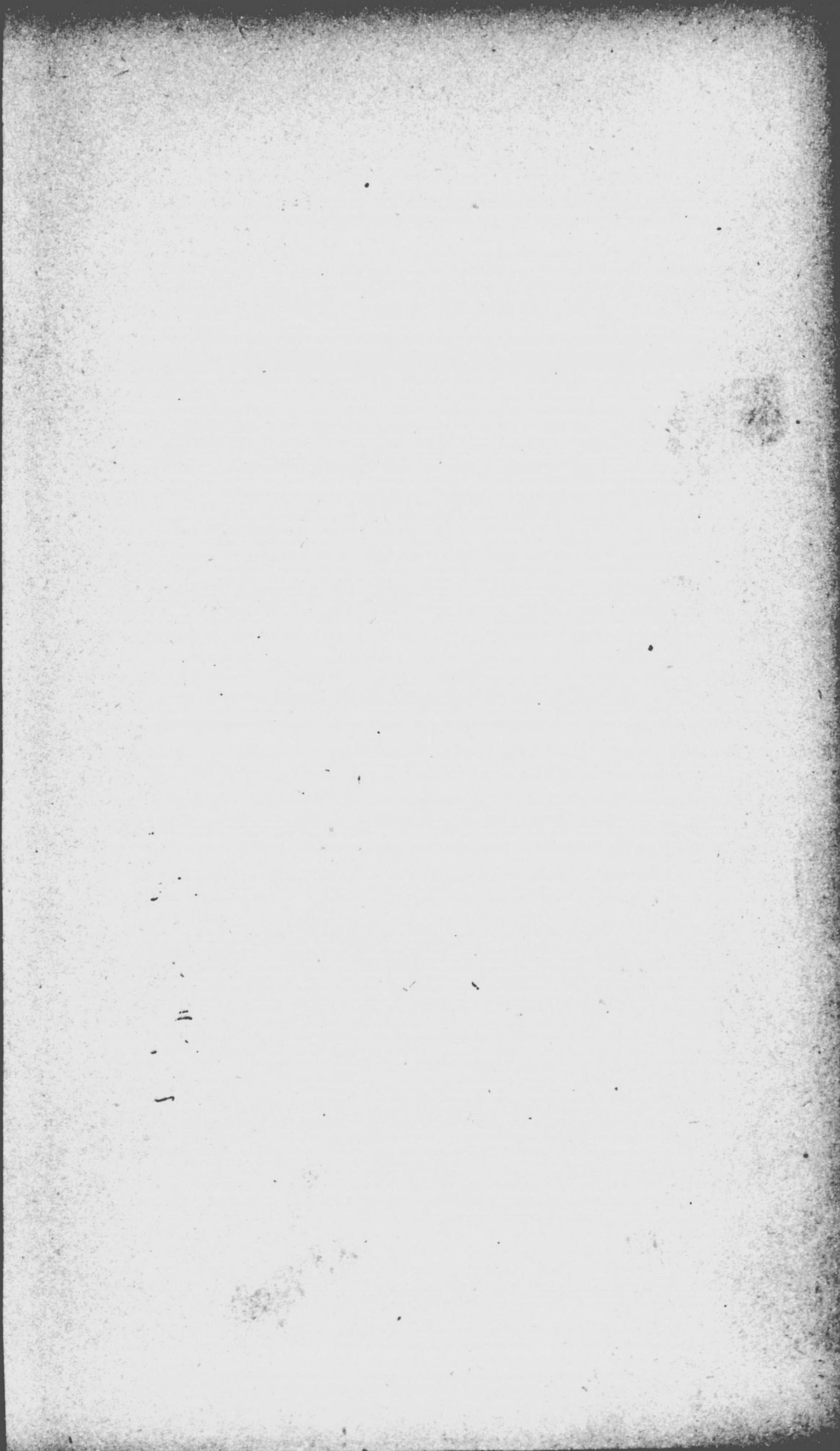
# 教育學概論

(完)

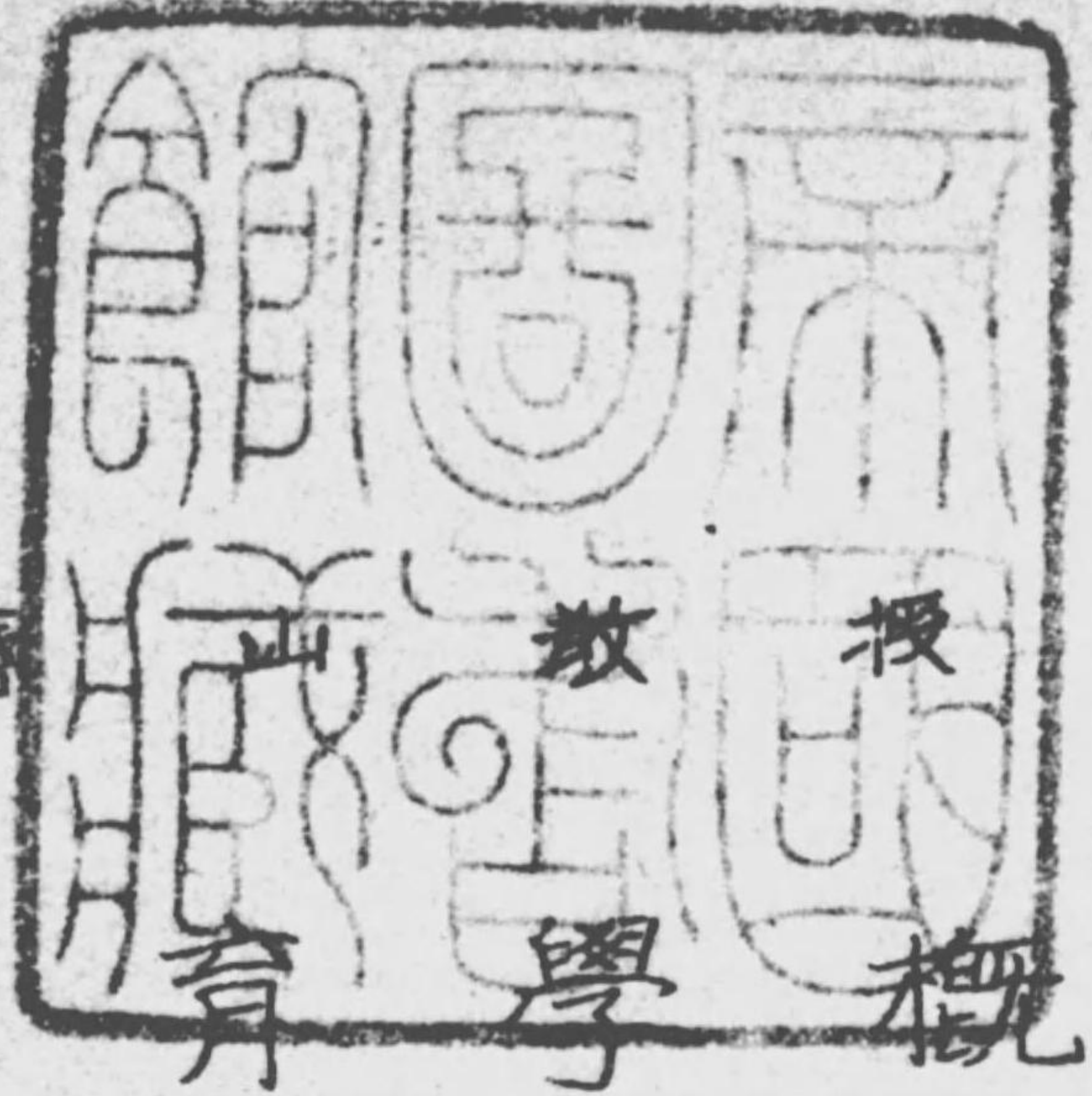
(非 賣 品)

昭和二年度東大講義

[文信社印行]



14-782



春 西 教 授 述  
教 育 學 概 論

昭和二年度東大講義

完

(非賣品)



## 教育學概論目次

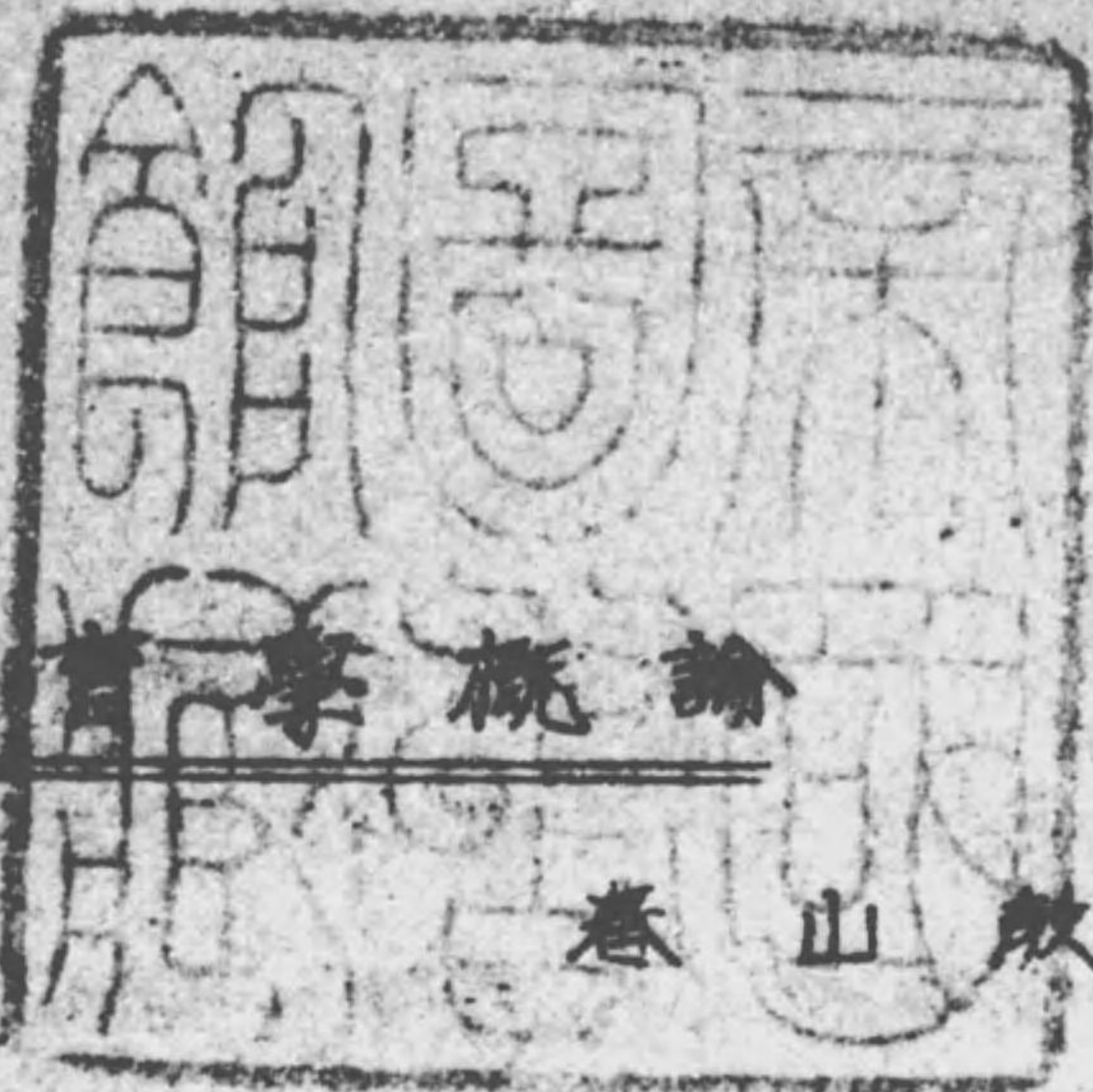
### 第一部 通論

- 第一章 人格 ----- 8
- 第二章 教育ノ類型 ----- 30
- 第三章 教育機關 ----- 41

### 第二部 方法論

- 第一章 体育論 ----- 82
- 第二章 普通教育ニ於ケル諸條件 ----- 84

(目次終)



教育學概論

卷山教授述

序論

教育學ハイフマテモナク教育ノ研究ヲスルモノヲ  
 ツツテ (教育ハ *Erziehung Bildung*) 先ツ  
 其ノ教育ノ何物デアルカラ明ニセネハナラス答テア  
 ル。然シ尔ラ教育ノ意義ヲ明ニスルコトソレ自身教  
 育等ノ任務デアツテ、而モ其ノ点ニ付テ殊ニ沢山ノ  
 論ツク事説カ現ハレテ居ル。故ニ今此ノ序論ニ於テ  
 之ヲ詳細ニ説クコトハ出来ナイ、コトニハ唯人間ノ  
 生長発達ヲ理想的ニスルタメニ行ハレトニロノ作用  
 テアル事ヲ、極メテ概括的ニ説明スルヨリ他ナイ。  
 其ノ作用ハツマリ其ヘラレタ人間即チ教育ノ客体ヲ  
 トラヘヨシテソレヲ教育シテ、ソコニ人間ノ理想ヲ  
 客体ノ上ニ実現サセヤウトスルモノデアル、故ニ此  
 序ニハ既ニ理想ノ向類カ合マレテ來ル、人トハ如何  
 ナルモノデアルカ、他ニ人ハ如何ナルモノデアルヘ  
 キカ、向類カ現ハレテ來ル、ソコニ即チ價值ノ向類

(35)



カ合マレテ來ル、故ニ其ノ点ニ於テ教育學ハ價值ノ  
哲學ヲ含ムコトニナツテ來ルノテアル、ソノ氣ハ最  
近ノ独乙派ノ教育學ニ於テ特ニ強調サレテ居ルノテ  
アル然シテラ教育ノ方法カ又研究セラレナケレハナ  
ラナイ、其ノ方法ハ多クノ經驗的ノ科學カラシテ又  
助ケヲ與ヘラレナケレハナラヌ、教育學ハ科學的ノ  
方法ニ依ツテ取扱ヘルヤウニナツテカラステニ相當  
ノ年月ヲ經テ居ルノテアルカシソノ學問上ノ地  
位性實 *Gebiet* 等ニツイテハ今尚種々ノ遺ツタ見解  
カ行ハレテ居ル、ソレハソノ他ノ科學トノ間ニ存  
シテ居ル所ノ複雑ナ關係カラ自然教育ノ独立性カ保  
ハレテ居ツタカラテアル *Herbart* ハ教育學ハ倫理  
學カラシテ其ノ目的ヲ與ヘラレ、心理學カラシテソ  
ノ方法ヲ與ヘラレ、モノテアルトイツタ其ノ言葉カ  
長ク行ハレテ居ルタ爲ニ教育學ハ倫理學心理學、時  
シテハ尚其ノ他ノ精神的科學ノ集合体ヲアルカノ如  
ク考ヘラレルヤウニナツテキタノテアル、然シテラ  
コノ見解ハ正シイモノテアルトイヘニイ、何トナレハ  
教育學ハ種々ノ他ノ精神的科學アル場合ニ物質的科  
學ノ助ケヲカリルコトカアルカソレ等ノ科學ノ集合

シタモノカ直ニニ教育學ヲ形造ルノテハナイノテア  
ル、教育學ハ教育トイフ特殊ノ目的ヲ以テソシテ教  
育ノ對象ヲ以テ、ソノ教育ノ理想ト方法トヲ研究シ  
シテ行ク場合ニ唯補助的ノ材料トシテ他ノ諸科學ノ  
研究シタモノヲ取リ入レルニスギナイ、教育學自身  
カソレ等ノ諸科學カラ生レルノテハナイ、ソノ常ニ  
密接ノ關係ヲ有スル科學ノ中ニハ倫理學、心理學ノ  
ミナラスソノ他尚種々ノ科學カ存在ス、殊ニ教育ノ  
作用ヲ社会的ニ考察スルコトカ必要テアルト認メラ  
レテカラ、社會學、經濟學ナトモ接觸シテ來ルコト  
ニナツタノテアル、又教育學ハ身体ト精神トノ關係  
身體ノ理想的発達モ眼中ニ置カネハナラヌソノ氣カ  
ラ見ルト生理學又醫學トモ密接ノ關係ヲモツコトト  
ナル、斯概ニ教育學ハ一方ニ於テハ哲學ニ接シ或ハ  
哲學ノ中ニ根本ヲオイテ一方ハ種々ノ經驗的科學ノ  
カヲ利用シソシテ教育ノ研究ヲマツテ行ク間ニソノ  
接觸スルトコロノ學問ノソレソレ遺フトコロカラ種  
々ノ傾向種々ノ分派カアラハレテアル、教育學ノ  
哲學的 *Grund* ノ向類ハ最近独乙ノ教育學者ノシ  
キリニ觀イテ居ルトコロテアル、又心理學トノ接觸

点カラハ智能調査ノ教育的使用或ハ教育調査等、ハ  
向類カオユツテキル、社会学トノ接觸点カラハ教育  
的 sociology ナト、イフモノカ生レテ居ル、医学トノ接  
觸点カラハ教育病理学及治療教育学ナトカ生レテ居  
ル、過去ニ於テ教育学ハ種々ノ形ヲトツテ居タ、  
ざりしや時代ニハ政治学ノ一部トナツテ居タノチア  
ル、中世ノ神学ノ中ニ又教育学カアラハレテ居ル、  
又近世ニナツテ教育ノ技術ヲ中心トシタ問題カ主ト  
シテ説カレルヤウニナツタ、トコロカ又最近ニハ教  
育ノ政策ノ問題カ重要視セラレルコトニナツテ居ル  
漸クニ教育学ハツノ形ニ於テモ亦 範圍ニ於テモ  
未ダ十分ニ定マツテ居ナイモノカアル、ソカシ今コ  
ノニハ教育學的ノ研究ノ總論トシテ又教育ニ從事ス  
ル人々ニ取ツテ参考トナルヘキ *Problem* ナトシ  
ヘテ全体ヲナルヘク簡明ニ説カントスルノチアル、  
シカシソレハ同時ニ又、一般精神的ノ學問ニ關係ス  
ル人々ニ取ツテ意味ノアルモノテアラウト思フ、ソ  
レハ種々ノ科学ノ中ニ於テ教育学ハ最も具體的ノ意  
味ニ於テ人間ヲ取扱フモノテアルカラテアル、

教育学ハ獨特ノ對象目的ヲモチ、從ツテ獨特ノ領

域ヲモツテ居ル學問トシテモナホ他ノ疑カ起ル、ソ  
レハ自然科学ニ於テハ類似ノ現象ヲ集メテソノ間ニ  
存在シテ居ル所ノ共通ナルモノヲ抽象シソシテ之ヲ  
法則ト定メタルモノテアル、然ルニ人ハソレ自身ニ  
於テ限ラレタル *Individuum* 個体テアツテ他ト  
比較シ或ハ轉換スルコトノ出来ナイモノテアル、各  
個体ハタゞ一ツ存在スルモノテアル唯一度現ハレル  
モノテアル (*Einmaligkeit*) 故ニ人格ニ關ス  
ル學問ハ自然科学ト同シ方法ニヨリ比較抽象ニ依ツ  
テ概念的ニ通則ヲ定メルコトハ出来ナイ各個体ノ集  
合的ノ活動トシテ現ハレル歴史モ亦同様テアル故ニ  
文化科学ハ全然自然科学ト違ツタ方法ニ依リテハナ  
ラナイ、教育学ハ一方ニ於テハ各個性ヲ備ヘテ居ル  
人間ヲ取扱フノチアル、一方ニ於テハソレソレノ民  
族及時代ニ依ツテ又制限セラレテ居ルノチアル、故  
ニ場所ト時代トヲ超越シテ普遍的ニアレハマル所ノ  
教育学ハ成立チ得ナイモノテアルトイフ考ヘカアル、  
此ノ思想ノ傾向ハ *Dilthey* ノ一派ノ類ニ主張スル  
所テアル、ソノ思想ハ最近ニ於テハ *E. Spranger*  
等ニモ依ラフテ居ル、然シテ所謂精神科学ヲ説ク

人造ハ自然科学ト同ソ方法及形ニ於テ、文化科学ノ  
成立ヲ拒ムモノテアルカソレト違ツタ意味ニ於テ精  
神科学ヲ成立タシメントシテ居ルノテアル。即チ一  
ツノ人格ノ内部ニ於テ、ソノ活動ハ理解シ得ヘキ關  
係ヲ保ツテ居ルトイフコトハ誤メテアル、ソノ点ニ  
於テ精神科学トシテノ教育学モ成立ス。コノ考ハ今  
日ニ於テハ餘程有カテアル。此ノ *Criminality*  
トイフコトハ大イニ意味ノアルコトテアルカ之ヲ極  
端ニ考ヘルトイカニモ人格内部ニ於ケル聯絡ニ依ッ  
テ精神科学カ成立ツトシテモ個々別々ニナラナケレ  
ハナラナイノテアル。然シテ之等ノ立場ヲトシテ  
居ル人テモ、事實ニ於テハ或点迄ノ概念的ノ取扱ヲ  
シテ居ルノテアル。若シソレテナケレハ、人間ノ類  
型ヲ分ツコトスラ出来ナイワケテアル、ソコヲ衝  
シテ自然科学ノ對象ト精神科学ノ對象トヲ比較シ  
見ルト自然科学ノ場合ニ於テモ具体的ノ事實ハ  
ソノ概念法則ノ示ス以外ニ尚種々ノ屬性ヲモツテ居  
ル、但シ人間ト比較スルト比較的單純テアル。人間  
ノ場合ニ於テハ其レカ極端ニ複雑ニナツテ居ル、  
ソシテ人間ノ場合ニ於テハ種々ノ性質ヲ持テテ其

ノ性質カ個々別々ニ動カスシテ統一セラレタル全体  
トシテ動イテ居ル、而モコノニ自意識カアツテ、自  
我性 *Ichheit* カ成立ツテ居ル、ソコニ相違カアル  
ノテアル、故ニ自然科学ト全然同一ニ取扱フコトハ  
出来ナイコトテアル、然シテラ精神科学ヲ説イテキ  
ルハモ既ニ試ミテ居ルセウニソノ個々別々ナル人間  
ノ間ニ又民族ノ間ニモ全然類似点カ存在セヌワケテ  
ナク其ノ類似点ヲ捉ヘテコトニヨツテコノニ類型ヲ  
立テルコトハ必スシモ不可能テナイ、ソレテ其ノ類  
型ノ立テ方モ必スシモ固定的ノモノテハナイテアラ  
ウ、ケレトモ其ノ類型ヲトラヘルコトニヨツテ免モ  
角モ或程度ノ（類型ニアテハマル程度テ）一般的ノ  
取扱ハナシ得ラル、ワケテアル、ソノ範圍ニ  
於テ教育学ハ説クヘキアルモノヲ有スル若テアル、  
但シソレハ概括スレハ尚一層範圍カ広クナル  
ト同時ニソノ説クトコロカ抽象的ニナリ、又ソノ  
範圍ヲ狭ク限レハ一層具体的ニナリ、常ニ或ハ  
上リ或ハ下リ、ソノ場合々々ニ依ツテ自ラ定マツテ  
クルモノテアル、故ニ時トシテ人類全体ヲ眼中ニ於  
テ教育ヲ論スルコトモアラウ、又或民族ト時代トヲ

限ッテ教育ヲ論スルモヨクス或個体ニ付テ教育ヲ論  
スルコトモアラウ。但シ其ノ場合ニ於テ其ノ各々  
カ全然違ツタモノテナクソノ間ニ貫通スルモノカ存  
在シテ居ル。19世紀ノ前半ノ終リカラ民族的ニ教育  
ヲ鬼ルコトカ流行シテ来タ。ソレハ<sup>州</sup>政治上ノ刺  
戟カ影響シテ居ル。又心理學的ノ影響カラモ民  
族的ノ教育カ叫ハレテ来タ。

教育學カドウィフ風ニ發立ツカ。コレニハ色々ノ  
考カ學識アル人ニモアル。教育者ニ對シテモ教育學  
カ役立ツカトウカソレハ見方ニ依ルノテアツテ教育  
ノ仕事ヲ單ニ教室内ノ教授マ子供ノ職ケ方ニ限レハ  
教育學ハ役立タナイコトモアル。教育學ハ教授ニハ  
必要テナイト統ク人モアル。

## 第一部 通論

### 第一章 人格

*Persönlichkeit*

*Personality*

教育學ニ於テ、先ツ問題トナツテ来ルモノハ、コ

ノ人テアル、人間カ何テアルカ人間カ何テナケレハ  
ナラナイカ、トイフニツノ問ノ答ノ間ニ教育ノ働カ  
存在シテアル、*Was ist der mensch?*

*poll der mensch sein?* (即チ現在ノ人間  
カ何テアルカトイフコトカ最初教育ノ對象トナルモ  
ノテアル) 故ニコノ人格ニ付テ先ツ第一ニ考察シナ  
ケレハナラナイノテアル。先ツ之ヲ常識的ニ考ヘル  
ナラハ、人ハ肉体ト精神トヲ備ヘテ居テ而モ之ニツ  
ハ常ニ離レナイテ働イテキルモノテアル。其ニツノ  
關係ニツイテハ種々ノ哲學的ノ説明ノ試カ行ハレテ  
居ル。今吾々ハ其等ノ種々ノ學說ニ拘泥シナイテ、  
單ニ常ニ精神ト身体トカ同シテ働イテ居ル而モ分  
離スルコトノ出来ナイ一休トシテ働イテ居ルトイフ  
コトヲ認メテオケバヨロシイ、精神ヲ備ヘテキナイ  
身体 コレハ物体テアルカ人テハナイ肉体ヲ備ヘテ  
居ナイ精神ハ存在シテ居ナイ、ソシテ身体カ人テモ  
ナク精神ノミカ人テモナイ、ソノ全体ノ活動ハアル  
場合ニハ意識的ニ行ハレテ居ル、或モノハ無意識ニ  
行ハレテキル、ソシテソノ内容ノ上カラ言ヘハ意識  
的テアツタモノモ亦無意識的ニナリ無意識テアツタ

モノカ意識的ニナルコトカアル各々ノ瞬間ノ意識ノ  
内容ハ皆遠ツテ居ル、然シ乍ラソノ一瞬間ニ於テノ  
総テノ働カ同一ノ主体ノ活動テアル、即チ人格ハ同  
時ノ統一ヲモツ、ソレト同様ニ又連続的ニ統一ヲ持  
ツ生レテカラ死ヌマテソノ間ニ変化ハアリケラ、常ニ  
同一ナルモノトシテ存続シテ居ル、其ノ種々ノ活動  
ニツイテ又見方カ遠ツテ来ルテアラウ一部ノ學者ハ  
我々ノ意識的ノ活動ニノミ着眼シ無意識的ノモノハ精  
神的テハナイ、從ツテ人格ヲ論スル場合ニハソレヲ  
除カナケレハナラヌト見ルテアラウ、然シ乍ラ、意  
識ト無意識ノ境ハ固定シテ居ルモノテハナイノテア  
ツテ又ソノ内容ノ上カラ見レハ常ニ出入カアル、ソ  
レハ各瞬間ノ意識内容カ絶エス変化シテ居ルコトカ  
云フノミテナク尚他ニアルノテアル、我々ノ行動ノ  
上ニ *subconscions* 或ハ *unconscions* ト呼  
ハレテ居ルモノカ影響テアタヘテ居ル事實ハ必ス  
シモ *Psycoanalysis* ヲ以テ明瞭ニナツタノテ  
ハナイ、然モ亦此ノ意識的ニ行ツタコトカ繰リ返サ  
レルトイフト自然ニ其ノ事ニ関スル注意カ減退シテ  
後ニハ殆ント無意識的ニ行ハレルヤウニナルトイフ

コトモ疑フヘカラサル事實テアル、而モ此ノ事實ハ  
教育上ノ立場カラ見ルト極メテ重大ノ意義ヲ持ツテ  
居ル、(肉体ノ生理的ノ活動中ニ全ク自動的ニ行ハ  
レテ居ルモノカアル、ケレトモ反射運動或ハ自動運  
動ナトノ中ニモ尚意識的ニ之ヲ *control* スルコト  
カ出来ル、尚其ノ他ニ吾々ハ自分ノ意志ニ依ツテ、  
*control* スルコトカ出来ナイテモ尚精神的ニ影響  
ヲ受ケルモノカアルソレハベ臟ノ働ノ如キモノテア  
ル、ソコテ我々ハ全体(肉体ト精神)カ常ニ一体ト  
シテ働イテ居ルコトヲ見テソレカ人格トイフモノテ  
アル、

斯ノ如キ人相カ如何ナル働ヲナシテ居ルカ? 人ノ  
一生ノ内ニ行フモノハ実ニ無限リナク又一種類ニ於  
テモ様々テアリ之ヲ列挙スルコトハ到底出来ス、之  
ヲ分類スルコトモ亦困難テアルカ今我々ハ内外ノ  
關係カラ之ヲ *active* ト *passive* ト分ケヤウト思  
フ、*active* トハ内ニ原因カアリ外ニ働カ及フコト  
テアリ *passive* ハ外ニ原因カアリソノ働カ内ニ及  
フコトテアル、ソノトキニ内ト云フノハソノ瞬間ニ  
於ケル自我ヲ指スノテアル、外トイフノハ其ノ自我

ニ相對スルモノヲ云フ、故ニ必スシモ内トイフノハ  
精神ヲ、外トハ客觀的自來界トイフ意ヲハナシ、時  
トシテハ精神中ニ於テ内ト外トカ分レテ來ル例ハ我  
々カ何カ強烈ナル感情欲望等ニ對シ自ラ之ヲ抑制シ  
ヨウト努カシテキル際ノ如キノ感情欲望ハツノ時  
ノ自我ニ對シテハ相對スル外物トナツテ居ル。

内 外

active ————— 與 to give

passive ←———— 受 To take

一ツノ與ト一ツノ受ト如何ナル形ニ於テ結合スル  
カハ思慮ノ司ル所テアル、思慮ハ特ニソレカ意識的  
ニ行ハレタ場合最モ *entsprechend* テアル、時  
トシテハ若シト無意識的ニ行ハレルコトカアルケレ  
トモソノ場合ニ先述ノ如ク意識的ニ *control* スル  
余地カ存シテキルコトニ思慮ト名附ケタノハ之ヲ心  
理學的ニ考察シテソノ要素ヲ分析スルナラ非特ニ複  
雜ナモノテアルソノ最モ本質的ノ働ハ選択決定ト云  
フコトニアル、(*Überlegung oder nachdenken.*)

此ノ選択決定ノ場合先ツ其カ判断ノ形ヲ現ハレテ

來ル其ノ判断ハ其カ又実行ニ現ハレテ來ル、ソノ判  
断ヲ下ス場合ニ既ニソノ中ニ意志ノカカ加ハツテ居  
ル、ソノ実行ハソノ判断ノ中ニ含マレテ居ル智的ノ  
活動ガ之ヲ導イテ居ルノテアル、判断ト実行トハソ  
コニ共通ノ要素ヲモチ全然別體ノモノテハナイ、テ  
アル、(單純ナル判断ノ場合ニ *effect* ヲ用ヒルコ  
トモアル *z.B.*) 我々ノ活動ハ常ニ *active* ト *pas-*  
*sive* ノニツノ働ノ長イ連鎖ヲ形作ツテ居ル、一ツ  
ノ與カアルト夫カラシテ生レテ來タ位置ニ於テ又  
自分ニ知覺セラレテ來ル、即チ一ツノ與ニ對シテ現  
ハレテ來ル其ニ對シテ我々ハ 一ツノ受トナツテ  
其ノ位置カ與トナル、斯クノ如ク互ニ *circle* ナ  
スモノテアル、一ツノ受ト一ツノ與ト其ヲ結合シテ  
居ル所ノ思慮ヲ合セテ見ルト我々ノ生活中ニアラハ  
レテ來ルスバテノ要素カ含レテキル即チユノニツテ  
合シタルモノカ我々ノ生活全体ノ單位ヲ形造ル、ソ  
ノ單位ハ即チ我々カ所謂體驗トイフモノテアル、

(*Erlebnis*) 此ノ體驗トイフ詞ハ從來常ニ用キ  
ラレテ來タ *Erfahrung* トイフノトヨク似テキル  
コノ *Erfahrung* トイフノハ時トシテ今用ヒラレ



*Ergebnis*  
テ居ル *Ergebnis* ト異ナル意味ヲモツケレトモ、  
*Erfahrung* ハ多ク *intellekt* ノ上ニ用キララレ  
テ居ル、*Wahrnehmung* ト略、等シイモノニ依  
ハレル、其レハ認識論ニ於テ *Erfahrung* カ感覺  
的知覚ノ意味ニ用ヒラレルト カ今我々ノ云フノ  
ハ同時ニ感情意志ヲ含ンテ全人格ノ活動トシテ見ル  
ノテアル、*Erfahrung* ハ又自然 *passive* ノ動  
トシテ解釈サレ易イ我々ノ用ヒル *Erlebnis* トハ、  
*active* ノ動ヲモ其ノ中ニ含ンテ居ル、

我々ノ生活ハ体験ノ連続テアツテ而モ継続的ニ起  
ル体験ハ個々独立ノモノテハナイノテアツテ先ニ行  
ハレタ所ノ体験ハ精神的ニモ肉体的ニモ或変化ヲオ  
コサセテ居ル、ソシテ夫レカ適當ノ機会カ興ヘラレ  
ル、其ノ結果ハ *Wiedererzeugung* シラクル、  
其ノ為ニ行ハレル如クノ体験ハ先ノ体験ニ依ツテ影響  
セラレルノテアル我々カ未ダ幼稚ノ時分ニハ種々ノ  
地位ニ對シテ盲目的ニ動クケレト体験ヲ積ムニ從ヒ  
周囲ニ對スル反應ノ方法ハ進歩ヲ改善セラレル、体  
験ニヨリ我々ノ *Person* ハ常ニ改造セラレテ行  
クノテアル、*Erlebnis* ノ中ニハ選択決定ヲ含ン

テ居ル、ソノ選択決定ヲスル標準ハ何テアルカトイ  
フト最初ニ於テハ我々ノ知識モ進ンテ居ナク全ク盲  
目的テアルノテアルカラ單純ナル *Trieb* ニ依ツテ  
動イテ居ル、又方法ニ就テ考ヘル丈カカナイ、人間  
ハ人類トシテ共通ニ幾ツカノ本能ヲ有シテ居ル、又  
個人個人ニ於テ多少異ツタ種々ノ先天的興味 *Innate*  
*interest* 種々ノ異ツタ *Temperament* ヲモ  
ツ、衝動的ニ動イテ居ルトキハ *Instinct* ヲ、  
*Innate interest* ヲ *Temperament* ハ  
ソノ瞬間々々ニヨツテ各、カ其ノカヲタクマシクス  
ルテアリマセウ、アル方法ヲ持ツ事物ニ應接シタト  
スル、其ノ結果カ自己ニトリ都合ノ良カツタ場合ニ  
ハ再ヒ之ヲ繰返ス、若シ都合カ悪オツタナラハ即チ  
失敗シタナラハ更ニ他ノ方法ヲ以テ試ミル之カ所謂  
*Trials and failures*、*Trials and*  
*errors*、(試行錯誤) 然ルニソレカ繰返サレル間  
ニツマリ成功シタ体験ノ幾ツカ、現ハレテ來ル、又  
ソノ失敗成功ノ体験ニ依リ後ニハ盲目的ニ應接セス、  
其ノ選択決定スルニ如何ナル方法カ最も適當カヲ熟  
考スル、有リ得ハキ種々ノ方法ヲ比較シテ其ノ各々



カ如何ナル結果ヲモタラシ得ヘキカヲ豫メ推測シテ  
後ニ決定スルコトニナル、カクノ如クニシテ吾々ノ  
生活カ漸次 *rationalistische* ナルモノトナ  
ル、我々ノ思慮ニ現ハレテ來ル選択ニハ標準カナケ  
レハナラナイ、ソノ標準ハ詮リ望マシキコトトイフ  
コトテアル、好悪、*like, dislike*、ソノ好ハ無  
論種々ノ先天的ノ要素ニ依ツテ支配セラル、然レテ  
又體驗ヲ積ムニ從ツテ好悪ニモ変化ヲ生シソノ生  
活カ理性化セラレル間ニソノ好悪モ亦各瞬間ニ於ケ  
ル一時的ノモノトナクシテ常ニ同一ノ標準カ選択ヲ  
決定スルマウニ導カレテ來ル、我々ニ接触スルモノ  
ハ無限テアルカラ常ニ一定ノ標準ニ依ツテ選択ヲス  
ル為ニハソノ標準自身カ適應セラレルトコロノ、

範圍ノ本マルニ隨ツテ又改進セラレテ行カネ  
ハナラナイ、次第ニ常ニ行ハレテ滞リナイ高イ標準  
ニ向ツテ進マネハナラヌ、斯ノ *Dialektik* トイ  
フ *word* ハ普通ニハ *Begriff* ノ上ニ用キラレ  
ルノテアルカ、我々ノ感情意思ノ上ニ於テモ亦同級  
ノ過程ノ行ハレルコトヲ知ラネハナラヌ、ソレハ感  
情トイヒ意思ト称スルモノカ全然<sup>如的</sup>作用トハナレタモ

ノテハナクシテ其ノ中ニ又概念的思考ノ作用モ含マ  
レテ居ルノテアル、ソレテ我々カ反省ノ態度ヲトル  
トキニハ感情意志モ亦概念化セラレルモノテアル、  
感情意志ノ活動ノ上ニ斯クノ如キ *process* ノ行ハ  
レルトイフコトハタヤスク理解シ得ラルヘキコトテ  
アル、カクノ如クシテ、吾々ノ選択ノ標準ハ部分的  
カラシテ相對的ニナツテ來ル又一時的カラシテ永久  
的ニナツテ行クツマリ永久的テアリ又相對的テアル  
ト云フコトカ即チ普遍的妥當性トイフコトテアル、  
其ノ普遍的妥當性トイフモノカ即チ價值ノ標準テア  
ル、吾々カ一時的ニアル好悪ニ依ツテ動イテ居ル場  
合ニハ無論先天的ノ要素ハ有力ニ採用スル然シテ  
ソノ先天的ノ要素モ一ノ體驗ヲナシテ初メテ實際ニ  
現ハレテ來ルノテアツテ體驗以前ニ於テハ其ノ作用  
ヲ示サナイモノテアルソツテ體驗ヲ積ムニ從ツテ先  
立ツ所ノ體驗カ後ノモノニ影響ヲ與ハテ之ヲ支配  
スルコトニナルノテアルカラ單リ自我ノ内容ヲ形造  
ツテ居ルノハ體驗ノ結果ノ累積テアルト云ツテヨロ  
シイ、

自我ノ内容ヲ分析シテ見レハツマリ體驗ノ結果ノ

累積テアルト云フ事カ誤テナカッタラ、其ノ体験内  
容トシテハ我々ニ觸レタ限リノ世界カ取入レラレテ  
居ルト云ツテヨロシイ、我々ハ種々ノ知識感情或ハ  
意志ト呼ハレル所ノモノカ分齊スハカラサル一歩ト  
ナツテ居ルノテアルカ其ノ知識トイフモノハ何等カ  
ノ對称ニ付テノ知識テアル感情モ亦何物カニ付テノ  
感情テアル意志モ亦何物カニ對スル衝テアル、其ノ  
知識感情意志ノ向ツテ居ルトコロノ或物全体カ我々  
ニ觸レテ居ルトコロノ世界テアル、仍テ自我ノ中ニ  
於テ我々ノ生活ヲ支配スハキ普遍的ノ標準カ立ツテ  
來ルナラハ、其レハ又同時ニ此ノ我々ノ世界ニ對テ  
行ハレ、戻ル所ノナイモノヲナケレハナラヌ、我々ト  
ナレハ自我ノ中ニ外界ノモノカ体験ノ内容ヲ形造ル  
タメニ取入レラレテ居ルノタカラ若シ其レ等ノモノ  
ニ對シテ矛盾カアリ衝突ノアルヤウナ生活ノ原理カ  
立テラレルナラシノ矛盾衝突ハ直チニ之カ自我ノ内  
面ニ於ケル矛盾トナラナケレハナラヌ、人ト宇宙(内  
界ト外界)トハ屢々大宇宙小宇宙トイフ *World*  
ニ依ツテ現ハサレ根本ニ於同シキモノト云ハレテ居  
ル、然シテラコノ場合ニ概念論ノ立場ヲ取ツテ見ル

ノトハ多必異ナル、我々ハ單ニ觀念トシテ之ヲ見テ  
居ルノテハナイ、即チ我々ノ知(理智)ニヨツテノ  
ミ此ノ世界ヲ見テ居ルノテハナイノテアル、理智モ感情  
情モ意志モ共ニ働イテ而モソレカ分齊スハカラサル  
一入格トシテ總テノモノヲ見テ居ルコトテアル單ニ  
*Intellect*ノ側カラ<sup>見テ</sup>万物ハ皆表象テアルト見テ  
場合ニ於テハ唯斯クノ如キ世界カアルトイフニ止  
マル、*Das Seiende* (アリノマ、ノ世界)然シ  
感情意志ノ伴ツタ自我ニ對スル世界ハ斯クアラマシ  
ノ世界即チ理想カ現ハレテ來ル表象ノ世界トシテ見  
ル場合ニ於テハ万物ハ平等テアル、然シテラあらま  
しノ世界ニ於テハ物皆差等カアル、此ノ世界ハ鏡ニ  
寫ツタモノノ影ノ如キ死物テナク活物テアル、比知  
ニハ喜怒哀樂憂鬱<sup>等</sup>ハ其ノ倣此ノ世界ニ現ハル、普  
通的ノ標準ニ從ツテ生活スルト云フコトハ此ノ情欲  
ヲ抑ケルト云フコトテナク情欲ノ間ニ又條理カアル  
ト云フコトテアル、体験ノ積ミ重ナルニ從ツテ其ノ  
内容カ充實セラレテ行き、同時ニ又我々ノ生活ノ原  
則カ *percial*カラ *Universal*ニ高クラレテ行  
ク、ソレニ依ツテ自我カ形造ラレテ行クノテアル、

即チ茲ニ成長カアリ *wachsen* コノ *wachsen*  
ヲ最モ都合ヨク行ハレシメル為ニ抱サレルトコロ  
幫助作用ヲ名附ケテ教育トイフノテアル、教育ハ  
成長ヲアルカ或ハ順應テアルカ (*Anpassung*)、  
アルカ要々議論セラレルカ我々ノ見ル如クハ順應カ  
行ハレナケレハ成長モ行ハレナイ、其ノ議論ハ最早  
必要ノナイコトトナル、但シ成長ヲ説イテ順應ヲ好  
マナイ人ハ順應トイフコトハ強ク自我ヲ外界ノ標準  
ニ照シテ改造スルコトテアル精神ヲシテ物與界ニ感  
取サセテ居ルモノト見テ居ルテアラウ然シソレハ誤  
テアル、此ノ世界ハ決シテ固定シタモノテハナク我  
々ハ自分ノ意志ニ依ツテ能動的ニ又コノ世界ニ變化  
ヲ興ヘテ居ルノテアル、決シテ固定ノ状態ニ適應ス  
ヘク自我ヲ改造スルコトヲ順應トイフノテハナイ、順  
應トイフコトハ外界ヲ改造シ又外界ヲ整理シ内外ノ  
間ニ適當ナル關係ヲ作り以ストイフコトテアリ、  
ナル *passive* ノ働テハナイ斯クノ如キ内外相互ノ  
作用ニ依ツテ (*Wechselwirkung*) ナサレル  
テアル、特ニ其ノ社会ノ文化生活ニ對スル順應ニ付  
テハ更ニ詳入ツテ考ヘネハナラヌ、我々ハ社会ニ於

テ協同ノ生活ヲ営ム、ソシテ社会全体ニ於テ丁度個  
体ノ精神ノ中ニ行ハレテ居ル選択ノ結果トシテ其ノ  
選択ノ標準ソレ自身カ次第ニ部分的ノモノカラ包括  
的ノモノニナリ、一時的ノモノカラ永久的ノモノニ  
ナルトイフ *Vorgang* カ茲ニモ行ハレテ居ルコト  
ヲ察見スルノテアル、或一人カアル思想或ハ放言或  
ハ科學的意見、藝術ノ創作等ヲ發表スルトキニハ、  
其ノ周囲ノ人々ノ批判ヲ受ケル事ニナル、ソシテ多  
数ノ者カ之ニ味方スルトキニハソレカ社会的ニカヲ  
持ツテ來ル、更ニ又第二ノモノカ現ハレテ來ルトソ  
レト比較セラレテ又批判ヲ受ケル、斯クシテ次第ニ  
其ノ標準カ高マツテ來テソレニ應シタ所ノ生活ノ様  
式カ定ツテ來ルソノ絶エス向上シテ行ク社会ソノモ  
ノヲ支配シテ其カカ即チ文化ト稱セラレルモノテ  
アル普通ノ文化材ト稱セラレルトコロノモノハ多ク  
ノ場合ニ斯クノ如クシテ作ラレタル生活ノ様式或  
ハ其ノ生活様式ノ中ニ含マレタ過去ノ精神的產物ノ  
累積カアツタモノト云フ意味ニ解セラル、然シテ  
社会ノ文化ハ絶エス進ンテ居ルモノテアツテ固定シ  
タモノテハナイノテアルカラ精神ノ集合的ノ活動ニ

因ッテ作り出サレタモノテアルコトハ勿論テアルカ  
之ヲ固定シテ事物ノ状態ト見ナイ。寧ロ現象ニ此ノ  
社会ヲ支配シツ、アルカト見ルヘキテアル、ソノ文  
化ノ中ニハ既ニ理想カ含まレテ居ル、我々ヲ道德ト  
称スルモノハ現象ニ各人カ実行シテ居ルトコロノ生  
活ノ平均ヲ意味スルモノテハナクシテ、我々ヲ実行  
スヘキモノトシテ示サレタル標準即チ理想ヲ指シテ  
居ルノテアル、哲學的ノ立場ヲトル人ハ社会ノ協同  
生活ノ間ニ現ハレテ居ル、精神ヲ客観的ノ精神トナ  
ツケ又其ノ上ニ是ニ絶対的ノ精神ヲ、仮定スルカ我々  
ハ單ニ之ヲ精神ノ集合的ノ活動ニヨツテ成ツタモノ  
テアルト説明スルソノ集合的ノ精神ハ社会ノ精神テ  
アルカソレハツマリ各個人ノ精神ノ中ニ宿ツテ居ル  
ノテアル、ツマリ個體精神ノ働キノ中テ社会共同ニ  
動イテ居ルモノヲ指シテ社会精神ト謂フ、其レカ又  
所謂客観的ノ精神テアル、ソレ故ニソノ内容ノ上カラ  
見テ、其レノ依ラレタル process ノ上カラ見テ個  
體精神ト全ク別ノモノテハナイノテアル、個體ノ精  
神モ之カナケレハ完成シナイノテアル、而モ我々ノ  
生活ニ對シテハ個體ノ進ミ行クヘキ方針ヲ示ス点ニ

於テ個體精神ノ上ニ立ツモノテアル何トナレハ、我  
々ノ生活ノ向上ハ選択ノ作用ニ基イテ行クノテアル  
社会精神ハソノ個體ノ精神中ニ於ケル選択ノ作用ヲ  
包含シツ、尚集合的ニ大規模ニ於テ尚選択ヲナシツ  
ツアルモノテアル、我々ハ之ヲ準則トシテ進ムコト  
ニ依ツテ各個體ノ成長順応カ最モタヤスク短日月ノ  
間ニ行ハレ得ルモノモノテアルコトヲ知ラネハナラ  
ズ、ソレハ即チ過去ノ幾千年カノ間ニ依リ上ケラレ  
タ所ノ文化ヲ取入レテ我カカトスルコトニヨツテ行  
ハレルノテアル、ソコテ社会教育學ヲ唱ヘル人ハ教  
育トハ文化ヲ先立ツトコロノ *generation* カラ後  
ノ *generation* ニ伝ヘルコトテアル、又言葉ヲ換  
ヘテ個體ノ側カラ見レハ各個人ヲ共同ナル文化生活  
ノ中ニ編入スルコトテアルトイフノテアル (*Eingliederung*) 然ルニ是ニ對シテ又反對スルモ  
ノカアル、ソノ一ツハ社会教育學 (文化教育學) ラ  
之ハ今日ノ文化ヲ標準トシテ各個人ヲ同シ型ニ入レ  
ルモノテアル、ソレニ依ツテ個性ハ破壊セラレズ、  
今日ノ文化ハ決シテ完全ナモノテハナイ、若シ之ヲ  
標準トシテ人間ヲ教育シタナラハ今日以上ニ進ムコ

トハ出来ナイテアラウト批准スルカ之ハ当ラナイト  
思フ、何トナレハ、今日共同ナル文化生活ニ編入ス  
ルト云フテモソレハ *Uniformity* ヲ要求スルモ  
ノテナク共同ニ生活シ得ルコトヲ要求スルノミテア  
ル同シモノヲ共ヘテモ、個性ノ相違ニ依ツテ食テ入  
レルトコロノモノハ違フ、又ソレニ對シ反應スルト  
コロハ違フ、必スシモ個性カ破壊セラル、コトハナ  
イ、下度同一ノ曲ヲ演奏シテモソノ演奏者ノ違フニ  
従ヒ各特色ヲ發揮スルカ如クテアル又今日ノ文化ヲ  
標準トシタ場合ニ於テハ永久ニ人間ハ今日以上ニ進  
ムコトカ出来ナイト云フノハ文化ヲ固定シテ事物ノ  
状態トシテ見テキルノテアルカ、文化トイフモノハ  
現実ニ社会ヲ支配スルカ<sup>ラ</sup>アル、文化ヲ度ケ継<sup>グ</sup>テ  
ハ其ノカヲ自分ノカトスルトイフ意味テ将来ニ對ス  
ル發展ノ可能性ハ存在シテ居ルノテアル、

更ニ茲ニ一ツノ問題カ起ル、夫レハ各人ノ成長ヲ  
目的トシテ考ヘルトキニハ總テノモノカ内部カラ發  
展スル *alles vom Inneren heraus*、其ノ場  
合ニ於テハ教育ハ純粹ニ *Autonomie* テアル、然  
シテ社会ノ文化ニ順應スルトイフ事ニナレハ自我

以外ノモノカ之ヲ支配スルコトニナルソレハ *Hetero-*  
*nomie* ニナル、之モ亦自律、他律ト云フ、

言葉ノ解釈ニ依リ違ツテ居ルノテアル、若シ自  
他ノ區別カ最初カラ明瞭ニナツテキルナラソノ批准  
ハ正当テアラウ、然シテ自我トイフモノハ詰リ及  
頃ノ結果非我ト對立シテワカレテ來タモノテアリ、  
最初カラ自他ハ對立スヘキモノテハナイノテアル、  
自我ト非我トハ論理的ニモ心理的ニモ反省ノ結果ト  
シテ生シテ來タモノテ、而モ成長スルニ従ツテ其  
ノ境カ益々顯著ニナツテ行クノテアル、ソレ故ニ自  
我ノ反省カ未タ済マナイ時、即チ自我カ未タ明瞭ニ  
立ツテ居ナイ時ニハ他立、自立ノ言葉ヲ用フル  
コトハ出来ヌ、時トシテ教育ハ他立ノ状態カラ自立  
ノ状態ニ進ンテ行クモノテアルト解釈セラレテ居ル  
カ寧ロソレヨリモ自他ノ區別ナキ状態カラ出テ  
自立的ノ人格カ建設セラレルコトテアルトイフノカ  
正当テアラウ、個性ヲ<sup>本</sup>的ニ研究スル自我ハ唯一ツ  
ノモノテアツテ古今東西ヲ通シ我トイフモノハ一ツ  
丈シカナイトイフコトカラ出テスル、他ハ心理学的  
ニ見テ個人個人皆カ違ツタ性質ヲ持ツコトニ重キヲ

運キ同シヤウナ教育ヲスルコトカ出来ナイト云フ也  
方、實際ノ教育トシテ現ハレタノハ後者ノ側ニ在リ  
云フコト、カ、ル問題ノ起ツタノハ同シヤウニ教育  
ヲテモ同シ標ニ進歩シナイトイフコトカラオコル、  
若シ今日ノ文化ヲ標準トスレハ皆同シ程度ノ人間  
出来ルト考ヘルノハ誤テアル、

斯標ニ教育ハ前ノ *generation* カラ後ノ *gen-  
eration* ニ文化ヲ伝ヘルモノテアル、教育ヲ父母ト  
児童、教師ト児童、個人對個人トイフ側ト見ル從來  
ノ考ヘ方ニ對シテ社会全体ヲ通シテ行ハル *gener-  
ation* ト *generation* ノ間ノ活動ト見ナケレハナ  
ラストイフ事ヲ主張シタノハ *Schleiermacher*  
テアル、(社会的教育學)ソウスレハ自然ニ又教育ハ  
各民族、各時代ノ文化ニ依ツテ制約セラレルコト  
ナルノテアツテ古今東西ヲ通シテ同一ノ教育カ行  
ハレルトイフコトハ言ハレナクナル、此ノ点ニ關シ  
テハ又思想ノ沿革ヲ述ヘナケレハナラス、第十八世紀  
末頃ノ思想ハ今日ト違ツテ古今東西ヲ通シテ裏ラナ  
イ、トコロノ人間ノ理想ヲ立テ、其レヲ標準トシテ教  
育ヲ施シ從ツテ時代ト場所トヲ問ハスヲテ適用セラ

ルヘキ教育學カ建設セラレナケレハナラス又、建設  
セラルヘキテアルト考ヘテ來タ夫レヲ *abstract  
humanism* (抽象的人道主義) トイフ、斯ノ  
*Jean Jacques Rousseau*、*Emile*、第一卷  
ニモソノ思想ハヨク現ハレテ居ル、此ノ思想ハ第十  
九世紀ノ前半マテハ可ナリ勢カヲ持ツテ居タノテア  
ツテ其ノ頃ノ教育學者ハ個性ニヨツテ又教育カ逸フ  
テアラウトイフコトヲガ尚普遍的ニ安当ナル教育  
學ヲ建設スル所ノ考ヲ捨テナクツタノテアル、然ル  
ニ彼ノ *Dilthey* ニ至ツテ斯クノ如キ教育學ハ成立  
タナイモノテアリ教育學ハ(民族ト時代)要スルニ歴史  
ニ依リ *condition* セラレルモノテアルトイヒ今日  
ハソノ思想カ一般ニカヲ持ツテ居ルノテアル、

18.c.ノ末ノ所謂啓蒙時代ト云フノハ普遍的ノ真  
理トイフ考カ強ク働イテ居タ、然ルニ19.cノ初メ  
なぼれおん戦争ノ為打撃ヲ受ケタ因々ハ又国民、民  
族トイフ事ヲ考ヘサルヲ得ナクツタ、ソコヲ議論ノ  
上テモ一貫シナイ所カ現ハル、其レト似寄ツテ又逸  
ツタトコロノモノカ今日現ハレテ居ル、ソレハ世界  
大戰ノ影響トシテ現ハレテ來タ *Internationalism*

トNationalismヲアル、大戦ノ半ハ経過シタ頃カラ頻リ=Internationalism  
或ハHumanism或ハPhilanthropism(博  
愛主義)或ハ平和主義等ノ名称ヲ以テ唱ヘラレルト  
コロノモカ現ハレテ來タ、其ノ説ク所ハ必スシモ一  
定シテ居ナイ、要スルニ戦争ノ慘禍ニ刺戟セラレテ  
今後永久ニ戦争ノオコラナイヤウニセネハナラヌ、  
ソレニハ教育ノ改造カラ始メナケレハナラナイトス  
ルノテアツテ其ノウチニ於テ次第ニInternationalism  
トイフwordカ取モ多ク用ヒラレルヤウニ  
ナツタ、然ルニソレト相對シテ又nationalismカ  
ツヨク現ハレテ來タノテアル、此ノニツハ一見シタ  
所チハ相反シタルモノノ如ク見エルノテアルカ實ハ  
同シ根源カラ來ル姉妹テアルソレハ戦争ノ慘酷ナル  
結果ニヨツテ刺戟セラレタ恐怖ニ基クモノテアル、  
ソシテソレト18.C.アタリノ思想ト比較シテ見ルト  
還ツタモノカアル、過去ノ人道主義、博愛主義ハ多  
ク理想家ノ口カラトナヘラレタモノテアル、今日ノ  
ハ實際家ノ口ヨリ唱ヘラレテ居ル、過去ノ人道主義  
或ハ世界主義、国家国民ノ差別ヲ認メナイトイフ<sup>立場</sup>  
ツテ居タノテアル、然ルニ今日ノ人々ハ左様ニ單純  
ニ考ヘル事ハ出來ス、國ハ國トシテ存立サセソノ國

ト國トノ間ノ平和ナル關係ヲ持續サスヘシトイフ主  
張テアル、故ニInternationalismヲ唱ヘル人  
ハ同時ニ又其ノ主張ハNationalismニ矛盾シテ  
居ルモノテナイト主張スルモノテアル、然ルニ其ノ  
Internationalismノ主張ハ平和條約ノ結ハレ  
タ前後主トシテ言論ノ上ニ於テアラハレタノテアル  
カ其ノ後次第ニ衰ヘテ來テ居ルノテアル、natio-  
nalismハ言論ノ上ヨリ零口各國ノ實際ノ政策ノ上  
ニ多ク現ハレ而モ益、ソレカ濃厚ニナリツ、アルノ  
テアル、ソレハ其ノ後ノ世界殊ニ歐洲諸國ハ末ダ極  
メテ不安定ノstateニアリ何レノ國ニ於テモ皆復讐  
戰ヲ恐レテ居テソレカ教育政策ノ上ニ影響シタモ  
ノテアル、我々ノ立場トシテハ國家ノ存続榮枯ヲ因  
リ而モ其ノ多クノ國家ノ間ニ於テ相互ノ理解ヲ成立  
タシメテ永久ノ平和ニ近ツカウトスル今日ノInter-  
nationalismノ主張ハ最も合理的ノモノテ  
アルト考ヘラレ實現ノ可能アルト思ハル、

教育ハ又各人ノ個性ニ依リConditionセラレル  
モノテアル、斯ノ如ク考ヘテ來ルト教育ノ上ニ於テ  
抽象的ニ議論スルコトハ殆ント出來ナイカノ如ク見

エルカ必スシモノウテハナイ。時代ト民族トニ依リ  
テ教育ハ違ツテキル。而モ歴史ノ上ニ現ハレテアル  
モノハ唯一度テアル。ケレトモ其ノ間ニ又全然共通  
ナルモノカ存在シナイワケヲモナイ。各人ノ間ニ勿  
論相違カアル然シ其ノ間ニ又共通点カアル。ソレヲ  
逐々ハ其ノ共通点ヲ捕ヘテ適當ナル教育ノ方法ヲ考  
ヘ同時ニ個体ニ付テ考慮シ其シテ夫々ニ適當ナル教  
育ノ方法ヲ考ヘ得ヘキモノテアルト信ス。現ニ今日  
ノ學術的ノ方法ニヨル個性調査又ソレニ基ク教育法  
ハ其ノ点ニ追立入ラウト試ミテ居ルモノテアル。

### 教育ノ類型 *Bildungs-Typen.*

教育ハ社会全体ノ中ニ於テ行ハルトコロノ文化ノ  
傳達ヲ意味シテ居ルノテアル。ソレハ即チ社会化作  
用 *Socialisation* テアル。但シ意識的ノ社会化  
作用テアル。コレニ依ツテ社会カ存続シ又発展シテ  
行クノテアル。社会ソレ自身一ツノ超個人的ノ存在  
ヲアツテ存続ト発展トソノ固有ノ作用トシテ持ツ  
居ルノテアル。然ラハ此ノ教育ハ社会其ノモノノ本

質的ノ活動ヲアルト云ハナケレハナラヌ。ソシテ夫  
ハ各人ノ素質ニ從ツテ成長発展セシメルコトヲ意  
味シテ居ルノテアル。故ニ其ノ社会ニ含まレテ居ル  
各個人ハ其ノ自己ヲ成長発展セシメルタメニハ均等  
ノ機会ヲ與ヘラレナケレハナラヌ。コレカ即チ現代  
ノ教育改造ノ *motto* トナツテ居ル。大戰後各國教  
育制度改造ヲ見ルト何レモ皆機会均等主義カソノ基  
調ヲナシテ居ルノテアル。彼ノ過去ノ教育ヲ見ルト  
決シテソウナツテ居ナイノテアル。過去ノ教育ヲ見  
ルト社会階級ニ依ツテ区別セラレキルノテアル。  
我々ハ物質的生活ノ余裕カ總テノ文化生活上ニ積極  
的ニ動因トナツテ居ルモノト考ヘナイ。然シ其レ之  
カ消極的條件トナツテキルコトハ事實ト認メサルヲ  
得ヌ。即チ物質的生活ノ余裕ノ存在セヌトコロニハ  
精神的活動ハ発展シ得ナイコトハ事實トシテ認メサ  
ルヲ得ヌ。故ニ教育ハ先ツ生活ニ余裕ノアル社会、

階級ヨリ発展シ始メタモノテアル。教育ニ又本  
派ト執照トアル。コレニ意識的ノ社会化作用トイツ  
タノハ本派ノ解釈テアリ其ノ意味ニ於テハ人類社会  
ノ存在スルトコロ教育ノ存在シナイワケハナイ。生



活即チ教育テアルト云ヘル、然シ尔ヲ扶養ニ於テ用  
ヒラレルトコノ教育ハ明ラカニ意識セラレタ目的ト  
ソレニ應シテ組織セラレタトコロノ Organ トヲ備  
ヘクモノヲ指スノテアル、教育ニハ未ダ十分組織セ  
ラレスモノト組織セラレタ教育トカアル、其ノ教育  
ノ組織化作用ハ生活ニ餘裕ノアル Classニ於テ先ツ  
行ハレル故ニ時トシテ教育ハ餘裕ノ産物或ハ餘裕ノ  
正用テアル、(proper use of leisure.) 先ツ  
第一ニ物質的生活ノ爲ニ全カヲ注クコトナクシテ余  
裕ヲ利用シ得シハ僧侶階級ナリ、彼等ハ神或ハ佛ニ  
仕スノシテ人ニ通テ説クコトヲ職分トセリ、自ラ食  
食ノ爲ニ勤クコトヲ要セサリキ、故ニ彼等ハソノ余  
暇ヲ利用シテ學問 Kunst ヲ習フヲ得タリ、又ソ  
レハ彼等ノ職分上必要ナリキ、之ヲ事實上ニ當狭ク  
テミルニ Indiaノ Brahman 族 Egypt  
ノ僧侶階級ハ最も顕著ナルモノナリ、Greeksノ教  
育ノ歴史ハ普通自由市民カラ説キ始メルコトニナツ  
テ居ル、ソレニ先チテ僧侶階級勢カヲ有セシ時代モ  
アリソレハ彼ノ musikニソノ痕跡ヲ止ム、Greek  
Romeノ文明ハ一時中斷古シ形ニナリ更ニ Christ

的放育起リシカ其ノ始メ僧侶先ツ組織的ノ教育ヲ受  
ケタ、我國ニ於テモ組織的ノ教育ハ聖徳太子カ多ク  
ノ寺院ヲ建立セシ時ヨリ始マル、僧侶 Classノ教育  
ハ勿論宗教中心ナレト併シソレニテ止マラス種々ノ  
學問 Kunst ソレラニ附帯シテ彼等ノ Bildung  
ad. Kultur ヲ形成セリ、第二ニ組織的放育ヲ受  
ケシハ政治ト軍機ニ關係セル Class ナリ之カ処ニ  
依リ或ハ武士階級トモ呼ハレ又ハ貴族階級トモ呼ハ  
レ又ハ自由市民トモ云ハレル、彼等ハ軍ニ人ノ上ニ  
立チテ之ヲ支配スルヲ職分トス、故ニ彼等モ亦高キ  
修養ヲ要セリ、僕等モ亦衣食ノタメニ目ヲ勞働スル  
コトナカリキ、彼等ハ僧侶階級ノ修養ノ中カラ自分  
等ニ必要ナモノヲ取入レタ、ソレハ文道ナリ、ソレ  
ノミニテハ足ラサリシカハ更ニ自ラ武道ヲ組織シ補  
ヘリ此ノ階級ノ教育ハ何レノ國何レノ時代ニテモソ  
レヲ表ハス言葉ハ異ルニシテモ常ニ文武兼備ヲ以テ  
Indiaトス、之ニ相當スルモノハ Indiaノ Shat-  
ria 族(?) Egyptノ武士階級 Greekノ自由市  
民中世ノ騎士、我國ニ於テハ貴族武士階級ナリ、我  
國ニテハ他ト些カ趣ヲ異ニセシモノアリ、ソレハ王

朝時代ニ於テハ貴族ハ政治ニ英リシカ單治ニハ關係セサリキ。凡テ彼等ノ教育ニハ武道缺ケタリ、ソノ代リ地方ノ武士ハ武道ヲ主トシテ修養ヲ行ヘリ、ソレカ鎌倉幕府ノ創立ト共ニ支配 *class* トシテ社会ノ表面ニ立ツニ至レリ。故ニ我國ニテハ文武分離セリ。更ニ第三ノ組織的 教育ヲ受ケシハ町人階級(市民階級)ナリ。彼等ハ丁度 *Europe* ニテハ中世ノ半項貿易事業ノ起リ來リシ時ニ起リシモノニシテ彼等ハ商人テアリ或ル場合ニハ手工業者ニテ彼等自ラ都市ヲ作り防禦ノタメニ町ノ前ニ城壁ヲ築ケリ、ソレカ即チ *Burg* ナリ。彼等ハ勢カヲ得ルニ從ヒ彼等ノ子弟ノタメニ自ラ教育ノ計画ヲ立テタリ。其ノ始メハ寺院學校ノ模倣ナリシカ次第ニ其ノ特徴ヲ發揮ス。我國ニテハ町人ノ *class* ノ勢カヲ得シハ大体ニ於テ室町時代ノ中頃ヨリナリ。而シテソレハ同シク、*Foreign Trade* ノ爲ナリ。特ニ支那 *trade* ノ爲ナリ。彼等モ亦寺ノ教育ヲ寺子屋ノ教育ニ移セリ。ソレカ明ヲカニ現ハレ行ハレシハ江戸時代カラテアル。コノ町人 *class* ハ東西共ニ全ク新シキ色彩ヲ帯ヒサセルニ至レリ。ソレハ *Realism* (實用主義)

ナリ、ソレニハ大イニ理由アリ。僧侶貴族武士ノ階級ハ即チ *Leisure class* テ衣食ノ爲ニ勞働セス。彼等ハ唯消費經濟アリシカ生産組織ナカリキ、トコロオ町人階級トナルト自ラ生産ニ從事セサルヘカラス。即チソノ生産經濟ニフレルコト、實用主義ヲトラシムルニ至レリ。

新様ニ種々ノ社会階級オ相次イテ優越ナ地位ヲ占メルコトナリ。各ソノ必要ニ應シテ教育ヲ組織セリソノ組織セラレシ教育ハ夫々階級的ノ特色ヲ有ス。之ヲ名附ケテ *Bildungs Typen* (教育類型) ト云フ。其ノ各々ノ *Typen* ハ互ニ關係ヲ有シ全然別ノモノニアラス。已ニ第一ノ *Typus* ノ形造ラレシ後更ニ第二ノ *Typus* 形造ラレトスルニハ必ス第一ノ類型中カラ必要ナ *factor* ヲカリ來リ。コレニ多クノ改造ヲ加ヘ新要素ヲ加フ。第三ノ *Typus* 形造ラルル場合モ同様ノ *process* カ繰リ返ヘサル。斯クノ如クシテ相次イテ現ハルル *Typen* ノ中ニハ *Verschmelzung* (融和) ノ現象起ル。併シ *neo Typen* 起キシ後モ古キモノ全然亡フルモノニ非スシテ或時ハソレカ並ヒ行ハル。ソシテ一方 *Verschmel-*

elzünig 行ハル。

現代ハ無産労働工業者ト農業労働者数ノ上ニ於テ  
社会ノ一勢力トナリシタメ従来教育カ彼等ノ要求  
ヲ満サ、ルヲ感シ種々ノ新ナ要求ヲ提出セリ。最近  
ノ教育改造ノ問題ニハ常ニ此ノ社会的ノ situa-  
tion 背景ヲ有ス。教育学者ノ側ニテハ明カニ之ヲ  
認メルコトニ躊躇スル嫌アリ。仍ツテ起ルル問題  
ハ Proletariat カ更ニ新ナ教育ノ Typus ヲ形  
造ルコトニナルカ又ハソレト異リシ形式ニ於テ此ノ  
問題解決スルヤトイフコトニアリ。最近ノ各国ノ  
教育改造問題ハ其ノ点ニヨリ起ル。コノ種ノ教育  
Typenノ Verschmelzung ハ如何ナルコトヲ意  
味スルカ。各々ノ Typen ハ夫々ノ社会階級カ特殊  
ノ立脚地カラ特殊ノ perspective ヲ用ヒ hum-  
annature ヲ humanlife ヲオガメシヨリ生  
セシモノナリ。ソノ間ノ Verschmelzung ハソ  
ノ立脚地ヲ異ヘテ perspective ヲ加ヘテニツノ見  
方ヲ合セトルコトナル。ソノ融合ノ作用高ナルニ  
従ヒ humannature ト humanlife ハ種々ノ  
異ナリシ立脚点カラ異ナリシ perspective ヲ併

セテトルコトトナリ。従ツテ humannature ヲ  
humanlife = 對スル見方多方面トナリ。偏頗ナ  
考ハ破ラヌ。コノ = 教育ノ Idea 円熟ニ近ツクコト  
トナル。依ツテ其ノ間ニ又 Integration ヲ diff-  
erenciation ノニ作用並ヒ進ミ来ルヲ發見ス。  
Integration ハカクシテ多方面カラ眺メラレル  
humanlifeノ見方ニ基ツク教育内容ノ中カラ九テ  
ノ人ニ必要ナ factor ト考ヘラレモノカ一方ニ撰  
ヒ出サレルヲ意味ス。differentiation ハ社会  
階級又ハ職業ノ分化次第ニ細カニナリ行クニ従ヒ更  
ニ特殊ノ要求多ク現ハレソレカ又教育ノ上ニ新シキ  
分析ヲ生セシムルヲ意味ス。ソノ Integrationノ  
結果トシテ現ハレテ来タモノカ Allgemeine Bi-  
ldung テアル。Differentiationノ結果ト  
シテ現ハレシモノハ特殊専門ノ Erziehung = 特  
ソレニハ過去ニ現ハレシ種々ノ Erziehung Typen  
ノ特殊ノ部分ソノ中ニ現ハル。  
今日テハ無産工業労働者ノ勢力高マツテ来タ為教育  
ノ改造カ促カサレテ居ルノテアル然シテ今日ト  
ナツテハ最早特殊ノ classノ為ニ新ナル Bildung-

*styp* ヲ形造ルヘキテハナイノテアル、ソレハ又  
實際不可能ニ屬スル、何トナレハ社会全体ニ *Dem-*  
*ocratic* ノ考カ強クナツテ居ルカラ先ツ凡テノ社  
会 *class* ニ通シテ行ハルヘキ普通教育ヲ建設シナケ  
レハナラナイ、ソノ普通教育ニ付キ又大イニ考慮ヲ  
要スルモノカアル、我國ニ於テ普通教育ト云フ *word*  
ハ學問上ノミナラス法令上ニ於テモ屢々用ヒラレテ  
居ル、然ルニソノ概念カ甚タ明ラカテナイ、ソコテ  
實際上甚タ面倒ナ 向 類カ起ツテ来ルノテアル、ソ  
レハ即チ普通教育トイヘハ凡テノ人ニ共通ナル理想  
ニ依ツテ施サレル處ノ人トシテノ教育テアルトイフ  
考カ残ツテ居ル為ニ普通教育ハ人間ヲ完成スルモノ  
テアルト考ヘラル、然ルニ斯ノ如キ意味ノ普通  
教育ハ嘗ツテ存在シタコトハナイ、又論理的ニ考ヘ  
テモ存在シ得ヘキモノテナイ、何トナレハ *Universal*  
ノ *Humanity* トイフモノハ抽象的ノ概念テアツテ  
具體的ニハ存在シナイ、具體的ナル人格ハソレソレ  
ニ特色ヲ持ツテ居ル、ソシテ而モ、ソレソレ遺ツタ  
所ノ *physical* 或ハ *Social situation*  
ノ上ニ立ツテ居ルノテアル、過去ノ教育ハ必スコノ

特殊ノ *situation* ニ通想サセ<sup>ル</sup>タメ要素カ含マレテ  
居タノテアル、今后ト虽モ之ハ必要ナモノテアル、  
普通教育ハ社会全体ニ於テ公ノ教育ノ行ハレル場合  
ニ於テ、凡テ *class* ヲ選シテソレカ施カサレ、ソ  
レカ先ツ基礎ヲ依ツテソノ上ニ種々ノ *situation*  
ニ應スヘキ特殊ノ *Bildung* カ加ヘラレ然ル後各  
個人ノ *Bildung* ハ完成スルノテアル、

此ノ普通教育カ真ノ人間トシテノ教育テアル、又  
嚴密ナル意味ニ於テノ教育ハ其ノ範圍ニ止マル  
モノテアルトイフ考ハ西洋ニモアル殊ニ我國ニハ、  
*Herbart* 派ノ思想ヲ通シテ余程強ク影響シテ居  
ルノテアル、ソノ思想ハ遠ク源ニ遡ルトゾリレヤ時  
代ノ自由市民ノ教育即チ *liberal education* ニ  
發シテ居ルノテアルツシチ 18. 9 0 ニマタカツテ  
アラハレタ *abstract humanism* ノ思想トヨク  
一致スルノテアル、ソシテ我國ニソレカ入ツタトキ  
ニ永ク文武並備ノ思想ニ支配セラレテ居テ生産事業  
ト關係ノナカツタ我國ノ武士教育トマコトニヨク調  
和シ得ルモノテアツタ為ニ今日モ尚可ナリノカヲ以  
テ居ルノテアル、然ルニ何レモ皆特殊ノ *class* ノ産

物テアツテソレカ真ノ *general culture* テモナ  
ク又ソレノミテ人間カ完成スルノテモナイノテアル。  
此ノ立場カラシテ起ツテ来ルーツノ主張ハ真ノ教育  
ハ被教育者ノ將來ノ社会的地位職業ニハ考慮ヲ拂ハ  
ナイコノ主義ニ基イテ教育カ行ハレルト中等教育ノ  
性質カ非常ニ限ラレタモノトナツテ實際ニ適合シナ  
イコトニナツテ来ルノテアル。其ノ事ハ既に稍々久  
シク論セラレテ居タ。

最近ニハ更ニ初等教育ニモ亦ソノ問題カ起ツテ  
来タ、ソレハ小等教育ノ年数カ漸次延長セラレルタ  
メ從來ノ如ク卒業者ノ職業生活ニ對シテ無關心テア  
ルコトカ出来ナクナツタカラテアル。此ノ点カラシ  
テ種々ノ實際問題カ産ミ出サレテ来ルタ、職業教育  
ニ對スル一種ノ偏見ニツイテハコトハ論シテオカ  
ネハナラス、*liberal education* ハ職業ニ  
關係ナキ教育テアル、ソノ考ヘカラハ教育、學問  
修養、利得ノ *keit* ハ出来得ル限り遠サケルコトニ  
ナツテ居ル。ソレハ其ノ時代ノソノ *class* シテハ  
又必要ナコトテアル。ソレカ長ク後世ノ教育ヲ支配  
シ殊ニ中等教育ヲ支配シ来ツタノテアルカ之ハ決シ

普遍的ノ人生ニ基礎ヲオイタモノテアル、奴隸制度  
ノアツタ時代ノ優越 *class* ノ產物テアル職業ニ關係  
ナイトイフ事ハ生産事業ニ關係ナイト云フ事テアリ。  
社会ニ對スル特殊ノ社会的地位カラ來ル要求ハソノ  
中ニ入ツテ来タノテアル。一般ニ此ノ考カ長ク支配  
シテ居タトイフノハ *Bildung* カ有明 *class* ニ  
限ラレテ居タ爲テアル、ソシテソノ立場カラ見ルト  
一方ニ於テステニアル程度ノ組織ヲ備ヘテ行ハレテ  
居タトゴロノ職業教育ハ眼中ニ入ラナカッタノテア  
ルソノ傾向ハ町人 *class* カ *realism* ノ教育ヲ初メ  
テカラ漸次改マリツ、アツタノテアツテ第19.Cニ  
至ツテ職業教育カ堂々タル學校ノ組織ヲ備ヘルヤウ  
ニナツテ来タノテアル然ルニコノ新ニオコツタトコ  
ロノ學校系統ハ從來存在シテキタ學校系統ト未ダ十  
分ニ調和シ得ナイ根ミカアル。此等ノ点ニツキテハ  
教育機關ヲ論スルトキ述ヘルコト、スル、

### 第三章 教育機關 *organ*

前述ノ如ク教育ハ元來一種ノ社会化作用テアル、ソレ故原始的ノ部落等ニ於テハ特別ノ教育機関ナク唯衆團生活ノ間ニ何時トナク自然ト行ハレタモノテアル、ケレトモ明ラカニ *Familie* トイフモノカ出来テカラハ此カ教育ノ第一ノ *Organ* トナツテ居ルノテアル、今日ニ於テモ *Familie* ハ教育上重要ナ意味ヲモツテ居ルノテアツテ子供カ學校ニ入ツテカラ後モ尚教育ノ比較的重要ナ仕事カ *Familie* ニ於テ行ハレテ居ル、ソレハ即チ子供ノ訓育テアル、然ルニ最近此ノ工業組織ハ着シク家庭生活ニ変化ヲ興ヘ家庭カ昔ノ通り子女ノ教育ヲスルコトカ出来ナクナツテ來タ、ソレカ爲ニ新ナル教育機関ヲ必要トスルコト、ナツタノテアルカソレニ付テハ後ニ述べル、

文化カ進ムニ從ツテ教化ノ内容モ亦膨脹ス、又ソレニ伴フテ程度モ高マル、ソシテ同時ニ人々ノ仕事カ多クナル、從ツテ家庭ニ於テ両親カ子供ノ教育ヲスルコトハ時間ノ余裕モナクカカ足りナクナル、之ハ殊ニ知識及技術ノ傳達ニ於テ着シクアラハレテ來ルノテアル、ソコテ *Familie* 以外ニ特別ノ教育

機関ヲ設ケナケレハナラナクナツタ、ソレハ即チ學校ヲアリ學校テハ教師カアツテ父母ニ代ツテ子供ヲ教育ス、學校ハ当然又多数ノ子供ヲ集メテ教育スルカヲシテ經濟的ニ活動スルコトモ出来ル、ソレ故何レノ國ニ於テモ早くカラ學校カ起ツテ居ル *Schule* カ起ルトソノ教師タルモノハ教育ヲ仕事トシテ居ルトコロノ専門家テアルカラ從ツテ教育ノ方法カ又漸次整頓シ緻密ニナル、ソコテ後ニハ學校教育カ即チ教育テアルカノ如ク感セシメルヤシニナツタノテアル、ケレトモ學校ヲ主トスヘキカ *Familie* 教育ヲ主トスヘキカニ付テハ後述議論カアツタノテアル、*Quintilianus* ハ學校教育テナケレハナラヌト一ま時代ニ言ツテ居ル、然ルニ近世ニナツテカラ *John Locke* ハ學校教育ヨリモ家庭ノ私ノ教育カマサツテ居ルトイフ事ヲ主張シテ居ル、學校教育ノ長所トシテハ一人ノ教師カ多数ノ生徒ヲ教ヘルタメニ經費ヲ要スルコトカ少イ、從ツテ又教師トシテハ適當ナ人物ヲ選フコトカ出来ル多数ノ児童カ共同ニ學習スルコトハ有效ナル刺激ニナル、ソシテ學友ノ間ニ成立ツ情誼的ノ關係ハ後述モ繞クモノテアツ

テ人ヲ社会的社会的ナラシムルタメ有效ニ作用スルモノテアルト、家庭教師ノ長所ヲ説クモノハ學校ニ於テ徹底的ニ行フコトノ困難ヲ訓育ヲ十分ニ行フコトカ出來ル、家庭ニ於テハ兒童ノ個性ニ最も適シタ教育ヲ行フコトカ出來ル、今日ノ如ク社会ノ凡テノ *class* ガ皆組織的ノ教育ヲ受ケナゲレハナラナイトイフ場合ニハ經濟的ノ關係カラシテ家庭ノ私ノ教育ハ殆ント成立チ得ナイ、今ハ公ノ學校ニ於テ之ヲ行ツテ居ル、ソレヲ又教育本來ノ性質カラ見テモ社会全体ノ事業トシテ公ノ學校ニ於テ国民ノ全体カ教育ヲ受ケルトイフコトカ当然テアルト考ヘネハナラス、然シ家庭ノ教育カ個人ヲ個性化シ學校ノ教育カ *socialize* スルトイフ事ハ理想的ニイハバ、併行シテ行クヘキテアラウ、故ニ學校カ主ナル教育機關トシテ立ツテ居テモ *Familie* モ亦之ヲ助ケテ子供ヲ教育スヘキ筈テアル、又 *normal* ノ *state* ニ於テハ各々ノ子供ハ一日ノ中或時間ハ *school* テ學ヒ他ノ時間ハ家庭ニ於テ訓練ヲ受ケルコトニナツテ居ル、但シ公ノ學校カ勢力ノアル點ニ於テハ我國ハよ一ろつぱ以上テアル、

此ノ學校教育ニ就イテハ種々ノ、、、向類カナル、如何ナル *Schule* カ早ク作ラレタカト云フト不思議ニモ最も基礎的ノ普通教育機關タル小學校ヨリモ中等學校ノ方オ早ク歴史ノ上ニアラハレテ來テ居ルノテアル、ソレハ何故カト云フト貴族富豪ソノ他余裕ノアル *class* ハ早クカラ組織的ノ教育ヲ受ケテ居タノテソレ等ノ家庭ハ兒童ノ或年齢ニ達スルマテハ家庭教師ヲ置イタ、故ニ初等教育ノ必要ハナカツタ、初等教育機關タル小學校ハ家庭教師ヲ置ク餘裕ハナイ、ソシテ又學校教育ヲ長ク続ケル餘裕モナイ平民 *class* ニアテ、組織的ノ教育ヲ普及サセル必要ノ起ツタ時期カラアラハレテ來タモノテアル、ソコヲ歴史カラ見ルト小學校及中等學校ハ別々ニ起ツタモノラアツテ其ノ間ニ元來連絡ハナカツタモノテアル、ソレカ最近ニ至ル迄歐洲諸國ノ普通ノ状態テアツタ、然ルニ米國ニ於テハ國ノ開ケタノハ割合ニ新シイソシテ建國ノ始メカラ社会ノ組織カ平等的ニナツテ居タ爲ニ最初カラ初等教育機關カ生マレテ來タノテアル、ソコヲ學校系統ノ上ニよ一ろつぱ式トあめりか式ノニツノ大キナ區別カ認メラレルノテア

ル、今ソノよ一ろっぱ式ノ特徴ヲ最モヨク代表スル  
革命前ノ独逸ノ學校制度ヲ例トシテ挙ケン、独逸ニ  
於テハ中等學校 *Höhere Schule* ハ滿六才カラ始  
マリ、六ケ年ノモノト九ケ年ノモノカアル、六ケ年  
ノモノヲ卒業スルト九ケ年ノ學校ニ入ツテ残りノ三  
年ヲ補フコトカ出來ル、六ケ年ノ學校ヲ卒業スルト  
下級官吏ニ任用サレル資格カアル、一年志願兵役カ  
出來ル、九ケ年ノモノヲ卒業スルト大學 *Hochschule*  
ニ進入スルコトカ出來ル、コノ中等學校ノ最下級、  
*sexta*ニ入学スル迄ニハ已ニ或素養カ興ヘラレテ居  
ネハナラヌ、多クハ家庭教育ヲ之ヲヤルノテアル、  
ケレトモ中等學校ニ豫科 *Vorschule*カアル、コ、  
ハ滿六才カラ三年間時トシテハコノ *Vorschule*  
カ独立シテ存在シテ居ルコトカアル、コ、テ準備シ  
テ中等學校ニ入ルコトニナツテ居タ、コノ中等學校  
ニ入ルノハ皆中流以上ノ子弟テアル、中以下ノ家庭  
ノモノハ *Volkschule*ニ入ルノテアル、(平民學校)  
コノ *Volkschule* ハ滿六才カラ始マリ時代ニヨリ  
違ハアルカ最近ニハ八ケ年ニナツテ居タ、之カ先ツ  
我國ノ小學校ニ當ルノテアルカ全ク小學校ト同一視

市民學校  
スルコトハ出來ナイ、ソノ他ニ尚 *Bürger Schule*  
(ザクセン) *Mittel Schule* (プロイセン)ト  
呼ハレルモノカアル、之ハ滿六才カラ始マリ九ケ年  
乃至十ケ年ニ卒業スルヤウニナツテ居ル、ソシテ中  
等學校、平民學校、市民學校ハ皆ソレソレ入口ヲ異  
ニシテ互ニ連絡ノナイモノヲアツタ、故ニ之ヲ名附  
ケテ *Sackgasse Schulsystem* (袋町)ト云  
フ、之カ現代ノ *demokratisch*ノ考トハ兩立セ  
ス、多年問題ニナツテ居タノテアル、此ノ制度ノ缺  
点即チ人々ノ運命カ九才ニ於テ定メラレ教育ニ要ス  
ル費用カカサムコト、社会全体ヲ通シテ中流以上ト  
中流以下ノ間ニ精神的ノ融和ヲ缺クコトカ久シク、  
問題トナツテ居テ少クモ或年數ノ間ハ貴族食  
害ノ別ナク同一ノ教育ヲ授ケ然ル後ニ各向フトコロ  
ニヨツテワカレルトイフ制度ニ改メネハナラヌトイ  
云フ主張カ已ニ前世紀ノ半カラ起ツテ居タ (1848年  
頃) *Einheitschule - Bewegung*。  
*Einheitschule*ノ年數ハ理想的ニハ六ケ年ヲ  
ナケレハナラヌト考ヘラレテ居タ、ソレカ容易ニ實  
現シナイ為ニ四ケ年説モ唱ヘラレテ居タ、長イ間之



カ問題ニナツテ居タカ貴族ハ常ニ之ニ反對シ、社会  
民主党ハソノ賛成者テアツタ、中等教育ハ多ク反對  
シテ居タ、*Volkschule Lehrer* ハ殆ント  
皆統一學校主義テアツタ、教育學者ノウチテハ賛成  
スルモノモアリ、又反對スルモノモアツタ、彼ノ  
*Prof. Rein* ハ統一學校主義テアツタカ *Ziegler*  
(*Strassburg* / *Prof*) ハ反對、現在独ノ教育  
界テ名聲大イニ擧ツタ *Spranger* モ統一學校ニ  
餘リ同情シテ居ナイ、カク永イ間争ツタカ *Bayern*  
テハ中等學校ノ予科ヲ廢シ *Volkschule* 四年修了  
ノモノヲ中等學校ニ進入セシメルトイフ制度ニ改メ  
タ (戦前) *Bayern* ハ工業國テ社会民主党ノ最も  
勢カアル國テアル、然ルニ今回ノ大戦ハ絶エス革命  
ヲ引起シ、コノ革命ノ起ツタト云フコトハ種々ノ理  
由カアルカ、斯クノ如キ階級主義的ノ學校制度ノ行  
ハレテ居タコトモ其ノ理由ノ一トシテ見レナイコ  
トハナイ、何トナレハ戦カナカヒキ国内ノ困窮スル  
ニ従ツテ社会ノ上下級ノ *geistig* ノスキカ著シク  
ナツタ為トモ考ハラル、革命後中心勢カトナツタノ  
ハ社会民主党テアツタ、彼等ハ遂ニコノ機會ニ統一

學校主義ノ主張ヲ實現セシメタノテアツテ1919  
年ニ *Weinial* <sup>m</sup>ニ於テ定メラレタ所ノ *Reichsver-*  
*fassung* テハ明カニ條々ヲ設ケテ之ヲ規定シテ  
居ル、ソノ規定ニ依ルト滿六才カラ四箇年、凡テノ  
階級ヲ通シテ *Grundschule* ノ教育ヲ受ケナケレ  
ハナラヌトイフコトニナツタ、之ハ詰リ *Bayern*  
カ取ツテ來タ制度ト同シテアル、但シ公立ノ *Grund-*  
*schule* 以外ニ私立ノ學校モ認メテハ居リ、家庭教  
育テ代用スルコトモ認メテ居ル、然ルニ未タコノ  
問題カ十分ニ安定シテ居ナイノテ貴族富豪等ハ之  
ニ満足セス *Grundschule* ハ三年ヲ經過シタ後ニ  
ハ成績ニヨツテ中等學校ニ進入シ得ラレルヤウニシ  
ルカ或ハ中等學校ニ入ルニテ *Grundschule* ヲ設ケ  
ヤウトカ云フ議ヲ時々提出スルノテアツテ今尚  
ソレカ問題ニナツテ居ルノテアル、*France*ニ  
於テモ以前ハ故乙ト同様ニ中等學校ト小學校トハ連  
絡ノナイ別系統ノモノテアツタカ中等學校ノ予科ヲ  
内容上小學校ト同シモノニシ、コノ問題ヲ緩和セン  
ト企テタ事實ハ故乙同様ニ未タ小學校カラ中等學校  
ニ進入スルモノハ殆トナイト云ツテモヨイ状態テア  
ル、戦後故乙同様ニ *Grundschule* 考ヲトツテ

共通ナル初等教育ヲ行ハナケレハナラヌト云フ運動カ起ツテ居ル。英國ニ於テモ沿革的ニ見ルト、  
拙ト似ヨツタ制度テアツテ初等教育ノミヲ受ケルモノ中等教育カラ更ニ進ンテ高等教育ヲ受ケルノトハ全然別ノ系統ニ屬シテ居タ彼ノ *Public school* (私立學校)ノ如キハモト初等教育ト連絡スルヤウニ出來テ居タモノテハナイ。然ルニいざりすテハ常ニ改革ヲ企テル場合ニ過去ノモノヲ廢シテ新シイモノヲ作ルト云フコトハシナイ。過去ノモノハソノマ、ニシテオイテ新シイモノヲソレト併行サセソノ自然淘汰ニ依ツテ何レニ歸着スルカヲ待ツテ居ル。學校制度ニ於テモ旧式ノ中等學校ノ外ニ初等中等ノ連絡アルモノヲ起シ其ノ初等學校ハ皆公立テアル、ソレヲ經費ノ豊ナル爲非常ニソレカ發展シテ末テ從來家庭教育或ハ上流 *Class*ノ子弟ノ爲ニ設ケラレタ特別ノ予備學校等ハ親戚ニ耐エラレス自然公立ノ初等學校カ優勢ニナツタノテ別ニ根本的ノ改革ハ施サナカッタカ初等教育ト中等學校ノ連絡ノ問題ハ自然ニ解決ノ道カ開カレタヤウナ姿ニナツテ居ル。  
*American System*ハ初等教育ハ凡テノ *Class*ニ

通シテ同一ナルコトヲ原則トシテ居ル。即チ *One school for all* トハ屢米人ノ口ニスルトコロテアル。あめりかノ學校制度ハ小學八學年テアツテ滿六歳ヨリ始メル。其ノ後ニ中等學校ニ遷入スルコトニナル。我國ニ於テ明治五年ニ學制カ定メラレタ時ニハ學區ノ制度ハふらんす式ニ依ツテ來タ。全國ヲ五ツノ大學區ニ分ケ各大學區ニ一ツノ大學ヲ立テル、中學區、小學區、然ルニ當時ふらんすテハ未タ小學校ト中學校トハ全然別系統ノモノテアツタ、學制テハ其ノ点ハあめりか式ヲ採用シテアツテ必ス小學校ヲ終ツテ後テナケレハ中學校ニ遷入シ得ラレナイノテアル。之ハあめりかノ先例カアツタカトハ云ハ未タ封建制度ノ漸ク脱シタハカリノ明治五年テハ余程ノ英斷テアリ乍見テアツタト云フヘキテアル。  
初等教育カラ中等教育ニ移ル<sup>時</sup>期ニツイテ又問題カアル。ソレニ付テハあめりかノ事情ヲ述ヘルノカ最モ解リ易イト思フ。あめりかノ從來ノ制度テハ滿六才カラ小學八學年、<sup>等</sup>中學校四ケ年トナツテ居タガ、中等以上ノ教育ヲ受ケルモノハ、<sup>滿六才カラ</sup>八學年マテ小學校ニ止マルコトハ不便テアル。ソレハ外國語及數學、

代數幾何等)ヲ開始スル時期カオクレルノミナラス  
其他ノ教科 *Lehrfach* ニ於テモ重複ヲ生スルコト  
ヲ免レナイ。又小學ハ學年ノ場合ニ於テハ成熟期  
カ其ノ途中ニアラハレテ來ル。此ノ性的ニ成熟シタ  
モノト未ダシナイモノトヲ一ツノ學校ニ於テ教育ス  
ル場合ニハ種々ノ困難ナ問題カ起ツテ來故ニ。  
小學六學年ヲ廢トシテ中等學校ニ進入セシムヘシト  
イフ意見カ盛ニ起ツテ居ル。ソシテ巴ニ其ノ式ニ從  
ツテ居ルトコロノ學校モ段々増加シツ、アル。我國  
ノ制度ヲ見ルト尋常小學カ四學年カラ六學年ニ延長  
セラレテ居ル。丁度あめりカノ新式ト一致スルノテ  
アル。大体ニ於テ小學ハ六學年ソレ以上中等教育ト  
云フノカ今日テハ先ツ標準ト考ヘテヨカラウ。小學  
時代ニ於テハ男女ヲ區別シテ教フルト云フコトハア  
マリ問題ニナツテ居ナイ。寧ろ學科課程ノ上ニ於テ  
モ男子ト女子トハ多少ノ遠ヒカアルカ之ヲ全然分屬  
シナケレハナラヌトイフ考ハナイノテアル。然シテ  
ラ中等教育ニナルト此ノ問題カ余程重要ナ意味ヲ持  
ツテ來ル。一部ニハ所謂 *Co-education* (男  
女共學)ヲ唱ヘルコトカアル。其ノ主張ニヨレハ、

男女カ最初カラ共同ノ教育ヲ受ケルト其ノ間ニ相互  
ノ理解カ成立シソシテ女子ハ男子ノ感化ヲ受ケテ剛  
健ナ精神ヲ養フコトカ出來ル。男子ハ又女子トノ接  
触ニヨリ柔和ナ性質ヲ獲得スルコトカ出來ル。斯ク  
シテ互ニ其ノ長所ヲ交換シ其ノ缺點ヲ補フコトカ出  
來ル。然モ斯クノ如クシテ成立シタ兩性間ノ理解ハ  
將來男女カ共同ニテ家庭ヲ造リ又社會ヲ組織スル上  
ニ於テ常ニ有益ナリ而モ性生活カラ來ル危險モ之ニ  
依リテ予防スルコトカ出來ル性生活ノ上ノ危險トイ  
フノハ接觸ニ依ツテ起ルノテハナクシテ。寧ろ異性  
ニ對スル知識カナク想像ニ依ツテ好奇心カ高マツテ  
居ルコトカラ起ル。今日 *Co-education*ヲ實  
行シテ居ル所ハ少カラスアルカ中等學校ニ於テ之ヲ  
實行シテ居ルノハ米國カ一番多イ。而モソレハ大西  
洋沿岸ニ以クシテ中部カラ西部ニカケテ多イノテア  
ル。ソレハ必スシモ *Co-education*カ理想的  
ノモノテアルト云フ理論カラ生レタモノテナク寧ろ  
實際ノ必要カラ起ツタノテアル。米國ノ中部カラ西  
部ニカケテハ其ノ開拓カ後レテ居ル。ソノ開拓ノ初  
期ニ於テハ男女ヲ區別シテ學校ヲ設ケルコトカ困難

テアツタカラ自然之ヲ一ツニシテ居タノテアル、  
*Co-education*ヲ実行シテモ、男女各ソノ体格  
ノ上カラ又將來ノ生活ノ上カラモ遠ツタ要求カアル  
ノニ全然同一ノ教育ヲスルゴトハ出來ナイノテアツ  
テ學科課程ノ上ニ於テハ既ニ或程度ノ差別ヲ認メネ  
ハナラス、男女ノ能力差トイフモノハ百年以上甚ク  
重要ナ問題トシテ研究セラレテ居ルカ今尚未解決ノ  
問題ニナツテ居ルノテアル、兎ニ角女子ト男子トノ  
社会生活ノ上カラ遠ツタ要求ノアルハ事實ナリ、故  
ニ之ヲ各別ノ教育機関ニヨツテ教育スルコトモ必ス  
シモ不都合テハナイ、ソシテ性的ノ危険ニ付テモナ  
ホ考慮スヘキ問題カ残ツテキルト思フ、ソレハ一般  
社会ノ *Atomosphere* カ之ニ對シテヨホトカ強  
ク働イテ居ルノテアツテあめりかト日本トハ必スシ  
モ同一テハナク、故ニ中學程度ニ於テハ中學校ト高  
等女學校ヲ區別スルコトカ火クトモ安全テアルト云  
ハネハナラス、

中等教育ニ於テ最も重要ナ問題ハ古典主義ト実科  
主義或ハ尚一層ヨマカニ分ツテ古典主義ト現代外国  
語主義ト自然科学主義トイフモノノ關係テアル、從

來よ一ろつばノ中等教育ハ *Humanisten*ノ手ニ依  
ツテ起サレタモノテアル、ノミナラスソノ時代ニ於  
テハ今日ノ如ク自然科学カ盛ンテアツタワケテナク  
又各国ノ国文学モ亦發展シテ居ナカツタノテアル、  
從ツテ中等教育ハギリシヤ語、ラテン語カ最も重要  
ナ地位ヲ占メソレニ *Mathematic* カ加ツテ居ル  
ノテアル、元來ハ大學ノ豫科トシテ起ツタモノテアル  
然ルニ其ノ後国々ニ国文学カ興リ、言葉ソノモノヲ  
段々洗練セラレルコト、ナツタ、ソシテ交通カ開ケ  
ルニ從ツテ凡テノ活動カ次第ニ國際的ニナツテ來タ  
ソレト共ニ又自然科学ノ研究カ盛ニナリ、殊ニ 19.C  
カラハ非常ニ進歩ヲナシ遂ケタノテアル、ソコテ中  
等教育モ古典ノミテハ不足ヲ感スルヤウニナツテ來  
タノテアル、ソコテ現代外国又自然科学ヲ主トシタ  
中等教育カ起ツタソレハ大体ニ於テ 18.Cノ終テア  
ル、ソノ發源ハ独乙ニモアリ又併ニモ起ツタ、独テ  
ハ *Hermann Frake* カソノ先驅者テアル、  
コレカ *Realism* テアル、ソノ後引続イテソノ傾  
向カ着シクナツタ、19.Cノ間ニ中等學校ニ關シテ  
ハ古典主義ト実科主義ノ争カ中心ノ問題テアツタト

イツテモヨロシイ、コレカ1910、Schulreform  
ノ問題テアル、最初ハ古典主義ト実科主義トハ互ニ  
相譲ラス各自ヲ信スルトコロヲ主張シ各正シキ中等  
教育ナリトイッタ、然ルニ次第ニソノ争カ緩和セラ  
レ今日テハ古典主義モ現代外国語主義モ亦自然科学  
主義モ皆、ソレソレ長所ヲモチ各中等教育ヲ成立タ  
シメルモノテアル、今日ノ文化ハ單一ナル中等教育  
テ一貫セシメルニハアマリニ復雜テアル、換言スレ  
ハ今日ノ復雜ナル文化ハ中等教育ノ *deferenci-*  
*ation* ヲ是認スルモノテアルト考ヘテ居ル、即チ  
欧文化ノ根源ニ適リ共通ナル源ヲトラヘヤウトスル  
モノハ古典主義ヲ必要トシ之ニハ又永イテ文ノ間ニ  
自然ニ種々ノ修養ヲオシトケルヘキ貴重ナモノカ含  
マレテ居ル、現代ノ文化即チ *international*  
ノ文化ハ味ヒコレニヨリ修養ヲオシトケルモノ、現代  
外国語ヲ主ニセネハナラヌ、又最近ノ生活ヲ最も顕  
著ナルモノハ自然科学及ヒ之ヨリ生シタ應用的技術  
テアル、ソノ方面ニ於テ活動シ又ソレヲ通シテ修養  
ヲスルコトモ出来ルトイフヤウニ考ヘテ居ルノテアル、  
然シソノ間ノ論争カ全然ナクナツタフケテハナ

イ、大体ニ於テ古典主義ハ漸次其ノ勢カヲ失ヒツ、  
アルコトカ見受ケラレル、よ一ろつばノ大戦後一時  
又古典主義ノ勢カヲ着シタコトモアツタ、之ハ部分  
的テアリ又一時的テアツタ、此ノニツノ主義即チ古  
典主義ト実科主義ノ對立ノ為諸外国ノ中等学校ハ甚  
タ複雑ナ組織ヲ取ルヤウニナツテ來タ、其ノ点ニ於  
テハ唯一種類ノ中學ノミヲ有スル我國ハ例外テアル、  
最モワカリ易イノハ故テ古典主義ノ中等学校ハ、

*Gymnasium* (9) ト *Progymnasium* (6)  
デアリ、茲テハギリシヤ語トラてん語カ授業時數ノ  
中ノ大部分ヲ占ム、ソレニ對シテ実科主義ノ学校ハ  
*Ober-realschule* (9) ト *Realschule*  
(6) テアリ、茲テハ現代外国語ト数学物理化学カ主  
要ノ地位ヲ占メぐりーく、らてんハ共ニ省カレテ居  
ル其ノ中間ニ *Real-gymnasium* (9) ト  
*Proreal-gymnasium* (6) トカアリ、之ハ  
ギリシヤ語ヲ除イテラてん語ヲ残シテギリシヤ語ノ  
時間ヲ  
現代外国語、数学、物理、化学等ニ譲ツテ居ルノテ  
アル、*Gym.* ハ近頃新設セラレルモノハ殆ントナイ、  
新設ノ中等学校ハ多ク *Realgym.* カ多イ、斯クノ

如ク中等学校ノ *Arten* カ多クニ分レ滿九歳ニ於テソ  
ノ何レカノ一ツヲ選バネハナラヌトイフコトカ甚タ  
不便テアル。又学校経営ノ上テモ經費ヲ要スル。ソ  
コテ下ノ方ノ學年ハ共通ニシ上級ニ進ムニ  
從ツテ之等ノ種々ノ主義ニ分カレテ行クヤウニ仕組  
マシタ學校モアル。カ、ルモノヲ *Reform Schule*  
ト言ツテ居ルソノ數ハアマリ多クハナイ。學者ノ之  
ニ對スル意見モマチマチテアリ經濟的ニハ都合ヨイ  
カ學校トシテハ纏リ悪イモノテアルトイツラ居ルモ  
ノテアル。斯様ニ中等学校ノ種類カ分レテキルト滿  
九才或ハ十才ニ入学ノ際ハイカナル中等教育ヲ受ケ  
ルヘキカラ決定シナケレハナラナイノテアル。勿論  
今日テハ大學ノ入学ニ對シテハ何レノ學校モ略々同  
様ニ資格ヲ認メラレテ居ルノテアル。入学ハ次第ニ  
寛大ニナツテ來タカ。殊ニ小都會ナトテ唯三種類ノ  
中等学校ヲ同時ニ設ケルコトハ困難テアル。  
ソコヲ比較的輕學年テ共通學科ヲ教ヘ學年ノ進ムニ  
從ヒ或ハ古典ヲ主トシ或ハ實科ヲ主トシテ一ツノ學  
校ニ於テ種々ノ要求ヲ同時ニ滿スヘク工夫セラレタ  
學校カアル。之ハ *Reformschule* (改良中學)

之ニ對シテ教育學者ノ意見ハマチマチテアル。例ヘ  
ハ *Ziegler* ノ如キハ反對ノ意見ヲ持ツ。  
最近ニ至ツテ又注意スヘキモノハ *Ober deutsche*  
*Schule* ノ出來タコトテアル。元來彼乙ノ中  
等ニ限ラス何レノ國ニ於テモ中等学校ノ學科課程ノ  
大部分ハ古代或ハ現代ノ外國語ニヨリ占メラレタモ  
ノテアル。然ルニ種乙ハ革命ノ際、独乙語、独乙文  
學、独乙歴史等ノ學科ヲ中心トシ純粹ニ *deutsche*  
*Kultur* ヲ中心トシタ中等学校ヲ設ケルコトヲ  
*Verfassung* ニ規定ス。之ハ一面ニハ *notio-*  
*-nalismus* ノ現ハレテアリ一面カラ見ルト長  
ク平民學校ニ居ツテ大學ニ進入セヤウトスルモノハ  
尚ニ外國語ヲ主トシナイ中等学校ヲ必要トシタカラ  
テアル。此ノ學校ハ或ハ外國語カ加ヘラレルカモ  
知レナイカ今日マテ議論ニアラハレテ居ルトコロヲ  
見ルト其ノ種類ハニツテアル。ソノハ必ス現代外國  
語ヲナケレハナラヌ。而モ英語カ最も多数ノ考ヘテ  
居ルモノテアル。其ノ時間ハ一週三時間ヲ超エルコ  
トハナイ。此ノ學校ハ憲法ニハ規定シテアルカソノ  
學科課程其他ハ未ダ調査中テ未ダ實現シテ居ナイ。

からんすニ於テハニ種類ノ *Lycée* ト *Collège*  
ノ中等学校カアル之ハ実ハ學校ノ課程ノ上カラ區別  
セラレタモノテハナク唯 *Lycée* ハ大都會ニ設ケラ  
レタ国立ノモノテアリ *Collège* ハ小都會ニ設ケラ  
ラレタ地方立ノモノテアルトイフ蓋タケテアル、コ  
ノニツハ其ノ組織カ大体ニ於テ独乙ノ *Reform*  
*schule* ト似通ツテ居ル、即チ輕学年ニ於テハ共  
通學科ヲ學ヒ途中カラソレカ分カレテ或ハ古典或ハ  
現代外國語或ハ自然科学或ハ夫レ等ノモノノ組合セ  
トイフヤウナ風ニ種々ノ主義ノ部カ並ヒ立ツコトニ  
ナツテ居ルノテアル、ソシテ終リニナルト其ノ全体  
ヲ合セ更ニ之ヲニツニ分カチ其ノ一ツヲ *Class*  
*Philosophie* ト *class Mathématique*  
トス、此ノ區別ハ大体我國高等學校ノ文科、理科ノ  
區別ノヤウナモノテアル、コノ數學級或ハ哲學級ヲ  
終ルト大學ニ接続ス其ノ中途階級ハ時々改メラレル  
而モ最近ニハ一時何レノ部ニモ或程度ノ *Latin* 語  
カ加ヘラルルヤウニナツタカソレモ間モナク改メラ  
レ今日尚不安定ノ狀態テアル、

英國ノ中教育ハ非常ニワカリニクイノテアルソレ

ハ學科課程ノ上ニ於テ統一的ノ法令カアルワケテナ  
ク色々ナ時代ニ始メラレタ學校カソレソレ違ツタ  
史ヲ以テ思ヒ思ヒニ課程ヲ定テ、居ルカラテアル、  
ソノ中ニ於テ *Great public schools* カ  
史的ニハ最も主ナル位置ヲ占ム、其ノ中ニ寄宿制度ノ  
モノト通學制度ノモノトカアル寄宿制度ノ *Great*  
*public schools* ハ元來古典主義テアル、ソシ  
テ通學制度ノモノハヨホト現代外國語又ハ自然科学  
ニ重キヲ置イテ居ル、比較的ニ新シク発達シタ、

*Secondary schools* テアル、ソシテ古典主義  
ノ *Great public schools* ハ時代ノ移ルニ  
従ツテ其ノ中ニ現代外國語又ハ自然科学ヲ主トスル  
部ヲ設ケナケレバ、ナラナクナツテ來タ、*Classic*  
*side*, *modern side*, *scientific side*,  
カアラハレタ、英國中華教育ニモ古典、現代語、自然  
科學ノ三ツノ部カ現ハレテ居ルワケテアル、

あめりカニ於テハ他國ト又違ツタモノカアル、ソ  
レハ中學校ト中等程度ノ實業學校トハ全然區別セラ  
レテ居ナイ、之ヲ *High school* ト稱シテ居ル、  
ソノ中學校モ、モトハよ一若くは同標古典カ最も主要ナ

地位ヲ占メテ居タノテアルカ段々時勢ノ要求ニツレ  
色々+ *course* カアラハレテ来タ。ソノ分ケ方ハ  
非常ニ複雑テアリ純粹+ *classic course* モアリ  
又 *pure + modern course* モアリ *scientific course*  
*モアルカソノ間ニ或ハ Latin english course, Latin scientific course*  
*ナトアル。尚其ノ上ニ実業方面ニハ、 Commercial course*  
*トカ Technical course* トカ *Agriculture course* カアリ或学校  
ハ或一ツノ *course* ヲモツコトモアリニツ或ハソレ  
以上色々ナ *Course* ヲモツコトモアリ非常ニ複雑  
ニナツテ居ルノテアル。普通ノ他ノ国ノ中学校ニ相  
当スルモノ即チ実業科テナイモノハ *General course*  
或ハ *Collegiate course* ト呼ハル。ソノ部カラ大学ニ進入スルノカ普通テアルカシカシ  
他ノ国テモ問題ニナツタト同様次第ニ *college* ニ  
入学スルコトニ對シテ制限カ撤去セラレ今日テハ他  
ノ所謂 *Credit system* ニヨリ *High school*  
ニ於テオサメタ授業時間数及ヒソノ本人ノ  
學業成績カ定メラレタ標準ニ達セル場合ハ之ニ *Cr-*

*edit* ヲ英ヘソシテ *college* ノ入学ニ際シテハ  
ソノ *credit* ノ数ヲ標準トスルヤウニナリソノ項  
ニ依ラナイヤウニナツタ。ソノ *Credit System*  
ト共ニ尚一ツノ特色ノアル制度カアルソレハ *Ele-*  
*ctives system* (選択科目制度) テアル。一ツノ  
*High school* ノ中ニ種々ノ学科ヲ設ケテ置イテ  
学校ハ極ク僅カ極端ナル場合ニ於テハ唱歌ト体操位  
ヲ必修科目トシソノ他ハ一切自由ニ選択サセル。其  
ノ選択ノ任方ニヨツテ生徒 *student* ノ選択ニヨ  
リ一ツノ学校ノ中ヨリ自然ニ古典主義、自然科学主  
義、現代外国語等各異ナツタ *Course* カ選ハレル  
ノテアル。之ハ極メテ便利ナヤウテアルカ又種々ノ  
困難ヲ伴フ。生徒カ自由ニソノ希望スル学科ヲ修了  
スルタメニハ時間ノ衝突シナイヤウニ時間割及教室  
ノ設備ヲ要ス。故ニ大規模ノ学校テナケレハナラス  
適當ニ又學生ヲシテ選択スルコトオ困難テアル。普  
通ノ場合ニ於テハ本人、父兄、教員、校長カ合議ノ  
上テ選メルコトニナツテ居ル。

新様ニ中等学校ノ種類カ多クナリ而モ極メテ自由  
ノ制度ニナツテホルコトニ學生ノ進路ノ上ニ於テハ



極メテ便利テアル、之ト稍似寄ツタ問題ハ中等程度ノ実業学校ノ卒業生カ更ニ高等ナル学校ニ進入スヘキ門戸ヲ拡張セネハナラヌトイフ 向類トナツテアル、今日テハ商業学校ノ卒業生カ高商、農学校ノ卒業生カ高農ニ入ル道ハ闊カレテ居ルカー層之ヲ自由ニシ中學校卒業生ト同様ニ高校其ノ他アラユル種類ノ専門学校ニ進入シ得ルトイフコトニシタイト云フ問題カアラハレテ来ルノテアラウ、ソレニハ米國ノ今日ノ状態ハ餘程参考ニナルモノテアラウト思ハル、ソレハ一方ニ於テ非常ニ便利テアルカー一方ニ於テハ多クノ不便ヲ生シテ居ルノテアル Collegeニ於テハソノ学生ノ素養カアマリ不一致ナルタメニ種々ノ学科ノ初級ノ教授ヲ行ハナクハナラナクナツタ居ル、ソレハツマリ High schoolノ任務ヲ Collegeカオシツケラレタ形ニナツテ居ルノテアル、又広ク社会的ニ見ルト高等教育ヲ受ケタモノカ、普通教育ノ素養ニ於テアマリニ不一致ナルタメ、国民全体トシテ中堅ヲナスヘキ社会 classノ間ニ精神上ノ結合カ成立ツテ来ナイ欠点ヲ生シテ居ルノテアル、

我國ノ中學校ハ唯一種類テアツテ他ノ國ト趣キカ透ツテ居ル、之ヲ独<sup>Gymnasium</sup>ト同シ様ニ考フルハモアル、實ハ決シテソウテナイ、何トナレハ其ノ学科課程ノ中心ヲナスモノハ現代外國語ト数学テアツテソレニ他ノ学科カ組合ハサレテ居ルノテアル、ソシテ古典トシテ見ルヘキモノハ只僅カニ漢文カ、入ツテ居ルタケテアル故ニムシロ之ハ独乙ノ Realgymト似寄ツタ性質ヲモツテ居ルノテアル、ムシロ實科主義ニ近イモノテアル、之ニ對シテ新タニ理科中學校ヲ起サウトイフ考ヘカ極ク小部分ノ人ノ中ニアルカ餘リ重要視セラレテ居ナイ、古典カ次第ニ勢カヲ失ヒツ、アルコトハ世界全体共通ノ傾向テアルカ、然シ故乙ニ於テモ Realgymカ割合ニ多イ、あめりカニ於テモ latin 語ヲ僅カニ加ヘテ居ル、Latin english 或ハ Latin scientific courseカ割合ニ多イ、ソレト我國ノ中學校トハ大体傾向ヲ同シクスルモノテアル、

扱テ女子ノ中等教育ニ付テ考ヘルト男子ト趣キカ透ツテ居ルノテアツテ國ニヨツテ多クノ透ヒカアル、例ハあめりカノ如キハ girls high school

ト boys high school ト course カマ  
マリ着シク遠ツテ居ナイ。ケレトモ他テハ多ク現代  
外国語ト種々ノ技藝トヲ組合ハセソレニ国文学トカ  
ノ次トカカ入ツテ居ルノテアル。独ニテハ高等女学  
校ヲ Höhere Mädchenschule 或ハ Föchter  
schule (私立ノ方) トイッテ居ル。ふらんすテモ  
名称ハ女子中学校トナツテキルカ学科ノ内容ハ高等  
女学校式テアル。之等ノ高等女学校或ハ女子中学校  
カラ大学ニ進入スルコトハ甚タ困難テアル。ソコ  
ヲ独ニテハ Lyceum トイフモノカアリ此ノ中一部  
分ハ師範学校ノ任務ヲヤツテ居ル。他ノ一部ハ大学  
ニ入ル準備ヲスルコトニナツテ居テ並項ニナツテ女  
子ニ對シテ大学ニ進入スルタメニ Frauengym-  
nasium カ出来テ居ルソレハ大抵 Realgym.  
ノ如キ形ヲトツテ居ル。我国ニ於テ並来女子ノ高等  
教育ヲ受ケルモノカ漸次増加シツ、アルカソノ為ニ  
高女、高等科或ハ専攻科等カ設ケラレタカ、ソレカ  
大学ニ接続スルタメニ、ナホ一般ノ工夫ヲ要スルノ  
テアル。

以上ハ普通ノ中等教育ヲ説イタノテアルカ最近ニ

於テ注意スヘキ現象ハ又他ニハ学教育ト中等教育ト  
ノ中間ニ位スルモノカアラハレテ来テ而モソレカヨ  
ホト有カナ地位ヲ占メツ、アルノテアル。ソノ中ニ  
モ稍来歴ノ古イモノト新シイモノトカアル。古イモ  
ノニ付テイフト独ニテ Bürgerschule カソノ一  
ツテアル。(mittel schule ト Preussen ニ  
テハ云フ) 之ハ滿六才カラ始マリ平民学校ヨリ一年  
乃至二年程度カ高クナツテ居ルノテアル。ソシテソ  
レニハ必ス一外国語カ加ヘラレテ居ル(英語カ割ニ  
多イ) ソレニ加フルニ簿記、製図トイフ様ナ課カ加  
ヘラレテ居ル之ハ師範学校ニ (Lehrerseminar)  
入ルニハ必要ナ階段テアツタ、師範学校ニ入ラナイ  
モノハ多ク商工ナトニ向フモノカカナリ成績ヲ奉ケ  
テ居タ、ふらんすノ高等小學校カ又之ト非常ニヨク  
似テ居ルノテアル。ソシテ然モ独ニテヨリハ尙一層分  
科的ニナツテ居テ一部分ノモノハ師範学校ニ入ル準  
備ヲヤリ一部ハ下級官吏ニ又商業、工業、農業ニ向  
フモノテアル。コノ高等小學校ハ非常ニ評判カヨカ  
ツタノテアル殊ニソノ中商業的ニ組織サレタ小學校  
ハ世界的ニ有名テアツタ、又政府モソノ優民ナル事

業者ヲ外国語ノ練習ノタメニ數ヶ月外國ニ送ツタ、  
大戰後ふらんすテハ此ノ種ノ學校ヲナホ一層拡充シ  
奨励スルコトヲ企テ、テ居ル、新シク生レタモノニ  
ハ *Central school* (英) カアル、之ハ普通ノ  
小学校ノ半ハ頃ノ学年カラ特ニ優美ナルモノヲ選抜  
シテ之ヲ或 *center* = 集メテソコニ於テ商工業等ヲ  
加ヘテ普通教育ヲヤツテ行クノテアル、ソシテソレ  
カ自然普通小学校ヨリハ修業年限カ長ク滿16.7オ  
マテ達スルノテアル、1918年 *Fisher act* =  
於テモコノ種矣ノ教育ヲ余程重要視シテ居ルノテアル、  
あめりかニ於テハ *Junior high school*  
カアル、之ハ中央カラ西部ニ多ク、コレモ亦小学校  
ト中学校トノ中間ニ位スルモノテアルカ現在ノトコ  
ロハ非常ニマチマチテアル場合ニハ小学<sup>年</sup>ト接続  
シテ二年或<sup>V</sup>場合ニハ小学七<sup>年</sup>ニ接続シテ三年  
或場合ニハ小学六<sup>年</sup>ト接続シテ三年テアル、大体  
ニ於テハ中等教育ノ稍程度ノ低イモノテアルカ、必  
ス実業的ノ科目カ加ヘラレテ居ル、此ノ學校ハ普通  
ノ *high school* ト聯關シテ *college* = 進  
入スルコトモ可能テアル、然シソレハムシロ目的ノ

中心トシテ居ナイノテアツテ滿16オ乃至ノクオ位  
マテノ同學校生活ヲユルサレル人ニ對シテハソノ小  
學校ヨリ程度カ高ク而モ実用的ノ教育ヲ受ケサセル  
タメニ起ツタノテアル、之ハ工業カ新シイニ關ラス  
非常ニ勢ヲ増加シツ、アル、州ニヨツテハコ、マテ  
ヲ義務教育ニ取入レソトシテ居ルモノモアル、カヤ  
ウニ初等教育ト中等教育ノ中間ノモノカアラハレテ  
來タコトハ今日ノ社会全体カソウイフモノヲ要求シ  
テ居ルコトヲ示シテ居ルモノテアツテ從來初等教育  
ノミヲ以テ満足シテ居タモノカ不満足ヲ感スルヤウ  
ニナツテ來タコトヲ意味シテ居ルノテアル之ヲ概  
括シテ *Intermediate school* ト稱シテ居ルモ  
ノモアル、

我國ニ於テハ中学校ノ上ニ高等學校カアツテソレ  
ハ外國ニ於テ例ヲ見ナイトコロノ無用ノ階級テアル  
トイフ説カヨクアラハレル、又之ニ對シテ我國ニ於  
テハ外國語練習ノ困難カラシテカクノ如キ一種特  
別ノモノカアラハレタ、ナクトモ止ムヲ得サルモノ  
トシテ利用スルヨリ仕方ナイト考ヘル見方モアル、  
ソレニ付テハ未ダ深ク考ヘル余地カアル、之カ諸外

国ニ例ノナイコトテアルカトイフニ決シテソウテハ  
ナイ、故ニ於テモ中等學校ハ六年程度ト九年程度  
ニ分カレテ居リ後者ノモノ、後ノ三年ハ即チ高等中  
學校テアル、フランスノ *Lycee* ニ於テモ大學ニ接続  
スルタメニハ哲學級、數學級トイフモノヲ經ナケレ  
ハナラナクナツテ居ル、此ノニツノ學級ハ普通ノ中  
學校ト大學ノ間ニアルノテアル、あめりかノ *College*  
ヲ我國ニ於テハ往々大學ト叙ス、ソノ爲ニ誤解カ生  
ジ易イ、之ハ場合ニ於テハ高等學校テアルソノ *Co-*  
*urse* ハ時ニハ高等普通教育テアル、*College* ハ又  
或場合ニ於テハ專門學校テアル、ソレテ我國ノ  
ミカ特別ニ斯カル階段ヲ以テ居ルノテハナイ、然モ  
大學ニ進入スル人ニ對シテハ必要欲クハカラサル一  
ツノ階段テアル、

最高ノ教育機關ハ大學テアル、ソノ大學ノ性質ニ  
付テモ多少ノ問題カアル、從來長ク大學ハ學術ノ研  
究所ナリト稱セラレテ居タ、現在ニ於テモソノ性質  
ヲ全然失ツタワケテハナイカ次第ニ學習ノ場所トナ  
ツテ研究ニ對シテハ稍不便ヲ感スルヤウニナツテ居  
ル、最近ニハ學術ノ研究所トシテハ大學以外別ノ機

関ヲ利用スルト云フ主張カ勢カヲ得ツ、アル、大學ハ  
原則トシテハ種々ノ學部ヲ合ハセテモソノ所謂綜合制  
テナケレハナラナイト云フコトカ傳統的ニナツテ居  
ル、中世以後其ノ考テ進ンテ來タノテアル、元來學  
術ノ研究ハ例ハ各種ノ專門ニ分カレテ居テモ常ニ密  
接ノ關係ヲモツコトハ事實テアル、殊ニ種々ノ新研  
究、新問題等ハ或專門學科ト他ノ專門學科カ接觸ス  
ル點ニ於テ屢々現ハレテ居ル、凡テノ學問ハ全体ト  
シテ有機的ノ關係ヲ保ツテ居ル、故ニ一大學ノ中ニ  
凡テノ學科カ綜合セラレテ居ルトイフコトハ最も都  
合ノイハコトテアル、然シテラソノ主張ヲスルニ當  
ツテ往々 *Universität* トイフ高等ノ語源カラ説  
カントスル人カアル、即チ *Universo* ハ即チ万有  
ヲ意味シテ居ルノテ當然綜合制テナケレハナラヌト  
主張スルノハ誤リテアル、(*Collegium* モ國體ノ  
意味、*Studium generale* モ大學ノ意味チ  
アツタ) 又大學ハ純粹ナル學理ノ研究所テアツテ應  
用的ノ技術、如キハ大學ノ中ニオクヘキモノチハナ  
イト云フ思想カアル之モ亦非常ニ古イ傳統的ノ考ヘ  
テアル、歐洲大學モ幾邊アリテ必スシモ一致シテ居

ナ、ノテアルカ、神学部、法学部、医学部、哲学部  
ノ四学部カラ成立ツトイフコトカ長ク慣例ニナツテ  
来タノテアル、但テソウイフ議論カ起ツタノテアル  
カソノ四学部ハ果シテ純粹ナ學理ヲ研究スル所  
カトウカ疑ハシイ、独逸テハ商工農ノ学科ヲ大學ニ  
置クコトヲキラツタ為ソレヲハ各独立の單科大学ニ  
ナツテ居ル (*Fach Hochschule*) 神学部ハ教  
師ノ養成機關、法学部ハ裁判官、弁護士、医学部ハ  
醫師ノ養成機關テアル、就中医学部ノ如キハ明カニ  
應用的技術テアリ 法シテ純粹ノ學理研究ト  
ハ言ヘナイ、故ニ技術者養成否定モ余リ確<sup>テ</sup>ナイ、

次ニハ教員養成機關ニツキ簡單ニ述フ、教員ノ養  
成ノ為ニ特別ノ機關ノ設ケラレシハ創設新シイコト  
テアル、Hermann Franke カ Halle 大  
學ノ中ニ學生ヲ集メテ特別ノ指導ヲ與ヘテ教員ニア  
タラセルコトヲ敢ヘテ来タソレヲカ先ツ初メテ、  
アル、(18.C.終頃)今日各国ノ教員養成法カ多ク  
遺ツテ居ル、ソシテ中等教員ト初等教員トノ差別ヲ  
立テ、居ル所モ居ナイ所モアル、先ツ初等教員ニ付  
テ云フトふらんす革命前ノ独乙ハ我国ト相似寄ツテ

居テ師範學校ヲモツテ居タ、*Lehrerseminar*  
独乙テハ *Bürgerschule* ノ卒業生カ入ツタ、  
独乙ハ革命ト同時ニ之ヲ廢シ一般中等教育ヲ基礎ト  
シタ教員養成機關ヲ設ケルコトニシタ、之ヲ新憲法  
ニ規定シタ、ソノ實際ノ方法ハ今モ十分ニ決定シ  
テ居ナイ、ふらんすテハ大戰後、師範學校規則ノ一  
部ニ改正カアリソレハ余リ大シタ 尚類テハナカツ  
タ、英吉利テハ昔ハ *pupil teacher* (放生  
——前ハ授業生) ノ制ヲトツテ居タカ此ノ項ハ還ツ  
テ來テ段々ニ中等學校ノ卒業生ヲ收容シテ *Train-*  
*ing college* トシタ、約二年間此處テ修業サ  
セル、America テハ *Normal school* カ  
アルカ之ハトコロニヨツテ非常ニ透フ、少シ前ニハ  
僅カ數ヶ月ノ講習会ト受テナイ、又ウナモノテアツタ  
カソレカ次第ニ整頓シテ段々ニ *High school*  
ノ卒業生ヲ收容スルヤウニナリ二年ノ *course* ヲ  
モツヤウニナツタ、最近ニハ更ニ四ケ年ニシ *nor-*  
*mal college* 或ハ *Teachers college*  
ト云フ名称テマツテ居ル、要スルニ各国共小學校ノ  
程度カ漸次高マツテ来タ為教員養成機關ノ程度モ亦

高メナケレハナラナクナツテ來ル。我國ニテモ同様ノ事情カラ師範學校改善ノ議論カ盛ニ起リ遂ニ專攻科ヲ設ケルヤウニナツタ。(エコールノルマールニニ種、ジュニエール、シニエールアリ、之カ又発達シテ、エコールスペクエール、トナリ、非常ニ高イ程度ニナツタ。遂ニ大學ヨリ構成アルモノトナツタ)(Ober deutsche schule ノウチ Aufbau-schule ノ形ヲ造ラレタモノカ將來小學校教員養成機關トナルナラン) monitcial system 之ハ英國テ pupil Teacher トナルモノヲ小學校ヲ出テカ一定ノ期間教師ノ助手ニツケテ見習ヲヤラセル方法ニ依リシタメ 英國ノ初等教育カニハカニ益マツタ、pupil Teacher ハソノ中種々ノ學科ノ試験ヲ受ケ training school ハ送ラレソコヲ卒業シテ教師ニナル。

各種ノ實業教育機關カ設ケラレテ小學校ニ續スヘキ補習學校カラ中學程度ノ實業學校又專向學校程度、大學程度ノモノニ至ルマテ形ヲ整ヘ一大系統ヲ形造ルヤウニナツタノハ第19.Cニ於ケル教育上最モ顯著ナル進歩ノ一ツテアル。ソノ中ニ於テモ補習

教育ハ最モ重要ナ意味ヲモツテ居ルモノテアツテ各國共ニ次第ニ之ヲ義務教育ノ一部分トシヤウトイフ傾向カ現バレテ居リ部分的ニハ實現シテ居ル。(補習學校ハモトハ宗教的ノ性質ヲ持ツ Sunday school 英語等ニアリ學校生活ヲ終レル地方ノ青年達ニ説教シタリスル。傍ラ教師カ読算等ヲ教ヘタカ起源、普通補習教育ハ一般ノモノヲ教ヘタリ、然シ次第ニ職業的ノ性質ヲモツテ來タ、Berufsbildungsschule. 独ニテハ昼間、一週ニニ三度開ク、あめりかノ最近流行ノモノ Part-time school. 之ハ學校ト工場ト聯絡シテ仕事ソノモノノ實習ハ shopニ委セ理論的ノモノヲ學校ヲ教ヘル。中等程度ノ職業學校ハ独ニハ Fachschuleト云フ。

以上述ヘタコトハ普通教育機關ヲ一通リ各系統ニ分カツテ説明シタノテアルカ其ノ他ニ身体若シクハ精神或ハ身体及精神ニ缺陷カアツテ普通教育ヲ受クルコトノ出来ナイ子供カアル。ソレ等ノモノノ爲ニハ又盲學校、聾啞學校、癩人學校 (Krüppelschule) 林間學校 (Waldschule) 又ハ Open air

school (露天學校) 低能児ノ爲ノ補助學校 (Hilfsschule) 白痴院 (Idioten anstalt) 等カアリ不良少年ノ爲ニハ感化矯正ノ爲ニ設ケラレタ矯正院、少年院等カアル、ソレ等ノモノハ皆特殊ノ目的ヲ持ツテ居テ普通ノ學校教育ト稍趣キヲ異ニシテ居ルカ其ノ實際ノ事業ノ上ニ於テハ確ニ教育的ノ意味カアルノテアツテ教育學的ニ考察セラルハキ性質ノモノラアル。

Pädagogische Pathologie 教育病理學

Heilpädagogik 治療教育學

(木園食民街 milk station、大体四種類ノ牛乳ヲオク、ソレヲ形ノ異ツタ罐ニ入レテオク、 day nursery 乳児院、Kleinkinderschule 或ハKinderbewahranstalt Infant school (托児所) Kinderhort (小學校へ行ク児童ヲ毎日預カル、すいすノ之ハ好評ナリ、手エヲ教ヘソレヲ売ツテ貯金サス)

前述ノ如ク教育ハ意識的ニ行ハレテ居ル、社会化作用ト見ルコトカ出來ル、ソノ社会化ノ方法カ段々ニ Systematise セラルルニヨツテ前述ノ如キ種々

ノ教育機關カアラハレテ來タノテアル、トコロカソノ他ニモ現今將ニ Systematization process ノ途中ニアルモノカアル、ソレハ通俗講演 (Volkstümliche Vorträge) 民衆大學 (Volkshochschule) 通俗図書館、博物館又修養ヲ目的トシテ居ル種々ノ団体例ヘハ青年會、処女會等又体育ヲ目的トスル種々ノ団体及其ノ運動ノ設備トイフヤウナモノカアル、之等ノモノハ今日漠然ト社会教育ト呼ハレテ居ルカ、次第々々ニ組織カ立ツテ來テ學校ト又手ヲ携ヘソノ組織ニ至ツテモ規則正シキ學校ト次第ニ類似シテ來ル傾向カアル、教育イ云フ言葉ハ玄クモ妙クモ解釈セラルル、若シ最モ本ク解釈スルナラバ之等ノモノヲ包含シテソノ全体カ有機的ノ關係ヲ保チツツ各方面カラ共同ノ目的ヲナシ遂ケルヤウニナツテ居ナケレハナラナイ筈テアル、(通俗講演ハ英ニ早ク起リ多ク文藝ニ携ヘル人カヤツタ、之等ノ人ハ多ク Universityman テアツタ為、

Oxford, Cambridge ノ人達カ中心トナルニ至ツタ筈ニ大學ノ教育的ノカヲ一般民衆ノ間ニモ普及サセントスル運動トナツタ、之 University

attention テアリ、之ト University settlement  
トナルヘカヲサル関係ヲモツテ進ンタ、独ハ大學ニ  
關係ナク行ハレテ居タカ段々發達シテ夜學ノ形式ヲ  
取ルニ至ツタ、最近大學カ中心トナツテヤルヤウニ  
ナツテ來タ、Denmark テハ 1850 年代頃カラ  
Grundtvig (宗教家ニシテ愛國者) ハ義務教育  
ヲ終ツタモノヲ集メ國粹的ノ教育ヲシ、傍ラ農業補  
習的ノコトモ放ヘタ寄宿制度テ半年宛トス、前期後  
期アリ之カ歡迎サレ Sweden Norway = モ移  
リ佛、独、米アタリニモ真似ルモノカアツタ、Volk  
ノ Bildung ハ北歐ノ方カ進ム、独ニテハ大戰中  
革命思想ヲ恐レコノ Volkshochschule ヲ建テ  
、独乙主義ヲ鼓吹セントシタ、然シ之ハ效果モ挙カ  
ヲス道ニ革命ニナツタ、革命後此ノ運動ハ尚  
一層盛ニナツタ、通俗図書館 Volksbücherei 博  
物館中 Urania Museum (ベルリンニアリ) ハ  
中學程度ノ理化ノ博物館、実験モ出來ル、体育會ノ  
ウチ注意スヘキハ Deutsche Turnerschaft  
地方々々ハ自治、中央ニ委員會、全国的ノモノ、シ  
カゴノ運動場ニハ図書館モアル、教育ニ關スル政

策上ニイテ範圍ニ亘リ全体ノ教育ヲセネハナラヌ、政  
洲大戰后各國共教育ノ改革問題カ起ツテ居ル、系統  
的教育學ノ中ニハ將來ノ教育政策ノ原理ヲ含ンテ來  
ナクテハナルマイ、米國ニ學校行政ノ養成機關カ並  
項アル、校長及視學官ノ養成、School admin-  
istration. //

## 第二部 方法論

教育ノ方法ノ区分ニツイテハ從來必スシテ確定的  
ノ形式カ定ツテ居タワケテハナイ、ケレトモ其ノ中  
ニ自ラ一教スルトコロカナイテモナカッタ、Herbart  
派ノ教育學ニ於テハ Regierung, Unterricht,  
Zucht ニワケテアツテ Regierung, トイフノハ  
教育者ノ末ヲ幼年ノ自分ニ將來ノ生活ニ對シテ有  
害ノ習慣ヲ發生セシメナイタメニ行ハレル消極的  
手段ニテアル、Unterricht トイフノハ Erfahrung  
(經驗) 及ヒ Umgang (交際) ノ補充トシテ知識



及技能ヲ授ケルコトテアル。(Fertigkeiten 技能)  
Zucht トイフノハ積極的ニ善良ナル<sup>習慣ヲ</sup>構成シテ他ノ  
教育的手段ト相俟ツテ道德的ノ品性ヲ進リ上ケル方  
法テアル。然ルニコノRegierungトZuchtハ元来同一ノモノテアツテ  
ガハソノ積極的ノ方面ヲ指シRegierungハ消極的方面  
ヲ指シテ居ルト云フニ過キナイトイフ考カラシテ之  
ヲツニシテZuchtト名附ケルコトカ多イノテアル。  
ソシテ又他ノ方面カラシテ身体ノ健全ナル發育  
ハ教育ノ全体ニ對シテ必要ノ條件テアルトイフ考カ  
ラPfleger トイフモノヲUnterricht, Zucht  
ノホカニアケテ居ル人カ多数アル。(養護)英、米ニ  
於テハPhysical education, intellec-  
tual education, moral education  
トイフ區別ヲシテ居ル人カ多イ。此ノワケ方ハ大体  
ニ於テPfleger Unterricht Zuchtノ分  
ケ方ト似テ居ル。即チ体育ハ養護ト知育ハ教授ト、  
德育ハ訓育ト似ヨツタ前カアル。然シテ全然一致  
スルトイフワケテモナイ。何トナレハPhysical  
educationノ中ニ於テモ体操科ハ教授テアル。  
又修身教授ハmoral educationノ一部ヲナ  
サレハナラス。故ニ式ノワケ方ハ主トシテ英ノ方法

ノ上カラ見テ區別テアリ英米國ノ見方ハ其ノ目的ノ  
上カラテラレタ前ノ區別テアル。従ツテ然ク一致  
スル款ニハ行カナイ。又何レノ分ケ方ニセヨ具體的  
ニ実施セラレテキル前ノアル教育的ノ手段カ同時ニ  
種々ノ方面カラ眺メラレルコトカアリ得ル。体操科  
ノ如キハpflegeテアルカソノ形式ノ上カラ見  
レハUnter nicht テアリソノ結果カラ見レハ  
Zuchtノ一部テアル。何レノ分ケ方ニ従ツテモ  
ソノ同一ノ概念ニ區別ヲ立テルコトハ難カシイ。ノミ  
ナラス互ニ相扶ノ關係ニアル。ソノコトハ如何ナル  
教育學者ニ於テモ説カレテキル故ニ元来便宜上ノ區  
別テアル英ノ上最近ニナリ教育學ノ様々ノ學說カ現  
ハレテ來クトコロカラ今日テハ教育手段ノ分類ハ餘  
リ重キヲ置カレテキナイ。教育學ノSystemハ定  
ツテ形ハナイ。故ニ教育ノ方法ヲ分類スルコトハ甚  
タ困難テアルカ實際問題ヲ取扱フニハ何等カノ標準  
ニヨリ區別ヲ立テルコトカ最モ便宜テアル。夫ハ英  
米用ヒラレテキタ分類ヲ用ヒルコトカ最モ適當テアル  
レノミナラス今日ノ教育學者ハ自ら分類ヲ企テヌト  
ハ云ヒナカラズ承ノ言葉ヲ用ヒテキル。

第一章 体育論

独立ノ教育學者中身體不健全ナル場合教育ハ完全ニ行ハレナイ、故ニ少ナクトモ之ニ對スル *pfllege* ナ必要ヲアルト考ヘテキルモノモアル、元來旧敎國ヲハ中世以來ノ思想ニ補レ置テ單ニ肉ヲ單ニ考カラ体育ヲ認メナイ概カアツタ、又新敎徒ノ中ヲモ教育ハ *pure* ナ精神的ノモノヲ身體ノ教育ハ考ヘラレナイトイフ思想ハナイヲモナカツタ、ガ身體ト精神ノ關係ノ密接ナコトハ學術ノ進歩ト共ニ後々明カニナリ、今日テハ身體ノ健全ナル發育ハ教育上非ニ重要ナアルト一般ニ考ヘラレル、コノ *pfllege* ハ消極的ノ意味ヲアリ極ニテハ *keibliche od Körperliche Erziehung* トイフ名ヲ用ヒテキル人モアル殊ニ大戦以後體育ノ問題カ注意セラレルニ至ツテ、大ニ戰爭トナレハ勿論體力ノ強弱カ重大トナル大ニ重要テモノノ國民ノ経済的能率ニ重大ナル關係ヲモツカラテアル、ソノナ様ニテツテ來タノハ大体諸君モ知ツテキヨウ、最近米國ヲ用ヒラレル *health education* ナル詞カアル、之ノ如キハ非

常ニ廣イ意味ヲ持ツテキル、之ハ從來考ヘラレテキタ體育ノミヲナク教授訓練ノ一部ヲ含ム、身體ヲ強健ニスル爲メ訓練ハ勿論ソノ目的ノタメノ知識及ヒソノ目的ニカナツタ習慣ヲ養成スルニアル、體育ノ手段トシテ普通ニ用ヒラレルノハ *Spiele* ナアル幼少ナ子供ハ之以外ニ殆ソト體育ハナイ、*Jungen* ニ *sport turn* . . . . . ナアル其ノ内ニ於テ種々ノ異ツタ任務カアル、極ニテハ以前 *Turn* ニ重キヲ置テキタカ英米ハ *sport* ニ重キヲ置テキタ、今日ハ快活ナ気分ヲ自由ニ運動スルコトカラ身體ヲ養フニ *sport* カ勝ツテキルコトハ多數ノ觀テアル、而モ之レニ許リヨルト運動ノ種類カ自由ニ廣スルタメニ其ヲ矯正スル必要カ起ルソレハ即チ体操ノ任務ナアル、我國ニハ武術カ體育ノ手段トシテ用ヒラレテキルカニモ *sport* ト大体以テ寄ツタモノナアルカニ未タ之ハ武藝トシテ発達シテキルコトヲ體育ノ手段トシテ用ヒルニハ更ニ改メナケレハナラズト思フ體育ニハ目下盛ニ議論カレテキル問題カ多ク、例ヘハ米國ヲ盛ニ行ハレテキル學生ノ體技ハ果シテ體育ノ本ニカナツテキルカトイフコトカソ

ア+ツテアル、

## 第二章 普通教育ニ於ケル諸條件

*Unterricht* ハ前述ノ如ク智識、技能ヲ授ケル教育上ノ働キテアル、他ノ教育上ノ手段ト相俟ツテ教育ノ目的ヲ達スルノテアル、ソレニツイテ近頃種々ノ新シイ考へカ起ツテキル、教師カ教授スルノテアルカ或ハ児童教授カ学習スルノテアルカトイフヨウナ事モ問題ニセラレテ行ク、ソノ見解ノ差異ニ應ジテ方法上ノ問題カ色々異ツテ説カレテキルノテアル、此處テハ何レニセヨ如何ナルモノヲソノ材料トシテ取ルヘキカヲ問題トシナイノテアル教授ノ材料ハ即チ教材ト称セラレルモノテアル、(Lehrstoff - 教材) 主トシテ中学校ニ於ケル Lehrstoff ヲ論スルノテアルカ説明上自然ニ小学校ニ立チ入ラネハナラヌコトモアル *Ergänzung* ハ廣義ニ於テ一生ヲ通シテ行ハレルカ而シテ今コトニ論スルモノハ学校教育テアル、ソレハ年数ニ限リカアチ又曰クソレニ當テラレル時間ニ制限ヲウケテキル故ニ出来ル限リ経済的ニマラネハナラヌ、從ツテ如何チ

ルモノカ我々ニ最モ必要テアルカト云フコトカ問題トナル之ニ関シテハ勿論今日種々ノ意見カアルノモナラス又種々ノ方法ニヨツテ之カ調査セラレテキル之ハ後ニ譲ル、今日普通ニ行ハレテキル学校教育ニ於テハソノ教材ハ長シ歴史的ノ關係ニヨツテ *Traditional* 一定ツテ来タモノナリテアル、尚所察ノ餘地ノアルコトハ云フ迄モナイコトカ傳統的ニ發展シテ来タモノノ中ニハ相當ニソノ存在ノ價值アルモノモアルコトヲ考ヘネハナラヌ、ソレテ今日行ハレテキル諸教科ヲ補ヘテ補正削除ヲ行ハネハナラヌ *Der balt* 派ニ於テハ教授ハ *Erfahrung* ト *Umgang* ヲ補充スルモノト考ヘタカ *Erfahrung* ヲ補充スルモノハ *Natur* テアル *Umgang* ヲ補充スルモノハ *Menschen* テアル之ハ *Der balt* 派ヲナクトモ大体認メテキルコトテアル、ソコチ *Lehrfach* ノ中ニモ *Menschen* ト *Natur* ニ關スルモノカアル、コノ自然的人文的材料ニ分ケルコトヲ普通ノマリアカテアル、ソレチ之ノニツテモノト能クサキ或ハ稍々独立シテ技能科 *Thätigkeiten* カアル、ツマリ自然ニ對シテ

有シス国民的自覚カ高クナツテキルカラ國語教授ハ  
重大視セラレテキル、*Sprach* ハ種々ノ形式ニ  
於テ表ハレテキルカ発達シテ國語ヲハ音聲ニヨリテ  
表現セラレ、又ニソノ音聲ヲ文字ニ書キテハシテ  
モノカアル、ソノ場合ニハ言葉ハ音聲ニヨリモトカ  
根本ニテ文字ハ音聲ヲ根底トシテ生スルノチアルコノ  
ニツテ形ヲトル所カラ國語教授ニハ種々ノ仕事ヲ生  
スルノチアル即チ読方聞取書方結方トイフ様ニ仕事  
カ分化スル、而ルニ我國ノ如ク國語即音聲ニヨリ言葉  
ト文字ニ書カレタ文語トハ着シク距離ヲ生シテキ  
ル場合ニハ又ニ一層困難ニ仕事カ教育ノ上ニ課セテ  
レル今日ノ所謂文語トハ或ル時代ノ言葉カ種々ノ事  
構ニヨリ保存セラレ固定シタモノテ元來ニツアルヘ  
キ書テナイ、然モソノ文字ノ中ニモ普通文ト書翰文  
トノ差カアリソノ上ニ又ニ漢字ヲ採用シテキルタメ  
一層学習ノ困難カアル、ソノ困難タルヤ單ニ國語教  
育上ノミナラス教育全体ニ非常ニ大キト障害ヲナシ  
テキルカラ國語國字ノ整理ハ今日ノ急務ヲアル之カ  
行ハレナイ間ハ教育ノ効果モ充分ニアケルコトカ出  
来ヌ然レニテカラ之ハ教育學ノ問題ヲハナイ、之ハ高

集ト文字ノ専門家ノ問題タルノミナラス、トニカク  
國語國字ノ現在ノ状態カ統ク限リソノ状態ヲ根底ト  
シテ教育ノ方法ヲ考ヘル外ニ仕方カナクイ、チアル、

—( *alphabet* / 國語ヲハ耳ヲ聞キ得ルナラハ  
*meaning* ハ別トシテ読ムコトハ出来ル然レシ日  
本語ヲハ聞キ得テテ読ムコトカ出来ナイ) —

我カ國ヲハ書方ノ教授ハ音カラ口ヲ話シテ耳ヲ聞  
ク話方聞キ方ノ教授ハ別ニ存在シテキナカツタ、ソ  
ノ關係上死音カ餘程乱レテキル様ニ考ヘラレル、之  
ハ看過スヘカラサル問題テアツテ大イニ注意スヘキ  
モノチアル、話方ノ上テハ過去ノ家庭教育ヲハ上品  
ト言葉戻ヒテ特ニ注意シテ教ヘテキタ、然レニ今日  
学校ヲハソノ点ニツキテ餘リ充分ニ注意ヲ松ツテキ  
ナイ、之モ一ツノ欠点チアル、トコロカ之ノニツハ  
餘程我々ニアタヘル感シノ異ツタモノチ文字テハタ  
マスク理解シ得ルコトモ耳ヲハ理解シ得ヌコトモア  
ル、之ハ餘リニ多クノ漢語ヲ取リ入レテキルタメテ  
モアルカソノ点カラ又注意スヘキ問題カ起ツテキル  
ソレハ第一我々ハ耳ニヨリテ聞キ取ルコトノ出来ル  
モノカラ標準トシテ進マホハナラストイフコトチア

モ人文=対シテモ智識的ノモノト技能的ノモノカア  
ルト見ル。故=智識的ノ材料ト技能的ノ材料トヲ分  
ケルモノカアル然シ中ニハ如何ナル教科=シテモソ  
レカ軍=智識=止マルコトナク智識ト同時=実用=  
ナツテコホハナラヌ。故=技能ヲ含マヌ学科ハ存在  
シナイト主張スルモノモアル之ハ *America* ノ方  
ヲ中等教育論ヲ問題ニシテキル *De Garmis* カ以  
下ノ如ク云ツテキル。今夫ヲ略述スル。彼ハ自然的  
人文的教科ノ前=経済的ノ教育ヲアケテキル。タカ  
コノ経済的方面ハ近頃重要視サレテキルコトハ事實  
タカ之ハ多少ノ無理カアル我々ハ別ニ殊果ニ珍ラシ  
イ分類ヲナス必要ハナイ。却ツテ普通ノ分類法ニ依  
テ方カ種々ノ意見ヲ公平ニ取扱フ点ニ於テヨリ便利  
ナルト思フ。

### 第一 国語科 *Mutter sprach*

一 (或ル国民特有ノ習慣カ次第ニ凝結シテ一種ノ趣  
味ニナリソシテ外国語ヲソノ国語ノ中ニ取入レル時  
ニソノ趣味ニヨツテソノ外国語ヲ巧ニ自国語ト調和  
シテ採用スル。カクノ如キ例ハ我カ国ニ於テ常ニ見

ケル所ノコトナル) —  
教育ハ一種ノ社會化作用ナルソノ社交的ノ生活  
ハ精神的ノ交通ニヨツテ成立シテキル。ソコヲ人々  
カ互ニ思想感情意志ヲ理解シ合フヘキ機關ハ社會ニ  
絶対的ニ必要ナル之ガナケレバ教育ハナイノテア  
ル。ソノ思想感情意志ヲ理解シ合フヘキ機關ハ即チ  
*Sprach* ナリナル。故ニ *Sprach* ヲ教ヘル  
コトハ教育上ニ試ニ重要ナコトナル。各國ノ *Sprach*  
ハソノ初音語彙語法上夫々国民的ノ特色ヲ有スル。  
文学ニ至ツテハソノ国民ノ思想ハ傳達セラレルモノ  
ナルカ故ニ我々ハソノ言葉ヲ学ヒ文学ヲ学フコト  
ニヨツテソノ文学ニ言葉ヲ有スル国民ニ同化セラレ  
ル。サレバ廣義ノ *Erziehung* 一於テハ国語カ教  
ヘラレナイモノハナイ。タカ学校教育ニ於テハ往々  
規則正シキ国語教授カ行ハレナイヲ反ツテ外国語ノ  
教ヘラレルコトカアル。ソレハソノ国民ノ文化カ餘  
リ高クナラシク時代ニ文化ノ一層進シテ国民ノ影響  
ヲウケテカクノ如キ結果ヲ生スルノテアル。ソノ場  
合ニモ勿論家庭ニ於ケル国語ノ學習ハ日常生活ノウ  
チニ行ハレテキル。今日テハ諸国共自国語ノ文学ヲ

有シ又國民的自覺カ高クナツテキルカウ國語教授ハ  
重大視セラレテキル、*Sprach* ハ種々ノ形式ニ  
於テ表ハレテキルカ発達シテ國語ヲハ音聲ニヨリテ  
表現セラル、又ニソノ音聲ヲ文字ニ書キテハシテ  
モノカアル、ソノ場合ニハ言葉ハ音聲ニヨリモトカ  
根本ニ文字ハ音聲ヲ根底トシテ生スルノテアルコノ  
ニツテ形ヲトル所カラ國語教授ニハ種々ノ仕事ヲ生  
スルノテアル即チ読方聞取書方話方トイフ様ニ仕事  
カ分化スル、而ルニ我國ノ如ク國語即音聲ニヨリ言葉  
業ト文字ニ書カレタ文語トハ着シク距離ヲ生シテキ  
ル場合ニハ又ニ一層困難ニ仕事カ教育ノ上ニ課セテ  
レル今日ノ所謂文語トハ或ル時代ノ言葉カ種々ノ事  
實ニヨリ保存セラレ國定シタモノテ元來ニツアルヘ  
キ筈ナリ、然モソノ文字ノ中ニモ普通文ト書翰文  
トノ差カアリソノ上ニ又ニ漢字ヲ採用シテキルタメ  
一層学習ノ困難カアル、ソノ困難タルヤ單ニ國語教  
育上ノミナラス教育全体ニ非常ニ大キナ障害ヲナシ  
テキルカウ國語國字ノ整理ハ今日ノ急務ヲアル之カ  
行ハレナイ間ハ教育ノ効果モ充分ニアケルコトカ出  
来ヌ然シテカラ之ハ教育學ノ問題ヲハナシ、之ハ高

業ト文字ノ專門家ノ問題タルノミナラス、トニカク  
國語國字ノ現在ノ狀態カ既ク限リソノ狀態ヲ根底ト  
シテ教育ノ方法ヲ考ヘル外ニ仕方カナクイノテアル、  
—( *alphabet* / 國語ヲハ耳ヲ聞キ得ルナラハ  
*meaning* ハ別トシテ読ムコトハ出来ル然シ日  
本語ヲハ聞キ得テモ読ムコトカ出来ナイ) —

我カ國ヲハ書方ノ教授ハ昔カラ口ヲ話シテ耳ヲ聞  
ク話方聞キ方ノ教授ハ別ニ存在シテキナカツタ、ソ  
ノ關係上音聲カ餘程乱レテキル様ニ考ヘラレル、之  
ハ看過スヘカラサル問題テアツテ大イニ注意スヘキ  
コトナル、話方ノ上ニテハ過去ノ家庭教育ヲハ上品  
ナ言葉成ヒヲ特ニ注意シテ教ヘテキタ、然ルニ今日  
學校テハソノ点ニツキテ餘リ充分ニ注意ヲ払ツテキ  
ナイ、之モ一ツノ欠點ナル、トコロカ之ノニツハ  
餘程我々ニアタヘル感シノ異ツタモノテ文字テハタ  
マスク理解シ得ルコトモ耳ヲハ理解シ得ヌコトモア  
ル、之ハ餘リニ多クノ漢語ヲ取リ入レテキルタメニ  
モアルカソノ点カラ又注意スヘキ問題カ起ツテキル  
ソレハ常ニ我々ハ耳ニヨリテ聞キ取ルコトノ出来ル  
モノカラ標準トシテ進マネハナラストイフコトナリ

ル。其等ノ問題ニツイテ考ヘルト国語ノ整理ニ関シ  
テハ言葉ハ国語カ根本的ノモノテアルコトカニ重  
意味ヲモツテクル。—(昔国語教育ノタメニテハナク  
礼儀作法ノタメニ上岳十言葉ヲ教ヘタノテアルカ今  
日ニ於テハ家庭テ殆ント注意サレテキナイ)—

我々カ国語ヲ正確ニ用ヒ又理解スルコトニヨツテ  
自ラ正確ニ思考スルカカ與ヘラレル。ヨク数学カ論  
理的訓練ノ手段ト説カレテキルカ論理的訓練ニハ国  
語カ一層大切ナモノテアル。何トナレハ国語ハ思想  
ソノモノヲ運ンテキル最モ直接的ノモノテアル。  
—(現今学校ニテハ正確ニ説ムコトハセズニ唯漠然  
ト大意ヲ文藝的ニ取ル事ニ努カシテキルカソレハ思  
想—論理的思索ノ妨ケトナリハシナイテアラウカ)  
我々カ自己ノ思想ヲ発表スルニハ口ニヨルカ文字ニ  
ヨルカ口ヲ語ル場合ニソノ言葉カ完全ニ文章ヲナス  
様ニ平生カラ注意セネハナラヌ又文章トシテ現ハスコ  
トヲ今日ノ学校テハ假方ト称シテキルカコノ言葉様  
ヒハアマリ面白クナイ。昔カラ戻ヒナレタ作文ノ方  
カヨクハナイタラウカ。假方ト称スルノハ *Recht*  
*schreiben* / コトヲ *Rechtschreiben* ハ

(音聲ヲハ) 言葉ヲハ正シク文字ニ現ハスコトヲ *Au*  
*fsatz* ハ作文テナケレハナラヌ。ソノ名称ハ兎ニ  
角モ今日ノ所謂假方ニハ殆ント教授トイフコトカ行  
ハレテ居ラヌ。之ハ実ニ大キキ欠点テアル。—(昔カ  
ラ自己ノ正確ニ発表テハナク漢学塾テハ古聖賢ノ美  
シイ文句ヲ暗記シテキテソレヲ並ヘル様ナコトニ  
ツテキタカラ殊ニ *Rechtschreiben* ニシタモ  
ノテアツテ多分 *Aufsatz* / 誤解ニヨルモノテア  
ラウ)— 国語ノ教授ハ小学校中学校高等学校ノ間  
ニ目的ノ上カラ差異カアル。初等教育ニ於テハ国語  
ヲ自由ニ用ヒルトイフ実用上ノ側ニ重キヲ置カネハ  
ナラヌ。故ニ読本ノ内容ノ如キハ兒童ノ現在ノ生活  
及將來ノ必要カラ起ルアラユル方面ニワダツテキナ  
クレハナラヌ。然レラ中等教育以上ニナレハ日用ノ  
国語ニ習熟シテキルト見ルノカ應當ニ学科カ段々分  
化シテキルカラ読本ノ内容ハ段々文学的ノモノトナ  
ルヘキテアル故ニ外国テハ国語及国文学ト云ツテキ  
ル所カ多ク。我カ国テハ高等学校迄單ニ国語ト称シ  
テ文学ト云フ言葉ヲ殊更ニ省テキルノハ應當ナイ  
国語ノ範圍ニツイテ明治ノ中頃マテノ中等学校ノ国

語教授ニハ室町時代カラ其以上平安朝時代ノ文学モ  
材料トセラレテキタカ般々ト後ニナツテ古イ時代ノ  
文学ハ除カレテ明治以後ノ作品カ大部分ヲ占メテキ  
ル、ソレハ国語教授ハ普通ノ日本語ニ習熟ヤセルモ  
ソテアルトイフ思想カ大イニ関係シテキル、タカ我  
々ハ古文学ヲ除クト云フ説ニニ條件ノ理由ニ依リ讀  
成出来ヌ、トイフノハ国文学カソレ自ニ重要ナ意味  
ヲ有スルコトハソノ国民ノ思想感情ヲ傳ヘルカラテ  
アルソシテ国民化スル点ニ於テハ歴史ノ古イト云フ  
コトカ又重要ナ意味ヲ有シテキル、ソシテ我々ニ於  
テ国文学ノ開ケタノハ歐洲ノ諸国ヨリ遙カニ古イ之  
カ又国民ノ一ツノ誇テナケレハナラヌ故ニソノ語法  
用語カ今日ト余程遠ツテキルタメニ學習上ノ困難ヲ  
伴ツテ来タ、幾分カ学生ノ負担ヲ増スコトニナルケ  
レト中古ノ文学ヲ全然除去スルコトハ宜シクナイト  
云ハネハナラヌ、今日ハ江戸時代迄位シガ溯ツテキ  
オイカト思フ、西洋テハ文学カ出来タノカオクレテ  
キタノテアルカラ新シイ時代ノモノヲヤツテモヨイ  
訳テアルカ我々テハ歴史カ古イノテアルカラ末々未  
だ溯ラネハナラヌ又ツツト古イ時代ノモノハ古典ト

シテ習ツテキルノテアル。

文学史；一教科中ニ国文学ヲ入レル必要カアル、ソ  
レハ幾多ノ国々ヲ言ハサレテキルコトテアツテ我々  
モ中等学校ノ上級ニ於テ文学史ノ大体ヲ授ケルコト  
ニナツテキタカ予想通りノ成績ヲ上ケヌタメニ自然  
ニスタレテシマツタ、ソレハ方法カ悪イノテアツテ  
決シテ必要ノナイモノテハナイノテアル、現今ノ文  
学ハ歴史的ノ発展ノ結果テアルノテアルカラソノ発  
展<sup>明</sup>文学史ヲヨク教ヘルコトハ必要ナコトテアル。

## 第二 中等学校師範学校ニ於ケル 漢文ニツイテ。

漢文ハ諸外國ニ於ケル *Greek, Latin* ト同  
様ニ古語トシテ見ルヘキテアル、ソレカ今日中等学  
校ニ於テ果シテ必要ナモノテアルカ否カト云フ事ハ  
屢々問題トナツテ漢學者ノ側カラハ漢文保存ノ必要  
カ屢々説カレテキル、ソノ理由ハ道德教育ノタメニ必  
要タトカ、日支ノ関係カラ應スヘカラサルモノテアル  
トカ、一種ノ精神訓練トシテ必要テアル等色々ナ  
事カ説カレテキルカソノ各々ノ理由ハ多ク余リ充分



ナモノテアルトハ考ヘラレヌカ漢文ヲ廃スヘシト云  
フ議論=モ亦賛同出来ヌ、眞=漢文ヲ必要トスルノ  
ハ国語国文学ノ補助具トシテアル、コレハ日本朝  
鮮支那方面ニ跨リ或ル場合ニ於テ佛典カ多ク漢訳ニ  
ヨツテ傳ヘレタダメ東洋ノ文化ノ源泉ニ溯ルトイ  
フ意味ニ於テ數ヘラレキモノテアル、但シソノ目  
的ヲ達スルタメニハ今日ノ教授法ハ余程改メラレネ  
ハナラヌ今日ノ方法ニヨツテ教ヘラレル間ハ原形保  
存ノ如キ説ハ何等意味ヲナサナイノテアル。

上述ノ理由ニヨリ漢文ヲ教ヘルトスルナラ全体ト  
シテ今日ヨリ時間ヲ減シテヨイト思フ、又一部ノ  
習學者ニハ今日以上ニマス必要カアル何レノ場合ヲ  
モ今日ノ教授法ハ改メネハナラヌ漢文ノ *Constru-*  
*ction* ヲ理解セシムルコトニカヲ注ガネハナラヌ  
原形ノ儘理解出来ナケレハ原形保存ハ無意義テアル  
—(平安朝文学ハ女流文学ヲ朝廷文学ヲ源氏物語ハ  
大作テアル故ニ教科書ニ取入レテイ、モノト悉イモ  
ノカアルシ江戸時代ノ文学ハ極言スレハ遊里文学ヲ  
アル故ニ之ヲ教科書ニ入レラレヌカ故ニ日本文学ヲ  
中等学校ヲ教ヘルノハ從テ困難トナル、ソノ文学的

欠点ヲ補フタメニ漢文カ必要テアル、漢文ノ原形保  
存ハ薄弱ト議論テアル、目ヲ見タ所ハ原形保存ヲ読  
ム時ハソレカ破壊サレルトイフノハ訓読ハ綴訳ヲア  
ルカラ、テ同時返ダツテモ構格ヲ理解スルコトハ出  
来ナイノテアツテコノ意味ニ於テハ誠ニ漢文教授ナ  
ルモノハ意義ヲ失ツテ来ルノテアル、現在ノ學者カ  
思ノマ、支那語ヲ文カツヅレルカ、多クハモサイク  
細エヲヤツテキル之ハ訓読ヲナス結果原形カ等ニ破  
壊サレテ頭ニ止ツテキナイコトニ對スル証據テアル  
私ノ考ヘテキル理想的ノ方法ハ先ツ短文ヲ出シ之ヲ  
分析シ構造ヲ理解セシメ之ヲ音ヲ読ムコトヲ共ニ練  
習サセル、漢文ノ原形カ斯クシテ頭ニ入ツタナラハ  
又訓読ニ返ツテモヨイノテアル之ハ私ノ体験ニヨル  
實証的的確信ヲ與ヘラレタノテアル、夫ハ而シ漢文ヲ  
ハ、古文——我々カ普通漢音ト呼フモノ——ノモノ  
ト現在ノ音トハ違フ、テ支那語ヲ習フマテモナク漢  
音ニヨツテ讀ムハヨカラウト思フ、如何ナル語カ如  
何ナル理由ニヨリ如何ナル位置ニオカレネハナラヌ  
クヲ知ラスカ故ニイクラタツテモ漢文習學者ハ上手  
ニナラナイノハ尤ナ事テアル)

又材料ノ撰採ニ於テモ特別ノ要求カアル莫一ソノ目  
的ニカナツタモノヲ取入レネハナラヌ今日モ亦格言  
名詞トシテ人口ニ稔熟シテキルモノヲトラネハナラ  
ヌ、大体ニ於テ歴史子詩集カ本トナラナケレハナラ  
ヌ、ソレト共ニ日本文化ニ漢文カ重要ナ位置ヲモツ  
テキルカ故ニ平安朝時代カラ武家時代ニカケテノ日  
記——日本化シタ漢文ヲ習得シナケレハナラヌ、  
之ハ国史ノ研究者ニ非常ニ必要ナモノテアル、——  
(現在ノ中等教育ヲ見ルト撰採ヲ誤レルモノカ多ク、  
日本語ヲ書イテコソ味カ出ル他日本語ハ日本語ヲ表  
現セネハナラヌ、支那人ニ解カラスモノハ漢文ヲハ  
ナイ、ワサワサ漢文ヲ書イタ人モ書イタ人之ヲ教科  
書ニ採用シ取入レタ人ハ如何ナル種類ノ人テアルカ  
思ヒ甚タシイ、彼等ハ古典ト現在ノ文学トノ差ヲ知  
ラヌ、教育的價值アルモノハソノ特殊條件ノ下ニ於  
テハ或一ツノ表現ニヨツテノミ氣持情操カ縱横ニ発  
出スル所ノモノノミニ限ル、江戸時代ノ漢文ハ擬古  
文テアル、人工的モサイク細工テアル、ソコニハ彼  
ノ精神ノ主要ナモノハ影ヲヒソメテカニ絢爛目ヲ欺  
ク語カ潤歩シテキル、當時ハ日本文学カ発達シ普通

ノモノトナツテキル、祖来先生ノ文ハ一氣呵成ニ書  
キアケタ日本文カ如何ニヨク心持ヲ現ハシテキルコ  
トカ、中世テハ誠ニ武家ハ之ヲ平筆語ト心得テキタ  
ノテアル、コ、ニ外國ノモノヲ見ル、独乙テハ  
*Mittel lateinisch*——中世頃クツレカ、ツダ  
ラテン語テアツテ日本ノ中世ノ文ノ如キモノテアル  
——ヲ教ヘル、独乙人ハ英国人カ古代ノラテン語ヲ  
ヤルノヲ笑ツテキル、伊国テモ *Mittel latei-*  
*nisch* ヲ字ハナケレハナラヌト調査シテ古典ヲヤ  
ル價値ハ *Mittel lateinisch* ヲヤラネハナ  
ラスト報告シテキル)——

### 第三 現代ノ外国語

今日ノ如ク凡テノ活動カ  
ニナツタ時代ニ於テ中等教育ヲ受ケルモノカ外国語  
ノ習識ヲ得ル必要ハ言ヲ俟タヌ、實際生活ノ上ニ直  
接利益ヲ齎スノミテナクソノ詞ヲ通シテソノ国民生  
活ノ精神ヲ理解セシメルニアリ *humanity* =  
導キ得ルノテアル、古語ハ古代文化ニ淵リ今日ノ改  
州文化ハ一ツノ源カラ出タコトヲ意識セシメ現代外

国語ハヨコ=人道ヲシラシメル外国語ノ学習ハ之ヲ  
比較スルコトニヨリ言語ノ意味ヲ正確ナモノダラシ  
メ国語ノ補助トナル我國ヲ教ヘラルヘキ現代外国語  
ハ如何ナルモノテアルヘキカハ重要テアル。政米何  
レ=セヨ中等学校カニ種々上ノ外国ヲ教ヘテキルノ  
ハ普通テアルカ我國テハ実行出来ヌ。何トナレハ政  
米ノ詞カ如何ニ分派シテキタトテ夫ハ要スル=印度  
ゲルマン系統ニ属スルノテ之ト日本語トハ全ク系統  
カ異フカラテモアリ外国語ヲニツ課スルコトハ国語  
ノ教育カ充分ニ行ハレテキナイトキテアルカラ之レ  
以上ノ負担ヲ課スルコトハ出来ヌ。コ、テ何語ヲ学  
ブ可キカ、重要テアル我々ノ学校ノ規則トシテハ英  
独仏対等ノ地位ニアリソノ何レヲマツテモヨイカ事  
実英語カ首位ヲ占ム。地理、経済、政治的 *millea*  
ニヨリ之ハ自然ナコト、思ハレルカ或ル一種ノ国語  
カ一国ニ於テ知ラレ他ノ国語カ知ラレテキナイコト  
ハ不都合テ *Predominate* サレタ語 —  
(英米ノ言) — ノ影響ノミヲ受ケテシマフノテアル  
或一国ノ文化ノ影響カ非常ニヒドイ。然シ他ノ国語  
ニモ畏所カアルカラ或ル目的ノタメニハ廃セラレナ

イ、我々ハ我國ニ中等学校ヲ今日以上ニハ独兩國カ  
学習セラレルコトヲ喜フ。大戦後ノ教育上ノ  
*Inter Nationalism* ハ外国語ノ範圍ヲ廣クネハ  
ナラヌト主張シテキルノテアル。— (佛国語カ全世界  
テ一番流布セラレテキル。英語ハ其ニ比シテ大分流  
布ノ程度カラ云ツテ劣ツテキル。大戦以後佛国語ハ  
更ニ各國ノ学校テ外国教授ノ方針ノ下ニ於テ採用サ  
レルニ至ツタ。第一位ハ仏語第二位ハ英語ソレカラ  
伊語、スペイン語独乙語ノ順序テアル。)—

外国語教授ノ際ニハ口ト耳ト目ト手カ第一聯絡シ  
テ練習サレネハナラヌカソノ主ナル目的ノアル所ニ  
ヨリ自ら違ツテクル筈テアル我國ニ於ケル外国語教  
授殊ニ英語教授ハ読書カ養成一方ニナツテキタカ中  
頃ノノ反動トシテ必要英語運動カ起リ聞キ取り方話  
方ニ相當カラ用ヒタ然ルニソノ結果ハ必スシモ成  
テアツタトハ云ハレナイ。ソノ点カラシテ又種々ノ  
意見カアラワレテキル。少ナクトモ初期ノ外国語教  
授ハ耳カラ入レテ口ノ練習ニ進ムヘキテアル。(日本  
テ改語ヲ習ツタ最初ハ西語、羅語ヲアツタラウカソ  
ノ教授法ハエスイタ式ヲアツタテアラウ。後ニ讀学

書院ツタゴノ習方ハ明治初年ノ英語ノ教授法ニ影響ヲ及ボシテキル、之ハ漢文ノ習方ノ傳統ヲ引キ説法カ主ヲアツタ、明治三十年頃實用英語運動カ起ツタソレト同シ頃歐語ノ習方ナル *Direct Method* カ輸入サレタ、而シテ今日ニ於テハ尚議論サレテキル、日本中等學校ノ英語ノ向上シナイノハ日本語ト外國語ノ差カ着シイコト、先生カ不適當ナルコトヲナル、*Direct method* ハ三年ノ中頃マテハ頭着ナ成績ヲアケルカソノ後ハ着シクナイ、

#### 第四、歴史

歴史ハ西洋ヲノローマノ初期ニ於テ重要ナ教科ト考ヘラレテキタカソノ後ハ必スシモ重要ナ教科トシテ勞カヲ持ツテハキナカッタ文藝復興ノ頃ハ古典ノ補トシテ歴史カ教ヘラレタ独立ノ教科トシテ教ヘラレタ、ハノ8世紀頃カラチアル而モ初等教育ニ必要ナ科トナツタ、ハ新シイ、支那日本テハ早クカラ歴史カ導ハレタ、支那テハニ対シテ史ヲライダ史トハ道ヲ事ニ寓シテトクモノチアルカ故ニコノニツハ第ニ學問ノ中樞ヲナシテキタ、之カ日本ニ入ツタ

ノチアルコノ考ヘカラスルト歴史トハ人間ノ鏡ヲ道德的修養ノタメ習フコトカ主要ノ目的ヲアツタ、テ實際教授ノ方針ニ自ラ備シタ所カ見エルノチアル、(ローマニ於ケル歴史ノ導ハレタ、ハ國家主義ト結合シテキタ、*Comenius* ノ頃ニナルト中世衰ヘタ歴史カ栄エカケタ、之ハ唯話題ヲ多クスルタメチアル、徒テ今日ノモノトハ着シイ距離カアツタ、支那テ云ハレル詩書ハ孔子時代ニ重セラレタ、詩ハ歴史ト云ハレルタラフ、春秋ハ立派ノ歴史ノ体裁ヲ具ヘテキタ、治乱興廢、人物ノ出所進退ヲ眺メ政治ヲカヘリシ道德的修養ヲ目的トシタ、日本チハ支那ノ歴史カ第一日本ノ歴史カ第一トナツテキル、カ国学ノ勃興時代ニ日本人ハ日本ノ歴史ヲ第一トスルニ至ツタ) 歴史教授ノ目的ハツマリ人類ノ生活ノ發展ヲ理解セシムルコトニアル、國家國民ハ時間的ニ經統シターノ共同生活体チアルソノ意識ノ經統ハ歴史ニヨツテ行ハレル訳チアル、故ニ今日ノ教育ニ於テハ歴史ヲ尊重シナイモ、ハナイソノ着眼点ニハ多少ノ差カアリ教授法ノ上ニモ差カ出ルコトハ免カレナイ、東洋流ノ道德教育ノ方便トシテ歴史ヲ行ヘル考ヘハ

教育上ニ用ヒラレル歴史ハ歴史家ノ歴史ヲハナイト  
ノ考ヘヲ起サシテキルノテアル。時トシテ甚ダ好マ  
シカラヌ ナ教授ニ陥ル。之ハ多数ノ實際家ノ歴  
史ハ愛國心ノ養成ニアルト考ヘテキル。現在テハ何  
レノ国ニアツテモ本国ノ歴史ヲ教ヘソレト關係ノア  
ル限リニ於テ外国ノ歴史ヲ教ヘテキル。之ニ對シテ  
モ今日ハ *Internationalism* ハソノ範圍  
ヲ廣メ各國民カ互ニ理解シ得ル様適當ナ歴史教授ニ  
ヨリ導カレネハナラヌト主張スル從來ノ歴史ハ主ト  
シテ政治史テアリ殊ニ戦争ニ関シテ事實カ教材ノ大  
部ヲ占メル其ニ對シテハ人道主義、博愛主義者カラ  
批難サレテキル。平和ナ歴史ヲモ即チ政治史テハナ  
ク文化史ヲ學校テ教ヘナケレハナラヌ而モ實際問題  
ハ困難ヲ伴ツテクル文化史カ未ダ充分ニ研究セラレ  
テ平ナイ文化史ハ日付ノ順序ヲ以テ然ト決メルコ  
トカ出来ヌ年代ノ觀念ヲ子供ニ興ヘルコトハ出来ヌ  
平和ナ生活ノ歴史ハ兒童ノ興味ヲ惹クコトハ困難テ  
アル反ツテ英雄崇拜、無益ナ少年期ニハ少年ノ歴史  
ハ戦争カ迎ヘラレル。故ニ政治史ニカフルニ文化史  
ヲ以テセヨトスルコトハ直チニ行ハレ難イ。普通ハ

政治史ニヨリ年代ノ觀念ヲ教ヘル即チ歴史ノ資格ヲ  
依ル。ソレニヨツテ興ヘラレタ年代ノ觀念ヲ基礎ト  
シ文化史ヲソノ上ニツケルトイフヤリ方カ行ハレテ  
キル。

## 第五 地理

地理ノ教授ハ極ク幼稚ナ形ヲ余程前カラ行ハレテ  
キタカ明カニ之ヲ認メルコトカ出来ル。ハ宗教改革  
後テアル。之カ独立ノ教科トナツタ。ハ新シイモノ  
テアル。地理ノ教授ニツイテモソノ考ヘ方カ色々ニ  
ナツテキル。18世紀ノ頃ハ歴史ト同様に珍ラシ  
イ事實ヲ教ヒ話題ヲ豊富ニスルニ至ツタ。今日ヲハ  
人物ノ住所トシテノ地球ヲ理解セシメル。テ叙述的  
ヨリ説明的ニナラネハナラヌトナツテキル。地理ハ  
今日科学的研究ノ盛ニナルニツレ。昔地理ト漠然云  
ハレテキタ地理カ化セントシテキル。學校ノ教材  
トシテラレテキル地理ハ必スシモ學術上ノ区分ト  
一致シテナイカ新研究ニヨツテ影響サレテキル。従  
來ノ分チ方ハ星學的地理、數理的地理、氣象ニ関ス  
ルコト或ハ土地ノ表面水陸ノ分布ノ状態又動植物鏡

物ノ分布状態等ノ事柄ヲ併セテ自然地理トイヒ地上  
ニ於ケル人類ノ生活ニ屬スルコトソノ中テモ政治經  
済ニ屬スルコトヲ人文地理トイフ、双方ヲ併セテ適  
當ニ教授スルコトニナツテキル、地理ノ教授テモ歷  
史ト同様中心点ヲ本国ニオク、之ニ対シ國際主義カ  
ヲ更ニ範圍ヲ廣メヨト叫ハレテキル之ハ必スシモ平  
和主義カラ叫ハレナイテモ今日ノ如ク交通機關発達  
シ國際的交通ノ盛ニナツタ今日 國際主義的地理ハ  
次第ニ勞カヲ廣メル、故ニ之カ斯ノ如ク尊重サレテ  
キルコトハ決シテ理由ノナイコトテハナイ、然シテ  
カラ之ニ対シテモ種々ノ問題カアル先ツ算術及ヒ數  
学カ實際生活ニ必要アルタメ学ハレルカ或ハ曾テ考  
ヘラレタ如ク数学カ最も嚴密ナ科学ヲアツテソノ学  
習カ論理的訓練ヲ與ヘル所カラ形式的ノカヲ持ツテ  
キルカラ学フカハソレハーツノ問題テアル從來ハ數  
学カ人ニ論理的訓練ヲ與ヘルト考ヘラレタ今日テハ  
シカシ一般的形式陶冶ハ認メラレナイノテアル数学  
ノ教育的價値ハ段々少クナル訳テアル、シカモ論理  
的訓練ノ意味テ最も多ク用ヒラレテキルノハユーク  
リッド式ノ幾何学テアルユークリッド幾何学ニアラ

ハレテ來ル思想ノ形式ハ極メテ狭ク限ラレ人間ノ思  
考ノ働ハソノ外ニ尚重要ナルモノカ多ク存スル、ソ  
クイフ關係カラシテ近頃ハ算術教授ニ於テモ亦数学  
教授ニ於テモ寧ロ實用主義カ重ク見ラレルヤウニナ  
リ改革カ行ハレツ、アル、從來ハ算術、代数、幾何  
三角皆嚴密ニ區別サレアル部分ハ独立カ行ハレテキ  
タカ今日ハソノ區別カ取除カレテシマツタ、又中等  
教育テハ学生ノ將來ノ方針ニ從ヒ或モノニハ数学ヲ  
輕クシテマリ或者ニハ從來ヨリヨリ多ク課スルコト  
カ行ハレテキル（尋常五年六年ニ教ヘラレテキル算  
術ハ多ク實用ニ關係ナイモノテアル夫ハ兒童ノ頭腦  
ヲ 密ニスルトイフ考ヘテアル、而シコノ考ヘモ今  
日行ハレナイカラシテ實用主義者ヲシテコノ事實ヲ  
セシメル、米國テ知名ノ人ニ手紙ヲ出シテ数学  
カ貴方ニ如何ニ般立ツタカトイフ問ニ対シ殆ント一  
様ニ答ハ寄セ算ニヨツテ私ハ大イニ助けラレテキル  
トイヒ分數等ハ全ク効用ノナイコトカ多イトアル一  
数学ニハ多クノ假定ヲ含マレテキルノテアルカ而シ  
多クノ場合ニカ忘レラレテキル、之カ故ニ数学カ實  
際ト懸隔ヲ有シ矛盾ヲ生スル一 又数学者ハ正確テ

アルカ換 スレハ 密ナ頭ヲ持ツテキルカト云フト  
ソウテハナイ複雑ナ現象ヲ簡單ナ公式カラ割リ出サ  
ウトスルタメニ即チ教学ノ諸仮定ヲ忘却シテ實在現  
象複合体ニ対スルタメニ思考力 密所カ非常ニ粗漏  
ナ点カ多イノテアルニ教学ニ於ケル區別ヲ排スルコ  
トハ学习上利益カ多イソレニ数学上ノ問題ヲ教学的  
ニ解決スルコトノミニ僞心セス実用的意味ニ於ケル  
方法ヲ簡單ニヤツツケルコトカ出来ル)

## 第六 理科

理科ト云フノハソノ範圍カ廣イ博物学的教材モ物  
理化学的ノモノヲモ含ム之ハ多クノ外國ノ例ヲ見ル  
ニ各國ニテハ *natural history* ト *physical*  
*chemical science* トハ區別サレル。理科ニ  
於テ博物ニ關スルモノハ早クカラ教ヘラレテキタ。  
之ハ多クノ場合古典ノ補助トシテ用ヒラレタル場合  
ニハ医学ノ補助ト考ヘラレテキタ我國ニ於ケル本草  
ノ教授ノ如キソレナリテアル。物理化学ハ學問自身  
カ最近発達シタモノテアルカラ物理化学的教材ノ取  
入レラレタコトハ最近ニ屬スル。今日ノ生活ハ物理

化学及ヒソノ應用的技術ノ産物トモ云ヘル。故ニ普  
通教育上大切ナルコトハ勿論チアル実用上ノ價值カ  
ラ見タハカリテナク之カ数学ニ対シ或ハ数学ニ交ツ  
テ論理的訓練トシテ有効ニサスクヘキテアラウト考  
ヘラレル何トナレハ数学ニアラハレテ来ルノハ數量  
的關係テアル而ルニ理科ニ於テモ數量關係モ現レテ  
キルカ夫以外ニ重要ナ關係カ現ハレル我々ノ思考全  
体ニ重要ナ關係ヲモツ觀念カ現ハレル。ソレハ特ニ  
因果律ノ觀念テアル生物学的教材ヲハ進化ナル觀念  
カ教ヘラレル。数学ニ現ハレタモノハ余リニ抽象的  
テアルカ理科ヲハ具體的事實ノ上テ思考ヲネラレル  
或ルーツノ現象カ起ルタメニ多クノ力カ共同ニ使  
テキル物ノ原因ヲ尋ネル時夫ニ關係ノアル要素カ  
何ヤテアルカラ ネルコトハ人間生活ニ於テ重要ナ  
ル意味ヲ有シテキルノテアル。夫ニ対スル注意ハ理  
科ニ於テ最モタマスク正確ニ決ヘル事カ出来ルソテ  
アル (数学ニ於テハ  $A = A/A$  ナル全稱肯定ノ式ノキ  
テアルニ反シ。近頃ニナツテ理科ノ教授者ノ力カ實  
験ヲ行フコトニナツテ来タ。

アルカ換 スレハ 密ナ頭ヲ持ツテキルカト云フト  
ソウテハナイ複雑ナ現象ヲ簡單ナ公式カラ割リ出サ  
ウトスルタメニ即チ教学ノ諸仮定ヲ忘却シテ實在現  
象複合体ニ対スルタメニ思考カ 密所カ非常ニ粗漏  
ナ点カ多イノテアルニ教学ニ於ケル區別ヲ排スルコ  
トハ学习上利益カ多イソレニ教学上ノ問題ヲ教学的  
ニ解決スルコトノミニ腐心セス実用的意味ニ於ケル  
方法ヲ簡單ニヤツツケルコトカ出来ル)

## 第六 理科

理科ト云フノハソノ範圍カ廣イ博物学的教材モ物  
理化学的ノモノヲモ含ム之ハ多クノ外國ノ例ヲ見ル  
ニ各國ニテハ *natural history* ト *physical-  
chemical science* トハ區別サレル。理科ニ  
於テ博物ニ關スルモノハ早クカラ教ヘラレテキタ。  
之ハ多クノ場合古典ノ補助トシテ用ヒラレ或ル場合  
ニハ医学ノ補助ト考ヘラレテキタ我國ニ於ケル本軍  
ノ教授ノ如キソレナノテアル。物理化学ハ學問自身  
カ最近発達シタモノテアルカラ物理化学的教材ノ取  
入レラレタコトハ最近ニ屬スル。今日ノ生活ハ物理

化学及ヒソノ應用的技術ノ産物トモ云ヘル。故ニ普  
通教育上大切ナルコトハ勿論チアル実用上ノ價值カ  
ラ見タハカリテナク之カ教学ニ対シ或ハ教学ニ變ッ  
テ論理的訓練トシテ有効ニサスクヘキテアラウト考  
ヘラレル何トナレハ教学ニアラハレテ来ルノハ數量  
的關係テアル而ルニ理科ニ於テモ數量關係モ現レテ  
キルカ夫以外ニ重要ナ關係カ現ハレル我々ノ思考全  
体ニ重要ナ關係ヲモツ觀念カ現ハレル。ソレハ特ニ  
因果律ノ觀念テアル生物学的教材ヲハ進化ナル觀念  
カ教ヘラレル。数学ニ現ハレタモノハ余リニ抽象的  
テアルカ理科ヲハ具体的事實ノ上テ思考ヲネラレル  
或ルニツノ現象カ起ルタメニ多クノ力カ共同ニ使  
テキル物ノ原因ヲ尋ネル時夫ニ關係ノアル要素カ  
何ヤテアルカラ NELコトハ人間生活ニ於テ重要ナ  
ル意味ヲ有シテキルノテアル。夫ニ対スル注意ハ理  
科ニ於テ最モタマスク正確ニ突ヘル事カ出来ルノテ  
アル (数学ニ於テハ  $A$   $A/A$  ナル全稱肯定ノ式ノミ  
テアルニ反シ。近頃ニナツテ理科ノ教授者ノ力カ實  
験ヲ行フコトニナツテ来タ。



之ハ教材ヲ確實ニ學習スルタメアリ機械ノ取扱  
ニナレ、物ノ重量ト要素ト尺度、溫度、時間等ニ於  
テ精密ナ學習ヲ共ヘ、ソレカ日常生活ノ凡テノ方面  
ニモ及ホスコトニナツテ来タ。

博物科ノ教授ニ於テモ時代ニヨツテ種々ノ目的カ  
考ヘラレテキタノテアル、例ヘハ且テ宗教ノ關係カ  
ラ之カ教ヘラレタ時ニハ極メテ微細ナ生物ノ構造、  
組織又生理モ又神ノ攝理カ行ハレテ来タ、夫々ニ生  
活ヲ全クスル事カ出来ルヤウニナツテキルトイフ事  
ヲ説イテソレヲ *Grund* トシテ宇宙ノ秩序調和  
又ハ全知全能ノ神ノ觀念ヲ呼ヒ起ス事ヲ目的トシタ  
事モアル、然シコノ考ヘ方ハ今日テハ最早スタツテ  
キル、ソレト趣ヲ異ニシテ同シク宇宙ノ秩序トイフ  
コトニ導キ入レヤウトシテキルハ *Jünge*、  
*Lebensgemeinschaft* ノ考テアル、彼ハ  
「材領」トイフ書ヲアラハシーノ池ヲ中心トシテソ  
ノ中其ノ周圍ニ生棲繁殖シテキル動植物ノ間ニ極メ  
テ微妙ナ調和カ存在シ互ニ相依リ相助ケテ共ニソノ  
生活ヲ全クシテキルトイフ事ヲ明カニシ、其ノ動植  
物等ハ全体トシテ大ナル *Lebensgemeins-*

*chaft* ヲナシテキル考ニ導カントシタ、コノ考ハ  
多クノ教育者ニヨツテ採用サレ今日行ハレテキル博  
物教授ハ皆ソノ影響ヲウケテキル、コレニヨレハ常  
ニ實際生活ニテキナケレハナラヌノテアルカラ教材  
排列ハ季節ニ從フヤリ方ヲアル、

博物学ノ教授ニ於テハ物理化学ト同様ニ實際ノ生  
活ニ結ヒ付ケル事カ必要ナル、ソノ實際ノ生活ヲ  
尚細カニイハハ第一ニハ衛生、第二ニハ農業牧畜、  
水産トイフ様ニ色々ナ實際ノ業務又ハ家庭ノ生活ト  
連絡ヲ保ダシメナケレハナラヌノテアル、

学校園ノ尊重サレルノハ物化ノ実験ト同様ニ智識  
ヲ確實ニシ又ハ動植物ニ對スル趣味ヲ養ヒ又ハ勤勞  
ノ習慣ヲ作ツタリスルコトト同時ニ智識ヲ生キタモ  
トスルコトカ重要ナ意味ヲモツノテアル、

学校園 (*Schulgarten*)

### 唱歌、音楽

唱歌音楽カ教育ノ手段トシテ用ヒラレルコトハ非  
常ニ古イコトヲアル、西洋テ *greecia* 時代、支  
那ニ於テハ三代古クハ堯舜ノ時代カラ用ヒラレタト

アル、コントハ宗教的ナ音楽カ憎侶教育ノウチニ入  
ツテキテ趣味教育ノ *mean* ニ改マツテ来タ、音  
学カ人間ノ *geist* = 一種ノ *harmonic* ヲ興  
ワルモノテアル、従ツテ性情ヲ純化サセルモノテアル  
トイフ考ハ古クカラアルカソレヲ科学的ニ証明  
スルコトハ ナラン、耳ノ練習、発音ノ練習ヲ唱  
歌ノ教授ニヤルノテアル、最も重要ナノハ音楽テ  
アル、我国ニ於テハ平安朝時代ニハ所謂舞樂カ行ハ  
レテキタ、武家時代ニ至リ、乱舞、能カ行ハレ江戶  
時代ニ至リ、之等ノモノハ皆次第ニ今ハナクナツタ、  
ソシテゴノ俗樂トシテ三味線ヲ重要樂器トスル  
カ発達シタ、トコロカゴノ俗曲ハ充分ニ *refine*  
サレテキナカツタ甚ダシク学者ニ排斥サレタ、ソコ  
テ漢学者ハ礼樂ヲ以テ國ヲ治メルトイフ支那ノ思想  
ヲソノマニ採用シナカラ國民ニ教フヘキ音楽ヲ何シ  
テキナカツタ、何ヲ以テ國樂トスヘキカ、シハシハ  
議論ノ題目トナツタ、

明治大正ノ時代ハ其ノ後ヲウケタノテアルカ其ノ  
上ニ西洋音楽カ入ツテ来タノテアル、学校ニ於テハ  
コレヲ採用シテ居ルノテアルカ之カ将来眞ニ國樂ト

ナル日本音楽ノ将来ハトウナルカトイフ所ニ問題カ  
残ツテキル、ソレ等ノ問題カ充分ニ解決セラレナイ  
間ハ学校ノ音楽教<sup>授</sup>モ確カナ方針ヲ立テルコトハ出  
来ナイ、

## 圖 畫 *Zeichnen Drawing*

圖画カ教育ニ教材トナツタノハ見方ニヨツテハ非  
常ニ古イ、*grecia* = 於テ400 B.C. = 繪ヲ画  
クコトカ流行シテキタ、ソレト殆ント同シヤウナ  
*sin* = 於テ支那ニ於テモ文人又ハ士君子ト呼  
ハレテキル人達ノ間ニハ一種ノ高尚ニ娛樂トシテ繪  
画カ学ハレテキタ、ケレトモコレハ極ク一小部分ニ  
限ラレテキタ、ソレカ普通教育科目ノ一トナツタノ  
ハ西洋テモ未ダ100年シカナラナイ、圖画ノ目的  
方法等ニ関シテ種々ノ遠ツタ考ヘカアル、第一ニ趣  
味教育トシテ見ルヘキカ又ハ實際的ノ技能トシテ見  
ルヘキカ又ハコノニツテ兼ネルモノテアルカ、之ノ  
見方ノ遠ニ従ツテ方法モ自ら遠ツテ来ル。(125)

實用ヲ主トスル場合ニ於テハ 物ノ形態、色彩、  
明暗、等ヲ正確ニ觀察シ、ソシテ又正確ニコレヲ描

寫スル能ヲ養フコト、ヲモトトツテ近クハ自分ノ表ハ  
サントスルモ、ヨリ簡單ニ畫キ出シ日用ノ生活ノ便宜  
ニ供シ尚進シテハ工業的ノ製作ニ對シテモ必要ナ素  
養ヲ與ヘントイフノチアル、(Art and craft  
movement) (19世紀、幾何學ヲ加味シテ物  
ノ形ヲ教ヘルコトヲ主トシタ圖畫 Formenlehre  
趣味教育ヲ主トシテ考ヘタ場合ニ於テハ自ら創作  
スルコトヲ主トスヘキカ或ハ觀賞ノカヲ與ヘルコト  
ヲ主トスヘキカニヨリ又違ツテクル、技能的ノ作業  
ニナルト智能的ノ教科ニ於ケルヨリ尚一層着シイ個  
人差カ表ハレテ来ル、然レテノ子供ニ對シテ一様ニ圖  
畫創作ノ能カヲ要求スルトイフコトハ不可能チアル、  
創作ハ実用上ノ目的カラ或ル程度マテ之ヲ要求スル  
或ハ觀賞ノカヲ與ヘル爲ニモソノ技術ヲ或程度マテ理  
解セシムル必要カアルトイフ、コノニツノ理由ニヨ  
リチアル程度マテノ創作ニ從フセシメントイフコト  
カ必要チアルカ然シ然レテノ子供ヲ画家ニスルコトハ  
到底出来ナイノチアルカラ寧ろ觀賞ノ方面ニ重キヲ  
置クベキチアラウ、コノカヲ養フタメニハ又畫クハ  
カリテナク、歴史科ソノ他ノ教授ト結合シテ今日マ

テ、藝術上ノ大作ニツイテ理解ヲ持タセルコトカ必  
要ニナツテクル、ソノ爲ニハ標本ヲ備ヘ付ケナケレ  
ハナラナイ、ソノ標本ハ必スシモ繪畫ニ限ラス彫刻  
建築ニモ及フソレク又一面ニハ school decora-  
tion トナツテクルノチアル、實際圖畫教授ハ極  
メテ複雑ナ性質ヲ持ツモノヲ單純ニ藝術教育ト考ヘ  
ルハキモノヲハナイ、圖畫教育ニ獨立シテハ尚歴史  
地理又ハ理科ト連絡ヲトツテ互ニコレヲ利用シテ行  
クコトヲツトムヘキナリ、殊ニ最近 nature study  
ニ於テ圖畫ノ利用セラレテキルコトハ注意スヘキチ  
アル、(殊ニ博物教授ニテ圖畫ヲ利用ス)

## 手 工

手工科ハ極ク新シク學校ノ課程ニ入ツタモノチアル、  
古イ時代ニ於テ一種ノ娛樂トシテ手工  
コトノ有閑階級ノ間ニ行ハレタコトカアル又家政上  
ノ必要上カラ裁縫ヲ中心トシタ一種ノ手工即チ刺繡  
西洋テハ備物等カ行ハレテキタカ今日學校ヲ  
行ツキル男子ノ手工ハ極ク新シイモノチアル、之  
ハツマリ工業ノ組織カ一変シテ機械工業カ手工業ニ

カワリ農村ノ生活カ少ナクナツテ都会地ノ生活カ多クナリ従来日常生活ノ間ニ自ラ手又指ノ作業ヲ熟練スヘキ機会カ存在シテ居ツタモノヲ失ツタカダメニ学校ニ於テ 織的ニ教授シナケレハナラナクナツタノテアル、コレニモソノ目的トスルトコロニヨツテ色々違ヒカ表ハレテ来ル、コノ手工科ノ目的ニツイテモ種々ノ異ツタ考ヘカアツテ一部ニハコレニヨツテ国民ノ工業的ノ習識ヲ進メ又将来工業ニ従事スルモノニ対シテハ最も適當ナ一種ノ準備教育トシマウトイフヤウナ考ヘモアル、ソレノ中ニモ本種々ノ異ツタ傾向カアル、機械工業ノ発達ヲ謀ルタメニ手ヲ器用ニシ種々ノ道具、機械等ニ親シキ、タヤスク取扱フコトカ出来ルヤウニシマウトイフ *mean* モアル又多少之レヲ藝術的ノ方面カラ見テソノ國ノ工業的ノ製作品ヲ優美ナモノトシマウトイフ考ヘ方モアル、英ノ Prince Albert ハ手エヲ奨励シタノハ後ノ *mean* テアル、  
*Slöjd system*、木工細エヲ冬ノ期間農民カ半ハ娯樂的ニナス) 斯クノ如キ見方ハ今日ノ如キ *industrial age* ニ於テハ決シテ不自然ナ考ヘ方ヲハナシ、シ

カシテ初等教育ヲ受ケテキル凡テノ *Hindon* カ舊工業労働ニ従事スル訳ヲハナシ、故ニ尚一般的目的方考ヘラレナケレハナラナイ、ソノ考ヘ方ニ又色々差別カアルノテアル、(2.1)  
一般修養ノタメニ手エヲ課スル目的ヲ最も廣ク立場カラ考ヘルト心理学的ニ一ツノ根據カアル、我々ノ精神活動ニハ *passive* ノ働キト *active* ノ働キカアル、従来ノ教育ハ主トシテ目ト耳カラ智識ヲ注入シテソレヲ スルコトニ傾イテ居ル、更ニ積極的ニ *active* ノ方面ヲ働サナケレハナラナイ、ソレカ手工科ニ於テ種々ノ工風ヲシタリ又實際細エヲスルタメニ手及指ヲ働カセルコトニヨツテナシトテラレルト考ヘルノテアル、シカモ今日ノ機械工業ハ自然ニソノ訓練ヲナスヘキ機会ヲ奪ツテシマツタノテアル、故ニ学校ニ於テ手工科ヲ授ケスハナラヌ、コノ考ヘハ *Leinig* ノ *Werkunterricht* ニヨリ表ハレテキル、彼ノ手工科ヲ以テ所謂直観教授ノ延長テアルト考ヘテキル、*Anschauungsunterricht* ノ又実物ヲ見セタハカリテナク作ラセルコトニヨリ一層直観的ニ学習サセルコトカ出来ル、

コノ思想即チ人間ヲ *Active* = スルダメ = 手工科ヲ  
課スル考ヘ方ハ概々ソノ *active* トイフ意味カ廣ク  
解釈セラル、コト = ナツタ、ソシテ必スシモ手ト指  
トヲ働カナクモ自ラ創造スルカヲ養フコトヲアル  
故 = 單 = 頭ノ中テ工風ヲスレコトモ矢張り同様 =  
*Arbeits prin* = 屬スルモノヲアルト云フ  
ヤウナ考ヘカ又現ハレテ来タ、*Arbeitschule*  
即チ作業学校ノ考カ稍変化シカ、ナキル、尚手工科  
ノ目的ヲ説クモノ = ハ自然界ト人生トノ結合ヲ強ク  
主張スルモノカアル、今日ノ大多数ノ *Kind* ハ大  
都市ノ中 = 生レ又育テラレ有リノ儘、自然 = 接觸ス  
ル機会カ甚ダ少ナイ、シカモ我々カ衣食住トシテ利  
用シテキルモノハ自然ノ産物ヲアルカ皆 *Kind*ノ  
知ルコトノ出来ナイ大工場ノウチ = 於テ原形ヲ止  
メナイマテ = 変化サセラレタモノヲアル、コレヲ聯  
絡シテ考ヘサメルダメ = ハ手工科カ有効ナル、又  
コノ意味 = 於テ手工科ヲ教授スル場合 = 於テハ人間  
ノ生活ノ歴史カワカツテ来ル、即チ文化史ノ教授ト  
ナツテクルトモ云フ之ハ *John Dewey's School  
and Society* = 於テコノ理由ハ余程重キモノ

トシテ學ケラレテキル、コノ考ヘカラシテ又イクラ  
カ轉シテ、手工科ノ主ナル目的ハ今日ノ工業 = 網  
ル常識ヲ英ヘルコトヲアルト云フ教育者モアル、  
之ハ又實際的 = 余程意味ノアルコトヲアル、

尚 *Kerschensteiner* (*Bayern*ノ人、  
*München*ノ視学)カ *Staatsbürgerliche  
Erziehung*ノ手段トシテ手工科ノ必要ヲ論シタ、  
コトハ記憶 = 屬スルモノヲアル、彼ノ説 = ヨレハ我  
々ハ社会 = 於テ共同ノ生活ヲシテキルモノヲアルソ  
ノ共同生活ハ分業ト協力ノニツ = ヨツテナントケラ  
レルモノヲアル、人々ハ社会生活 = 於テ必ス何等カ  
ノ業務ヲ自己ノ職分トシテ取ラナケレハナラナイノ  
ナル、ソノ自己ノ職分 = 忠実ナルト云フコト =  
亦ツテ一般ノ共同生活 = 又奉仕スルコトカ出来ルノ  
ナル、社会ノ生活カカクノ如キ形式 = 成立ツテキ  
ルコトヲ最モ良ク理解シ又實際 = 社会 = 奉仕スル精  
神の態度ヲ訓練シヤウトスルナラハ *Kind* 自ラカ  
動ヲ行カネハナラヌ、ソレハコノ *Arbeitsunter-  
richt* = ヨツテ行ハレルノナルト云フ考ヘ方ヲ  
アル、(*Staatsbürgerliche Erziehung*

訳語トシテハ公民教育トイフタノテアル、コレハ実  
際ハ国民教育ノ事ナリ)

### 修身科

我ノ学校ヲ見ルト小學校カラ高等学校専門学校  
ニ至ルマテ悉ク修身科カ置イテアル、西洋ニテモ教  
育ノ終局ノ目的ハ道德的品性ヲ形作ルニアリト云フ  
事トカ屢々説カレテキル、又之レヲ終局ノ目的トシ  
ナシマテモ道德的ノ教育ヲ否定スル教育論ハ飽付ニ  
ナイ、然ルニ特別ノ修身教授ヲ行ツテキテイ國ハ非  
常ニ多イ、ソコテ我ノ修身科カ屢々問題ニナツテ  
タルノテアル、ソコテ外國ニ於テ特別ニ修身科ヲモ  
タケテキナイ場合ニ於テハ如何ニ考ヘラレテキルカ  
トイフコトヲ先ツ知ラナケレハナラナイ、或場合ニ  
於テハ修身科ハ教ヘラレテキナイケレトモ宗教教授  
カ行ハレテキル、ソシテコレニ合セテ歴史教授カ道  
徳的識見ヲ高メルモノテアルト考ヘラレテ居ルノテ  
アル、ソコテ学校教育ト宗教ト云フ問題カ起ル、我  
國ノ宗教家ノ中ニハ独乙其他ニ於テ学校ニ宗教カ授  
テ行ツテキルノヲ見テ宗教科ヲ学科課程ノ中ニ知ヘ

ト主張スル人カアルカ我々ハ賛同出来ナイ、宗教  
ト道德ハ無論歴史的ニ考ヘテモ又理論上カラカテ  
モ種々ノ点ヲ関係ヲモツ、シカシテ我々ノ本質ニ於  
テ全ク同一ノモノテアルトハ云ヒ得ラレナイ、即チ  
宗教ヲ離レテハ道德ナシトハ決ツテ云ヒ得ラレナイ、  
殊ニ我ノ國ニ於ケル宗教ノ歴史カラ見ルト宗教カ導ラ  
靈ノ救済トイフコトニ向ツテキテ必スシモ弊ニ日常  
生活ノ道德ニ関係シテキナイコトカアル、ソノ点ニ  
於テ西洋諸國ノクリスト教ト稍趣カ違ツテキルノテ  
アル、

更ニ進ンテ考ヘルト公ノ学校ニ於テ宗教カ授テ行  
フコトハ一方ニ於テ今日世界一般ニ認メラレテキル  
信教ノ自由ト衝突シテタルノテアル (*Gewissens-*  
*freiheit*) ソコテ宗教カ授テ行ツテキル國ヲハ  
種々ノ教育行政上ノ 力起ツテ来ルノテアツテ  
甚乙ノ如キハ常ニ之レニ悩マサレテキルノテアル、  
世界全体ノ傾向カラ見ルト学校ニ於テ宗教カ授テ行  
フコトハ授カ鹿セラレツ、アルノテアル、我ノ國ニ於  
テ学校教育カ宗教ト全然分離シテ居ツテ宗教家ノ  
タメニ学校行政カ煩ハサレテキナイトイフコトハ非

常+幸福テアル。但シ宗教若クハ宗教◀育ヲ必要  
トスルノテハナイ。ソレハ寺院、教会、又ハ家庭=  
外ヲ行ハルヘキモノテアル。只公ノ学校=宗教◀授  
ヲ入レ+イトキフノテアル。(121頁ヘツク)

中ニハ又一切ノ教科ヲ通シテ行ハレル所ノ教育ノ全  
体カ合シテ道德的観念ヲ興ヘルモノテ如何ナル学科  
ヲモ修身ニ關係カナイモノハナイ。故ニ特ニ修身科  
ヲク必要カナイト考ヘル人カアル。之ハ Herbart  
派カラ變化シタモノト思フ Herbart 派テハ宗教ト聖  
書ヲ *Gesinnungsstoff* トシ他ノ学科ヲ之ニ關  
係サセ結局全体ノ教育カ道德的ニ導カレテ行クト考  
ヘテ居ル今 *Gesinnungsstoff* ノ考ヘテ除キ唯單  
ニ教育ノ結果カ道德ノ形ヲトルトイフノカ上述ノ考  
方テアル而シテハ困難無理テアル。道德的教育ハ  
イタル所テ授ケラレテモソレハ断片的ニ興ヘラレソ  
ノ断片的ナルモノヲ統一シコノ中一貫シテ原理カ對

立スルコトヲ拒否スルコトハ出来ナイ。換言スレハ  
修身科ノ設置カ必要テアルノテアル、最近ニ至リコ  
ノ修身科ト聯関シ重大ナ問題トナツテ居ルノハ  
*Civics* テアル。佛國テハ先ニ公立学校ノ衆教教授  
ヲ廢ズルト共ニ *Civics* ヲ置イタ。夫ハ学校ノ教科  
ニ入ツタ初メテアルカ昔カラ之ト似タモノハ昔カラ  
アツタ。ローマ共和時代歴史ト共ニ十ニ銅表ノ法律  
カ學ハレテ居タコトハ周知ノ事實テアル。尚又 似  
カヨツタモノカアル我國テモ往來物ノ内容トシテ法  
律ヲトリ入レテ居タコトカ鎌倉時代カラアル。定永  
式目モ教育ノ材料ニ使ハレタコトモ認メラレル但シ  
ソノ材料ト教育ノ趣旨ハ時代ニ依ツテ異ル。教育  
カ主トシテ支配者階級ニ限ラレテ居タ時代ハ政治ノ  
原理、政治道德法制殊ニ行政ノ手續キノ如キモノカ  
多ク教ヘラレテ居ル。支那ノ士ノ教育ハ最もヨク之  
ヲ代表スル儒教ニ依ルト道德ニ依リ貫ヌカレタ政治  
學其ノ中樞ヲ占メ經管ハ其ノ類ノ本ヲ大ハソノ教若  
チアリ法制ハ支那ノ礼テアル。礼ハ今日我々ノ用フ  
ル意味ノ礼ニ比シ更ニ範圍カ大イ行政ノ組織カヲ民  
間ノ行事ニ至ルマテ種々ノ習慣法カソノ内容ヲナシ

テ居タ。例ハハ礼中ニ七去ニ不去ト云フコトカアル  
七去一 離替ノ條件、三不去一 コノ條件ヲモテハ  
離替カ成立シナイ。斯クノ如キ民法的性質ヲ含ソテ  
居ル。礼ハソノ他ノ法律的性質ヲ有スルコトハ明テ  
アル。次ニ教育カ更ニ稍々広ク行ハレ被治者階級ニ  
遠達スルト禁令ト罰則カ多ク。ラレテ居ルニハ知  
ラスシテ刑ニ觸レルノハ憐レテアルトイフ考ニヨル。  
独乙テハ *Landschule* ニ刑法ノ大意ヲ教フ可シト  
イフ規定カ設ケラレタコトカアル我國ノ往來物ニ學  
令カ多クアケテアルノト觀テ一ニスル。今日ノ民主  
的時代ニハ段々ソノ形モ衰ル。今日テハ此ノ國家ハ  
或ハ國家中ニ含レタ公共団体ハ一ツノ共同生活體ヲ  
アリ夫ニ屬シテ居ルモノハ共同ノ努力ニヨリ共ニ共  
榮ヲハカルハキ連帶觀念ヲ有シナケレハナラヌコト  
ヲ教ヘナケレハナラヌ。今日ノ *Civics* ヲ定義スル  
オラハ社会ノ共同生活ヲ理解ニ其ニ對スル正シキ精  
神態度ヲ養ハシムハシトイヘルテアラウソノ共同生  
活ノ範圍ハ小ニシテハ家庭大ニシテハ人類全体ノ共  
同団体ニ進ミ行クヘキモノテアロウ。仏國ニ於テハ  
*Civics* ヲ *l'instruction morale et civique*



トイフ名ヲ以テ呼ムレテ居ル。独乙ニ於テハ *Bürgerkunde* ト称セラレテ居ルトイフ他ノ国テハ之ヲ必スシモ独立ノ科トシテ教ケテ居ナカツタ。独乙テハツノ教科書ハイタクカアラハレテ居ルカ独立ナル課目トシテ課程ニ加ハラレテ居ナカツタ。昨年ノ *Preussen, Lehrplan* ニハ *Bürgerkunde* トラ意科トシテラケテ得トナル。米國テハ *Civics* *Community civics governing and economics* 又ハ *civics and economic* トシテ教ヘラレテ居タ米國テハ歴史ニ關係聯セシムラレ。 *civics and history* トシテ教ヘラレル所モアリ歴史ヲ包括シテ *social studies* ナル名称ヲ用ヒテ居ル所モアル。最近之カ注意ヲ引クヨウニナツタノハ社会的政治的理由ニヨル独乙テハ革命后國民ニ立大ナ自由カ英ヘラレタソノ英ヘラレタ自由ヲ濫用シナイヨウニ訓練スルコトカ問題トナリ小學校ニ *Bürgerkunde* カ教ヘラレタ米國テハ世界大戰ノ時國家ノ現実暴露カアリ *Americanization* カトナヘラレ國民化カ叫ハレ *Civics* ニヨツテ之ヲ成シトケントシテ居ル。

佛國ニ於テ *Civics / Programm* ヲ定メタ時先法則ト經濟ノ部ヲ分チ法制ノ部ハ公法ト私法ヲ分ケテヤルトイフ仕組ニナツテナル我國ノ中學校ニハ割合早ク法制經濟カ教ヘラレタカソレハ佛國 並リテアル。我々テハソレハ甚タシキ不成績テアル。夫ハ適當ノ教科書適當ノ教師カナイコトハ試験制度ニ影響サレテ居ル。今ハ教師モヨイ人カ沢山用ヒラレルシ適當ノ教科書カ出來ツツアル。而シソレヨリモ更ニ根本的ノ或ル物オアルト思ハレル。最近ニナリ *Civics* ノ教材ニツキ議論カ起ツタ。其等ノ孰シイ人ノ説ハ共通シタ所テアル。ソレハ法則テアル。現行ノ法制ヲ暗記ヲ要スル *Civics* ハ共同団体ヲ理解セシムルコトテアル。我々ハ國家ハ如何ニシテ生スルカ又法律ハ如何ニシテ必要ナリヤヲ捕ヘ現行法以上ニ出テ或ハ共同団体ノ生成ヲ説明セシム更ニ生物学ノ範圍マテ押シ進メラレネハナラナイ。更ニ如何ナル經濟生活カ如何ニシテ行ハレルカ史的、地理的ニ理解セシムネハナラヌ。孰様ニスレハ修身科ト公民科トノ間ニハ密接ノ關係カアル無論社会トノ關係ヲ主トスルオムソロ個人個人ノ生活ヲ主トシ

ヲ放ヘテ居タソレハ社会ニ関係スルコトヲ必要スル  
故ニ此ノ両科ニハ殆ソト區別カナイ。

(終)

昭和二年二月廿七日印刷

昭和二年三月一日発行

東京市本郷区本郷六丁目二番地

編輯兼 石田正七  
発行者

会 所 (帝大赤門前)

発行所 文 信 社

電話小石川三一四七番

(兼賣品)



14
782